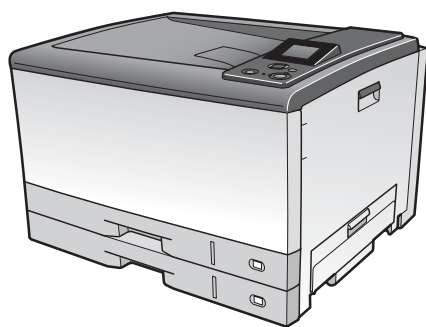
LP-S6000
取扱説明書 1
セットアップと使い方編

- 本書は、LP-S6000 の取扱説明書です。本機を使用可能な状態にするための準備作業と使い方の概要を説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

マークの意味

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。これらのマークが付いている記述は必ずお読みください。それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!重要　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷したり、プリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

用語 *1　用語の説明を記載していることを示しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.4 の画面を使用しています。

ハガキの表記

本書では、日本郵政公社製のハガキを郵便ハガキと記載しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Server 2003, Standard Edition
Microsoft® Windows® Server 2003, Enterprise Edition
Microsoft® Windows® XP Home Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Professional Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista™ Operating System 日本語版
本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 2000/XP」のように Windows の表記を省略することがあります。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4
本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

商標

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

もくじ

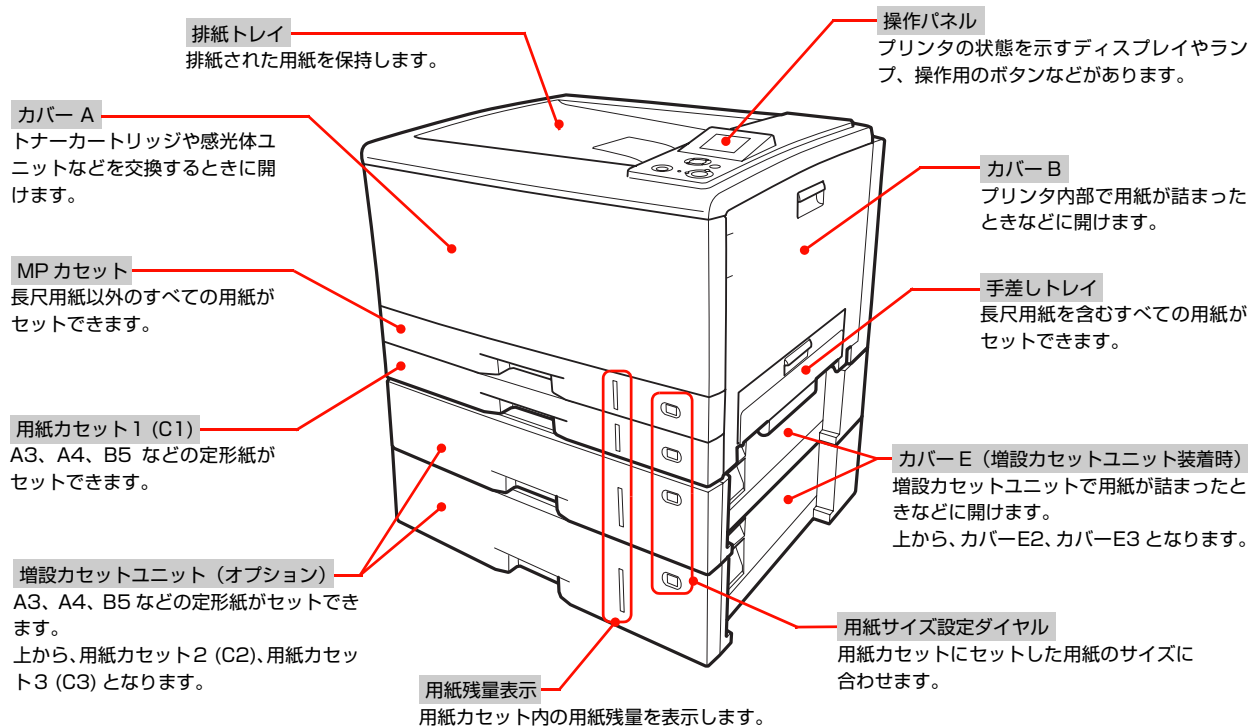
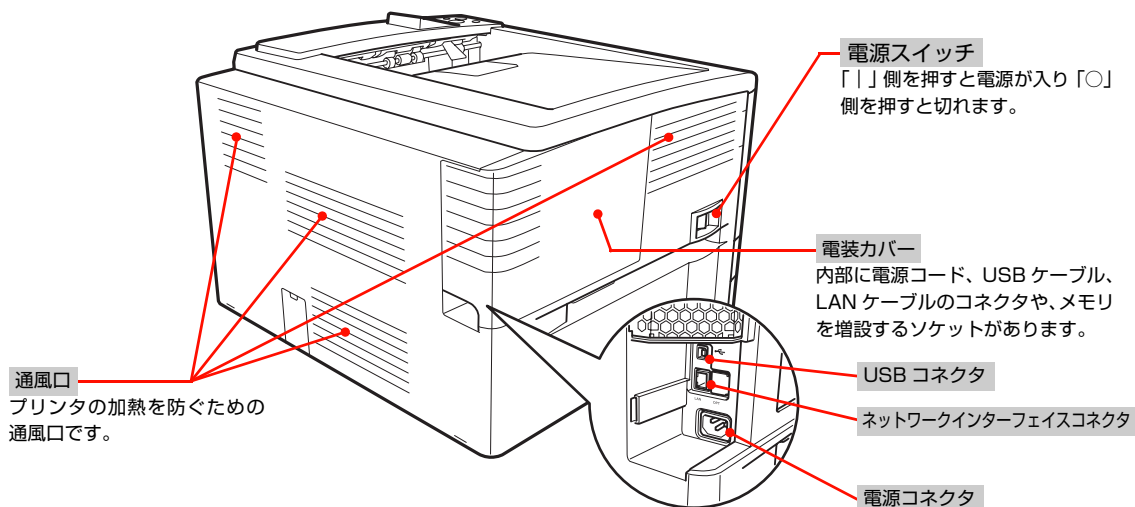
詳細編（電子マニュアル）の内容

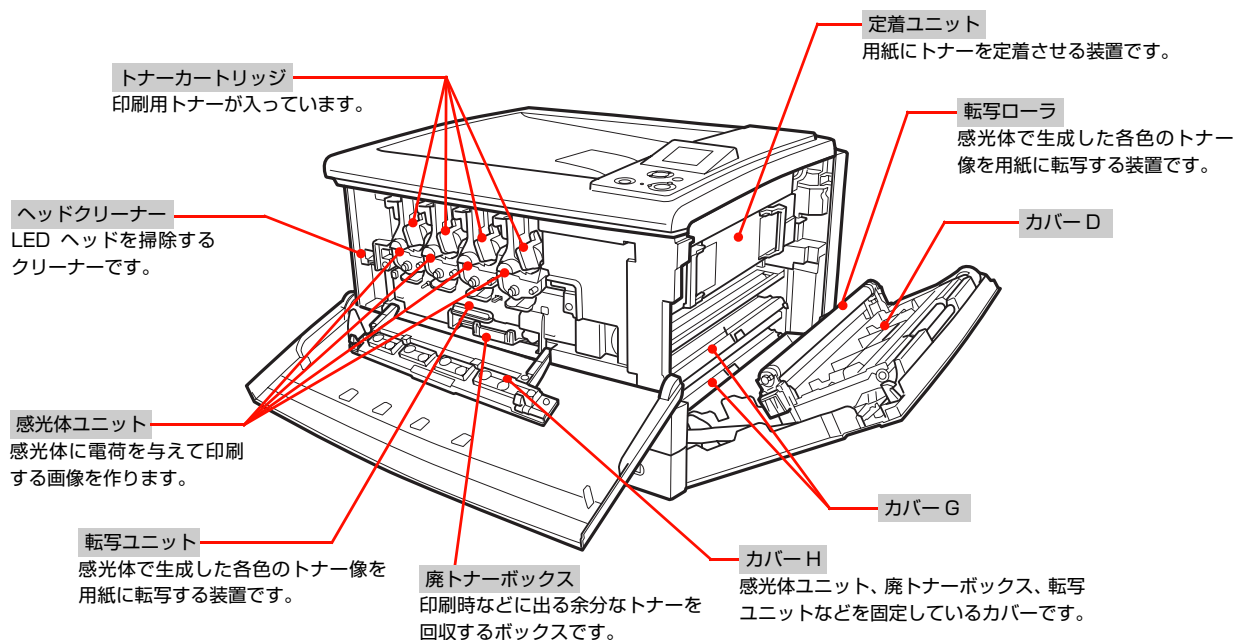
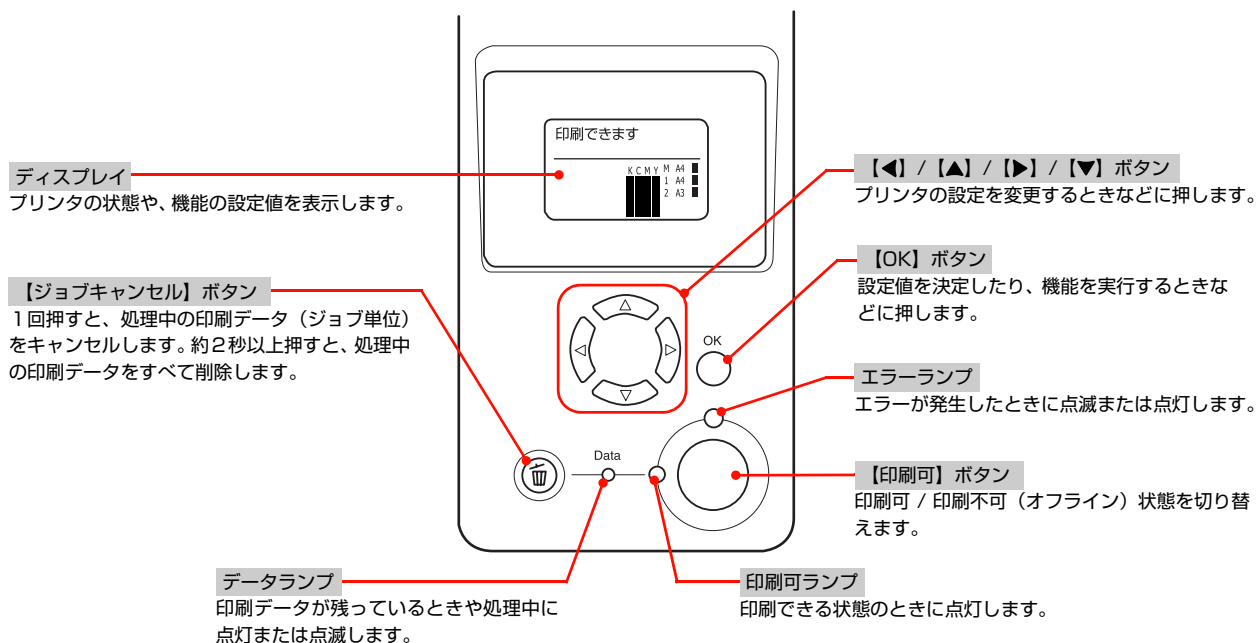
1 ご使用の前に

本機の各部の名称、特長、安全にお使いいただくためのご注意を記載しています。

各部の名称

前面 / 右側面

オプションの増設カセットユニット取り付け時

背面 / 左側面

内部

カバー A、カバー B、カバー H を開けた状態

操作パネル

本製品の特長

使いやすい親切設計

ワイドな操作パネル

漢字やひらがなが表示できるディスプレイを搭載していますので、メッセージの確認などが容易です。消耗品を交換するときやエラーが発生したときは、イラスト入りのヘルプで対処方法の確認もできます。

トナーセーブや節電機能で経済的

トナーの消費量を抑える「トナーセーブ」機能を搭載しています。印刷品質は低下しますが、用途に合わせて経済的にお使いいただけます。また、印刷待機時に一定時間が経過すると節電状態になる機能も搭載しています。

☞ 本書 72 ページ「トナーセーブ（トナーの節約）」
☞ 本書 73 ページ「印刷待機時の節電」

充実の印刷機能

以下のような便利な機能が搭載されています。

☞ 本書 44 ページ「印刷機能のご紹介」

- はがきから A3 までの定形紙のほか、最大 297 × 1200mm までの用紙に対応
- 封筒やラベル紙、OHP シートなどの特殊な用紙にも対応
- 操作パネルでパスワードを入力すると文書が出力される［パスワード印刷］機能
- 自動両面印刷機能

エプソン独自の高画質技術

エプソン独自の技術により、高画質印刷を実現します。

①スクリーン線数 * の選択

写真やグラデーションのある画像を印刷したいとき、小さい文字や細い線をはっきり印刷したいときなど、目的に合わせて設定できます。

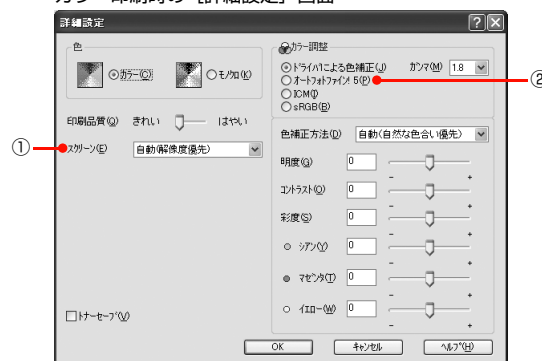
＊印刷の精度（細かさ）を表す尺度

②オートフォトファイン !5

印刷の目的、印刷するデータに合わせて最適な色補正ができます。アプリケーションで画像を加工しなくても、カラー写真をセピアやモノクロで印刷したり、キャンバスや和紙に印刷したような効果を加えることもできます。

Windows の例
カラー印刷時の［詳細設定］画面

- MSPT（Multi Screen Printing Technology）

１枚の文書中にある写真や文字などを自動判別し、写真も文字もグラフも美しく印刷します。（設定不要）

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、製品をお使いになる前には、必ず本書および製品に添付されております取扱説明書をお読みください。本製品の取扱説明書の内容に反した取り扱いは、故障や事故の原因になります。本製品の取扱説明書は、製品の不明点をいつでも解決できるように、手元に置いてお使いください。

記号の意味

本書および製品同梱の取扱説明書では、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作・取り扱いについて次の記号で警告表示をしています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

記号	意味
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

記号の意味	記号の意味
してはいけない行為（禁止行為）を示しています。	必ず行っていただきたい事項（指示、行為）を示しています。
分解禁止を示しています。	電源プラグをコンセントから抜くことを示しています。
濡れた手で製品に触れることの禁止を示しています。	アース接続して使用することを示しています。
製品が水に濡れることの禁止を示しています。	

設置上のご注意

⚠警告

本製品の通風口をふさがないでください。
通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災になるおそれがあります。
布などで覆ったり、風通しの悪い場所に設置しないでください。
また、取扱説明書で指示された設置スペースを確保してください。
☞ 本書 27 ページ「設置スペース」

⚠注意

不安定な場所、他の機器の振動が伝わる場所に設置・保管しないでください。
落ちたり倒れたりして、けがをするおそれがあります。

本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
他の部分を持って持ち上げると、プリンタが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
☞ 本書 27 ページ「プリンタの持ち方」

油煙やホコリの多い場所、水に濡れやすいなど湿気の多い場所に置かないでください。
感電・火災のおそれがあります。

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
転倒などによる事故のおそれがあります。

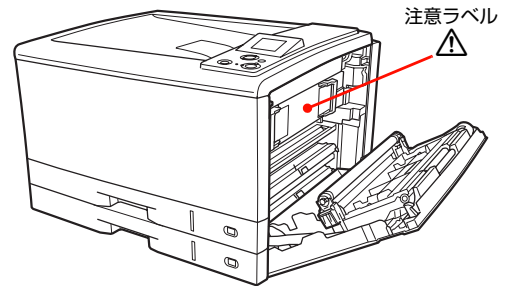
本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。

本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
開梱や移動の際は 2 人以上で運んでください。
本製品の質量は以下を参照してください。
☞ 本書 119 ページ「プリンタの仕様」

取り扱い上のご注意

<table>
<tr><th colspan="2">⚠警告</th></tr>
<tr><td>
煙が出たり、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
異常が発生したときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。</td><td>
各種ケーブルは、取扱説明書で指示されている以外の配線をしないでください。
発火による火災のおそれがあります。また、接続した他の機器にも損傷を与えるおそれがあります。</td></tr>
<tr><td>
異物や水などの液体が内部に入ったときは、そのまま使用しないでください。
感電・火災のおそれがあります。
すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。</td><td>
製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td>
取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
安全装置が損傷し、定着ユニットの異常加熱・高圧部での感電など事故のおそれがあります。</td><td>
開口部から内部に、金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしないでください。
感電・火災のおそれがあります。</td></tr>
<tr><td>
お客様による修理は、危険ですから絶対にしないでください。</td><td>
操作パネルのディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。
万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。
• 皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
• 目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
• 飲み込んだときは、水で口の中をよく洗浄し、大量の水を飲んで吐き出した後、医師に相談してください。</td></tr>
<tr><td>
本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。</td><td></td></tr>
</table>

⚠注意	
本製品の上に乗ったり、重いものを置かないでください。 特に、子供のいる家庭ではご注意ください。倒れたり壊れたりして、けがをするおそれがあります。	**本製品を保管・輸送するときは、傾けたり、立てたり、逆さまにしないでください。** トナーが漏れるおそれがあります。
各種ケーブルやオプションを取り付ける際は、取り付ける向きや手順を間違えないでください。 火災やけがのおそれがあります。 取扱説明書の指示に従って、正しく取り付けてください。	**使用中にプリンタのカバー B を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、プリンタ使用中に定着ユニットを取り外すときは、カバーB を開けた状態で 15 分程待ってから作業してください。** 内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。
本製品を移動する際は、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線を外したことを確認してから行ってください。 コードが傷つくなどにより、感電・火災のおそれがあります。	**下記のような条件を避けて使用してください。** 本製品の排気には、人体に影響を与えるような物性は含まれておりませんが、お使いの環境条件によっては、排気臭を不快に感じることがあります。 • 製品の環境使用条件外での使用 • 狭い部屋での複数ページプリンタの使用 • 換気が悪い場所での使用 • 上記条件下での長時間連続稼働
電源投入時および印刷中は、排紙ローラ部に指を近付けないでください。 指が排紙ローラに巻き込まれ、けがをするおそれがあります。用紙は、完全に排紙されてから手に取ってください。	**紙詰まりの状態で放置しないでください。** 定着ユニットが加熱し、発煙・発火による火災のおそれがあります。
詰まった用紙を取り除く際は、用紙や用紙カセットを無理に引き抜かないでください。また、不安定な姿勢で作業しないでください。 急に用紙や用紙カセットが引き抜けると、勢いでけがをするおそれがあります。	**リリースレバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。** 指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

電源に関するご注意

⚠警告	
AC100V以外の電源は使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源コードのたこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続はしないでください。** 発熱して火災になるおそれがあります。 家庭用電源コンセント（AC100V）から直接電源を取ってください。
電源プラグは、ホコリなどの異物が付着した状態で使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。** 電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災になるおそれがあります。
電源プラグは刃の根元まで確実に差し込んで使用してください。 感電・火災のおそれがあります。	**電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを引っ張らずに、電源プラグを持って抜いてください。** コードの損傷やプラグの変形による感電・火災のおそれがあります。
付属の電源コード以外は使用しないでください。また、付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。	**本製品の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。** 感電・火災のおそれがあります。
破損した電源コードを使用しないでください。 感電・火災のおそれがあります。 電源コードが破損したときは、エプソンの修理窓口にご相談ください。 また、電源コードを破損させないために、以下の点を守ってください。 • 電源コードを加工しない • 電源コードに重いものを載せない • 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない • 熱器具の近くに配線しない	**漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。** アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。 • 電源コンセントのアース端子 • 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの • 接地工事（第 3 種）を行っている接地端子 アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。
濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。 感電のおそれがあります。	**次のような場所にアース線を接続しないでください。** • ガス管（引火や爆発の危険があります） • 電話線用アース線および避雷針（落雷時に大量の電気が流れる可能性があるため危険です） • 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっているとアースの役目を果たしません）

⚠注意
長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

消耗品 / ユーザー交換可能な定期交換部品に関するご注意

⚠警告

消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）、ユーザー交換可能な定期交換部品（転写ユニット）を、火の中に入れないでください。
トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。

こぼれたトナーを電気掃除機で吸い取らないでください。
こぼれたトナーを掃除機で吸い取ると、電気接点の火花などにより、内部に吸い込まれたトナーが粉じん発火するおそれがあります。床などにこぼれてしまったトナーは、ほうきで掃除するか中性洗剤を含ませた布などでふき取ってください。

⚠注意

消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）、ユーザー交換可能な定期交換部品（転写ユニット、定着ユニット）は、子供の手の届かない場所に保管してください。
取り扱いを誤ってけがをしたり、トナーが漏れるおそれがあります。

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

こぼれたトナーを吸引したり、皮膚に触れないようにしてください。
トナーは人体に無害ですが、処理時にはマスクや手袋を着用してください。

消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）、ユーザー交換可能な定期交換部品（転写ユニット）を交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。
トナーがこぼれて、プリンタの周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

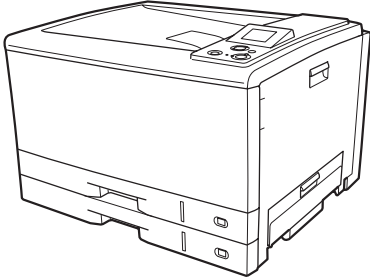
トナーが手や服などに付いてしまったり、目や口に入ってしまったときは、以下の処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、水や石けんでよく洗い流してください。
- 衣服に付着したときは、すぐに水で洗い流してください。
- 目に入ったときは、水でよく洗い流してください。
- 口に入ったときは、すぐに吐き出してください。吸引してしまったときは、その環境から離れ、多量の水でよくうがいをしてください。異常がある場合は、速やかに医師に相談してください。

本製品の不具合に起因する付随的損害について

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含みます）の不具合によって所期の結果が得られなかったとしても、そのことから生じた付随的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

2 セットアップ

本機を使用可能にするための準備作業を説明しています。

セットアップの流れ

本機を使用可能な状態にするまでの手順を掲載しています。本書の手順に従ってセットアップを行ってください。本機の使用にあたっては、本書 7 ページに掲載されている「安全上のご注意」を必ずお読みください。

同槶物を確認します
☞15 ページ

保護材を取り外します
☞16 ページ

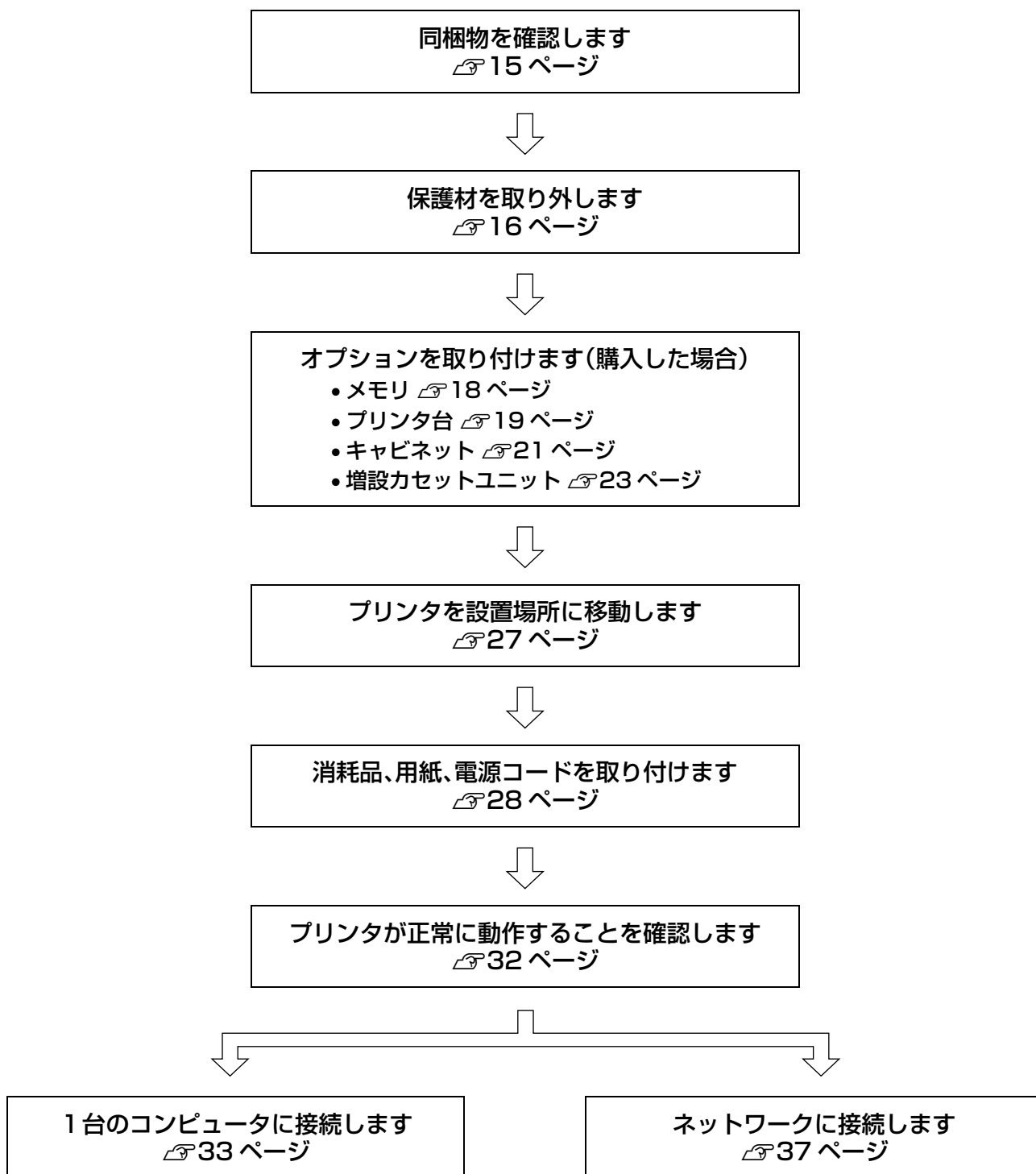
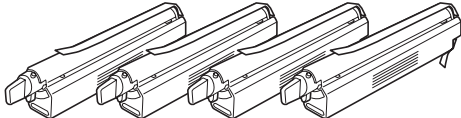
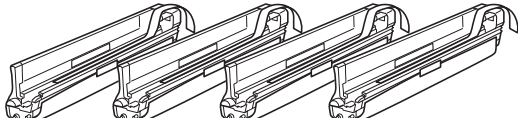
オプションを取り付けます（購入した場合）
- メモリ ☞18 ページ
- プリンタ台 ☞19 ページ
- キャビネット ☞21 ページ
- 増設カセットユニット ☞23 ページ

プリンタを設置場所に移動します
☞27 ページ

消耗品、用紙、電源コードを取り付けます
☞28 ページ

プリンタが正常に動作することを確認します
☞32 ページ

1 台のコンピュータに接続します
☞33 ページ

ネットワークに接続します
☞37 ページ

同梱物の確認

以下のものがそろっていること、それぞれに損傷がないことを確認してください。

取扱説明書（1 冊）	本書
ソフトウェアCD-ROM（1 枚）	以下のものが収録されています。 • プリンタソフトウェア • フォント（バーコード、TrueType） • 取扱説明書（電子マニュアル） ほか

＊上記同梱物の他に、各種ご案内や試供品が同梱されている場合がありますのでご了承ください。

スタータキットには以下のものが同梱されています。

スタータキットに同梱されているトナーカートリッジの印刷寿命は各色約 2000 ページです。
（A4 サイズの用紙に面積比で約 5%の印刷を連続して行った場合）

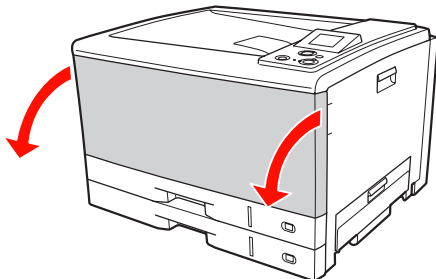
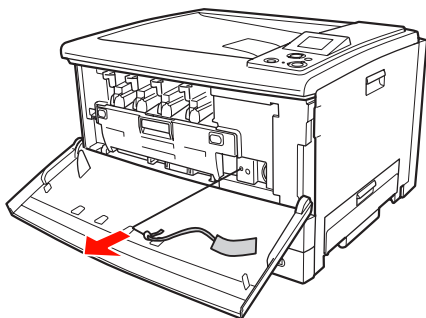
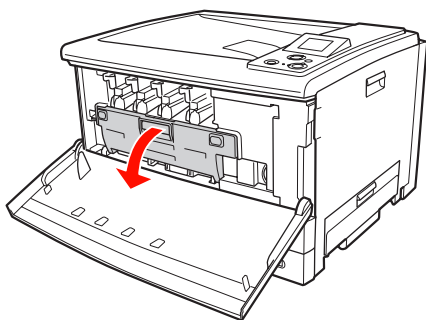
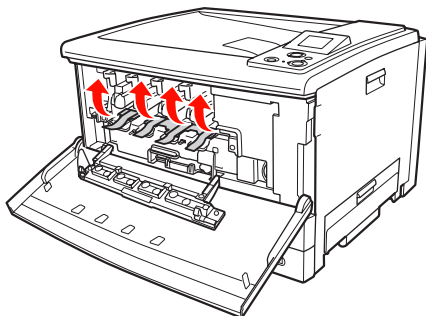
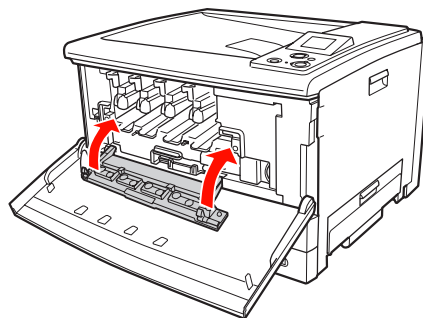
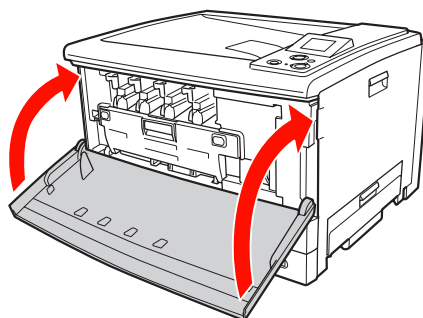
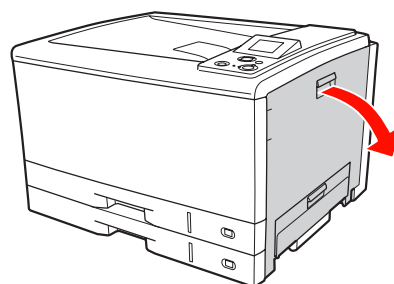
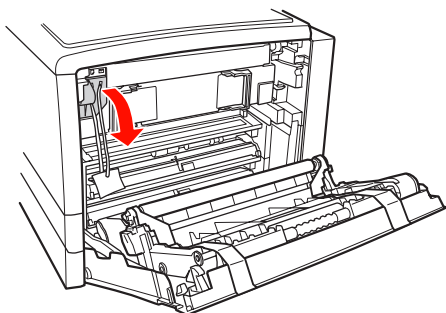
取扱説明書のご紹介

セットアップと使い方編（本書）	開梱してから本機を使えるようにするまでの手順、使い方の概要、トラブル対処法などを掲載しています。
詳細編（電子マニュアル）	ソフトウェアの説明、印刷方法の詳細などを掲載しています。プリンタドライバなどのソフトウェアとともにコンピュータにインストールされます。
ネットワーク編（電子マニュアル）	本機をネットワーク環境で使用するための情報を掲載しています。プリンタドライバなどのソフトウェアとともにコンピュータにインストールされます。

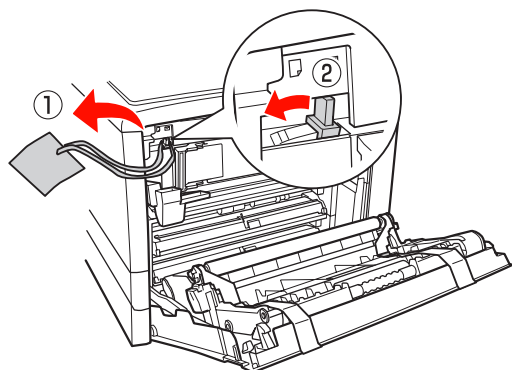
保護材の取り外し

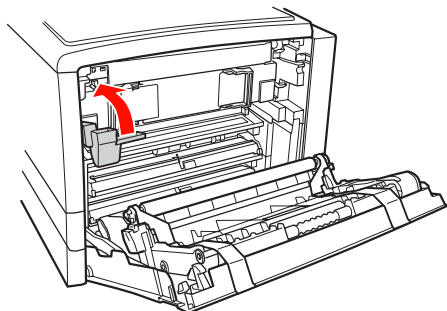
本機を設置する前に、保護材を取り外してください。なお、保護材の形状や個数、貼付場所などは予告なく変更されることがあります。

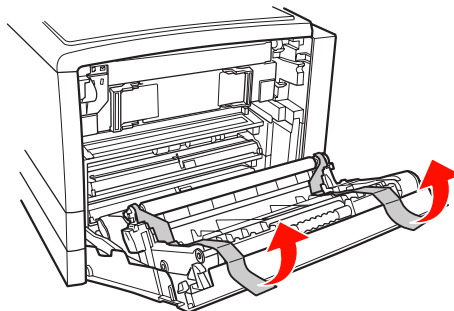
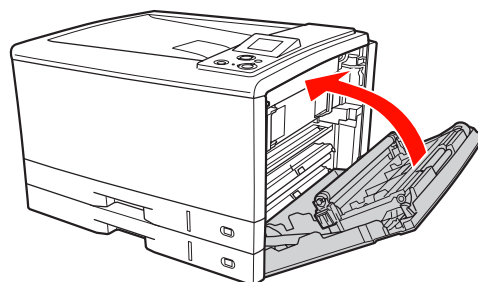
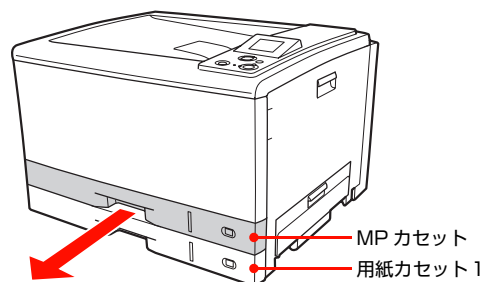
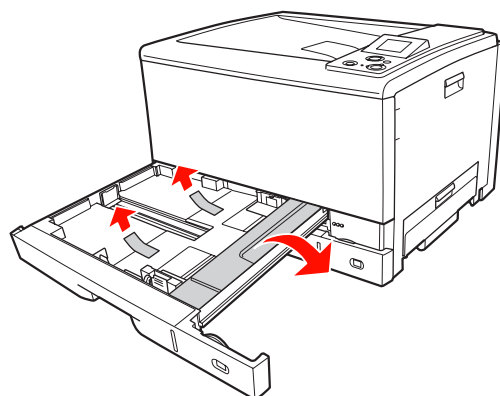
!重要	テープや保護材を外さないまま電源を入れると故障の原因となります。

1 カバー A を開けます。

2 タグが付いている保護具（針金）を引き抜きます。

3 カバー H を開けます。

4 挿入口内部のテープと保護材を取り外します。

5 カバー H を起こし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。

6 カバー A を閉じます。

7 カバー B を開けます。

8 緑色のリリースレバーを下げます。

!重要

リリースレバーは、左側のラベルの「リリースレバー解除位置」まで下げてください。リリースレバーを途中までしか下げずに封筒レバーを無理に動かすと、封筒レバーが破損するおそれがあります。

9 タグを取り外し、封筒レバーを普通紙の位置（左）に合わせます。

10 緑色のリリースレバーを元に戻します。

注意

リリースレバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。
指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

11 転写ローラの左右の保護材を取り外します。

12 カバー B を閉じます。

13 MP カセットを引き出します。

14 MP カセット内部のテープと保護材を取り外します。

15 13～14と同様の手順で、用紙カセット 1 のテープと保護材も取り外します。

続いてオプションを取り付けます。

オプションを取り付けない場合は、本機を設置場所に移動します。
本書 27 ページ「設置」

オプションの取り付け

オプションは、最初にまとめてプリンタに取り付けてください。コインまたはプラスドライバを使用しますので、あらかじめ用意してください。

すでに本機を使用中でオプションを追加する場合は、取り付け後、プリンタドライバでオプションの設定をしてください。
☞ 本書 26 ページ「オプションをプリンタドライバで設定」

オプションを取り付けない場合は、以下のページに進んでください。
☞ 本書 27 ページ「設置」

⚠警告　取扱説明書で指示されている箇所以外の分解は行わないでください。
安全装置が損傷し、定着ユニットの異常加熱・高圧部での感電など事故のおそれがあります。

⚠注意
- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
  開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  ☞ 本書 119 ページ「プリンタの仕様」
- 本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、プリンタが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
  本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
  ☞ 本書 27 ページ「プリンタの持ち方」
- 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
  転倒などによる事故のおそれがあります。

メモリ

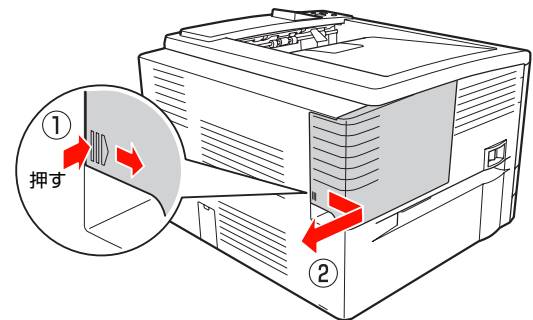
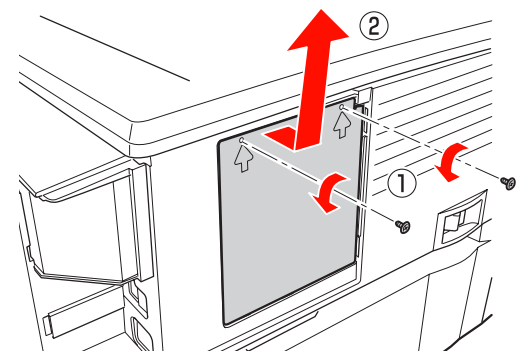
メモリを取り付ける手順を説明します。

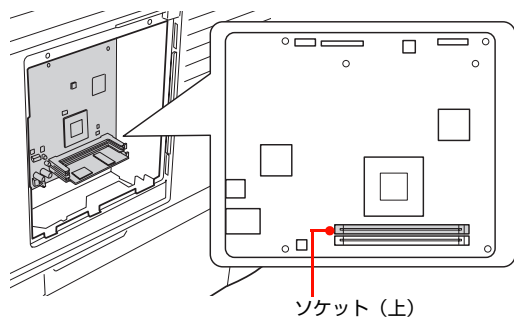
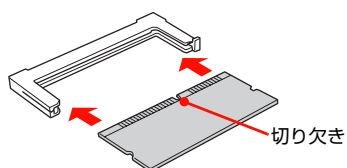
⚠警告
製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。

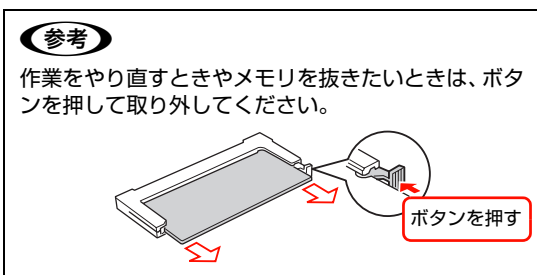
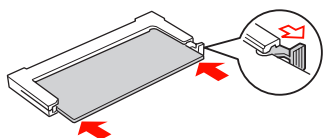
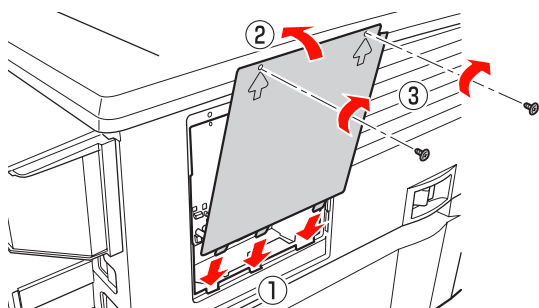
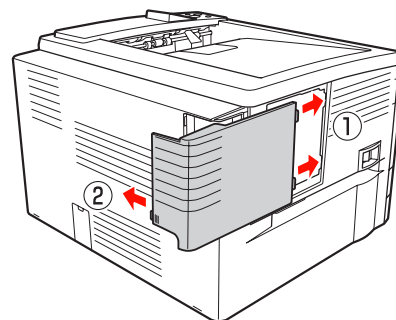
!重要
- 静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。
- メモリは慎重に取り扱ってください。必要以上に力をかけると、メモリを損傷するおそれがあります。

1 すでに本機を使用中でメモリを取り付けるときは、プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 メモリを用意します。

3 電装カバーを取り外します。

4 金属板のネジ（2本）を外して、金属板を取り外します。

5 **メモリ用のソケットの位置を確認します。**

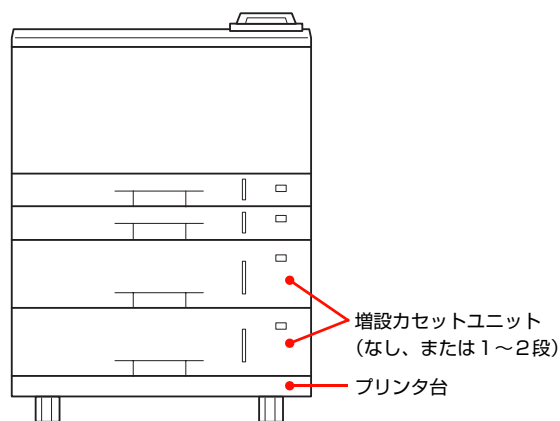
下のソケットに取り付けられているROMを取り外さないでください。

6 **メモリの切り欠きがソケット内部の凸部に合うように差し込みます。**

7 **ソケットの右側のボタンが飛び出すまで、メモリの両端に均等に力をかけて押し込みます。**

> **参考**
>
> 作業をやり直すときやメモリを抜きたいときは、ボタンを押して取り外してください。
>
>
>

8 **金属板をプリンタに取り付けて、ネジ（2本）で固定します。**

9 **電装カバーを取り付けます。**

以上で終了です。

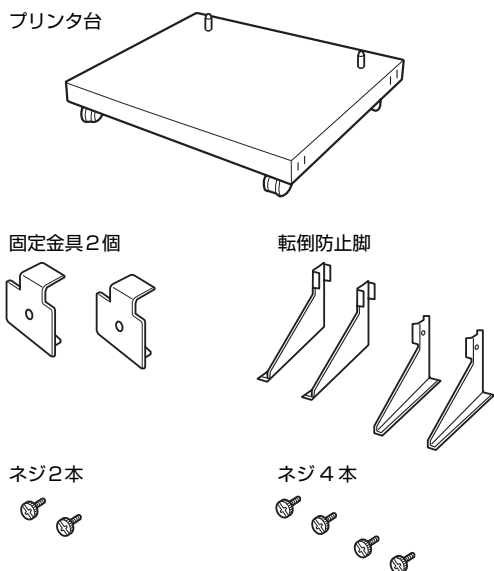
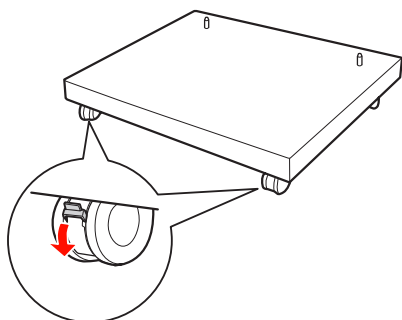
他のオプションを取り付けない場合は、続いて本機を設置場所に移動します。

☞ 本書27ページ「設置」

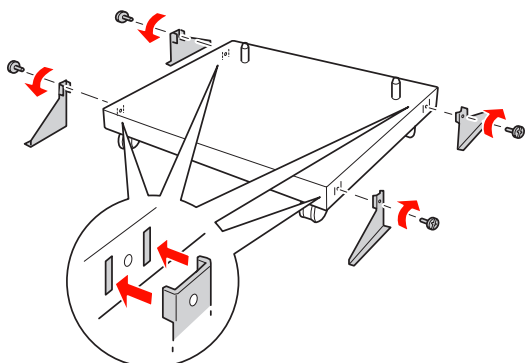
プリンタ台

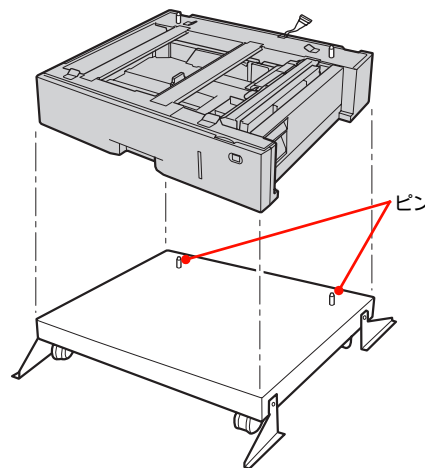
プリンタ台を取り付ける手順を説明します。プリンタ台は、増設カセットユニットまたはプリンタ本体に直接取り付けることができます。

1 **すでに本機を使用中でプリンタ台を取り付けるときは、プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

2 プリンタ台を用意します。

取り付け前に、プリンタ台に損傷のないことを確認してください。また、同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。万一足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

3 プリンタ台を平らな場所に置き、前側のキャスター２箇所をロックします。

⚠注 意

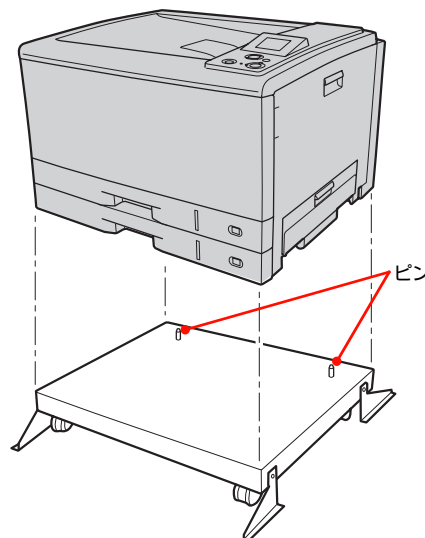
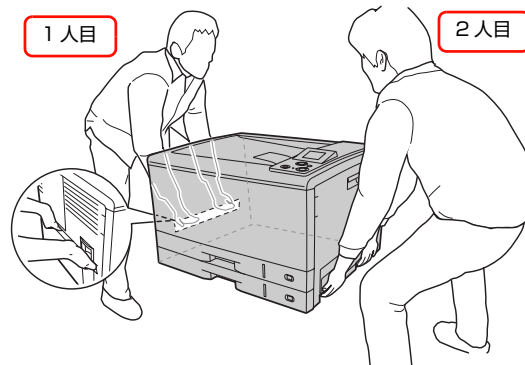
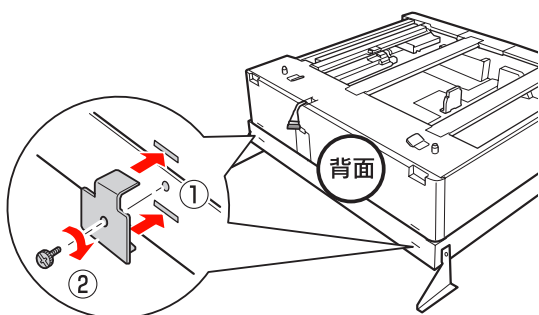
キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

4 転倒防止脚（４個）をネジで固定します。

5 増設カセットユニットまたはプリンタ本体を、プリンタ台に載せます。

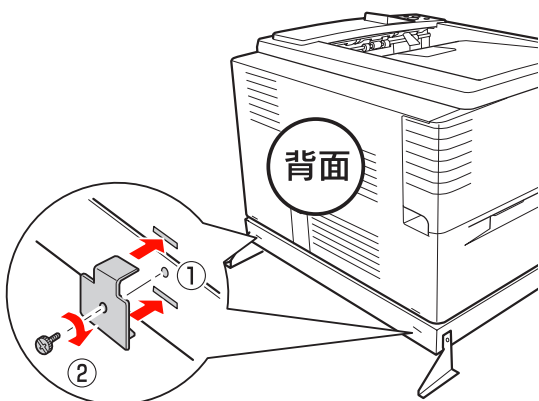
ピンと、増設カセットユニットまたはプリンタ本体の底面がしっかりかみ合うようにして、すき間ができないように重ねてください。

増設カセットユニットの場合

増設カセットユニットの上にプリンタ本体を載せる作業は、プリンタ台の取り付けがすべて終了してから行ってください。

プリンタ本体の場合

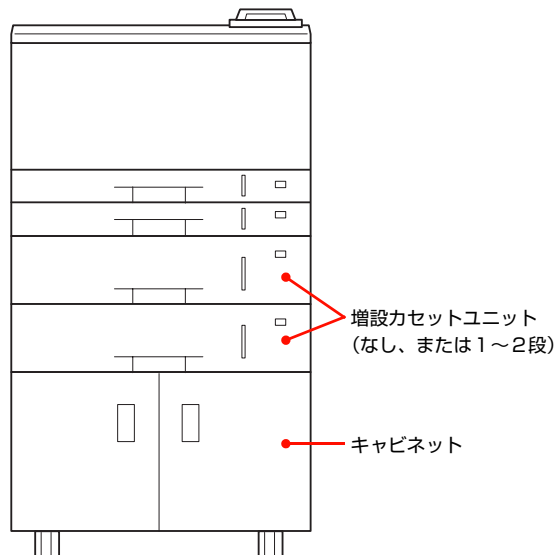
本機は、必ず 2 人で持ち上げてください。図のようにプリンタの取っ手に手を掛けて運んでください。

6 **プリンタ台と増設カセットユニットまたはプリンタ本体を、固定金具（2個）で固定します。**

増設カセットユニットの場合

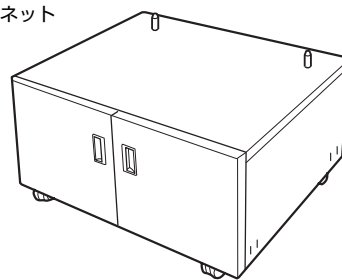
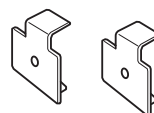
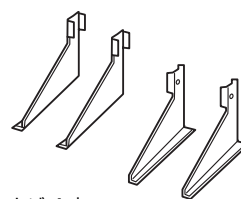
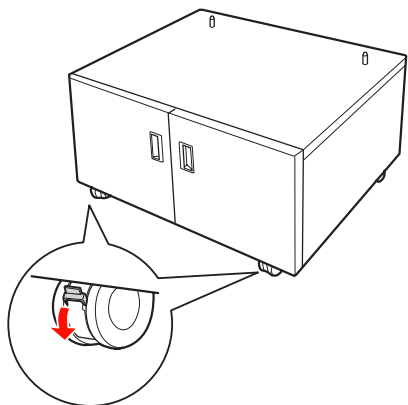
続いて２段目の増設カセットユニットまたはプリンタ本体を取り付けます。
☞ 本書 23 ページ「増設カセットユニット」

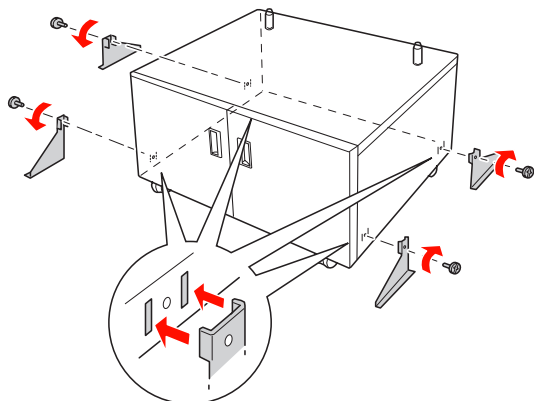
プリンタ本体の場合

以上で終了です。

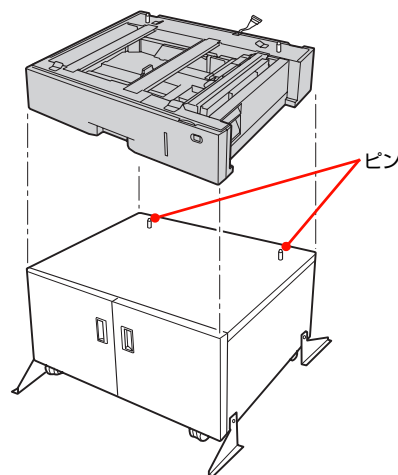
他のオプションを取り付けない場合は、続いて本機を設置場所に移動します。
☞ 本書 27 ページ「設置」

キャビネット

キャビネットを取り付ける手順を説明します。キャビネットは、増設カセットユニットまたはプリンタ本体に直接取り付けることができます。

1 **すでに本機を使用中でキャビネットを取り付けるときは、プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

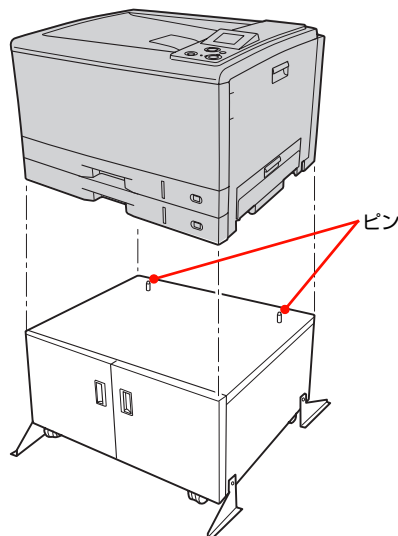
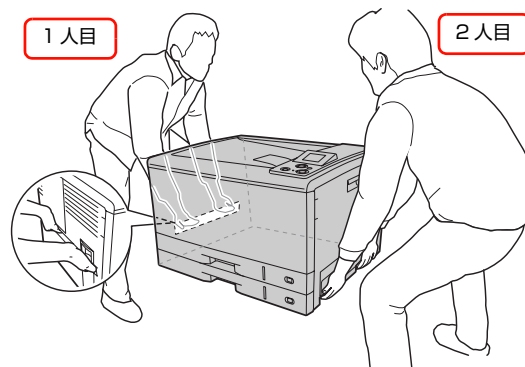
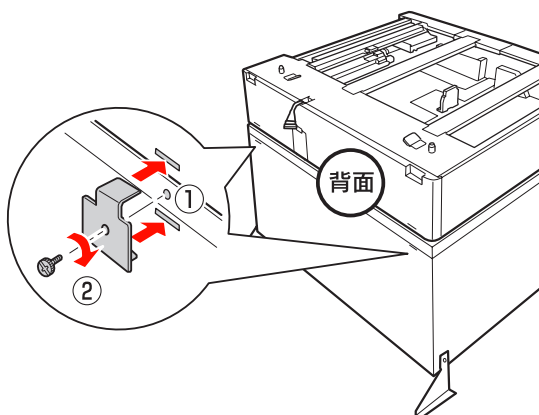
2 **キャビネットを用意します。**
取り付け前に、キャビネットに損傷のないことを確認してください。また、同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。万一足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

3 **キャビネットを平らな場所に置き、前側のキャスター2箇所をロックします。**

> ⚠注意
> キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
> 作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

4 **転倒防止脚（4個）をネジで固定します。**

5 **増設カセットユニットまたはプリンタ本体を、キャビネットに載せます。**

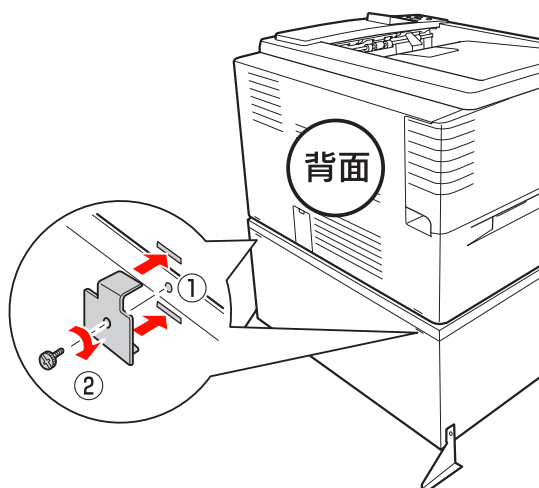
ピンと、増設カセットユニットまたはプリンタ本体の底面がしっかりかみ合うようにして、すき間ができないように重ねてください。

増設カセットユニットの場合

増設カセットユニットの上にプリンタ本体を載せる作業は、キャビネットの取り付けがすべて終了してから行ってください。

プリンタ本体の場合

本機は、必ず 2 人で持ち上げてください。図のようにプリンタの取っ手に手を掛けて運んでください。

6 キャビネットと増設カセットユニットまたはプリンタ本体を、固定金具（2個）で固定します。

増設カセットユニットの場合

続いて2段目の増設カセットユニットまたはプリンタ本体を取り付けます。
☞ 本書 23 ページ「増設カセットユニット」

プリンタ本体の場合

以上で終了です。

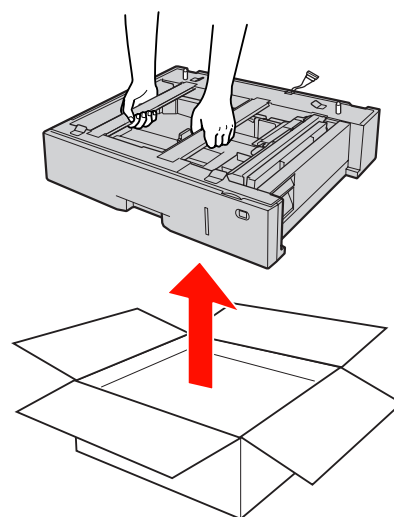
他のオプションを取り付けない場合は、続いて本機を設置場所に移動します。
☞ 本書 27 ページ「設置」

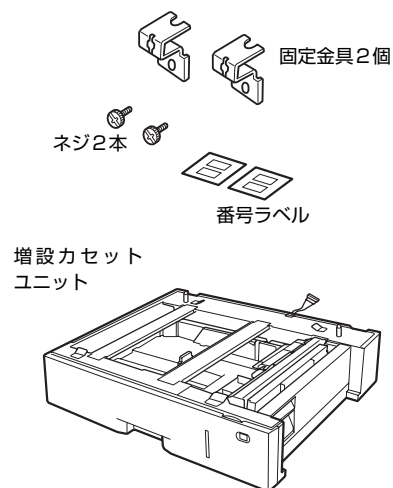
増設カセットユニット

増設カセットユニットを取り付ける手順を説明します。

> ⚠注 意
> 本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
> 作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

1 すでに本機を使用中で増設カセットユニットを取り付けるときは、プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

2 増設カセットユニットを図のように持って、箱から取り出します。

3 増設カセットユニットに損傷がないこと、同梱されているものがすべてそろっていることを確認してください。

万一足りないものがある場合や損傷している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。

4 **プリンタ台またはキャビネットを取り付ける場合は、あらかじめ増設カセットユニットの最下段に取り付けておきます。**

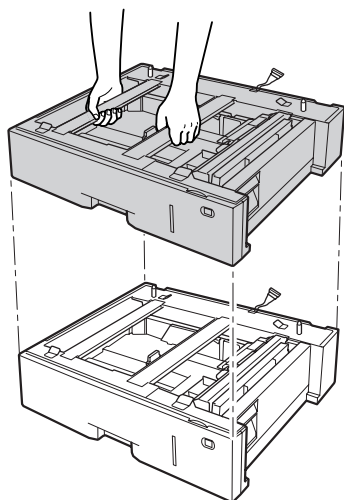
☞ 本書 19 ページ「プリンタ台」
☞ 本書 21 ページ「キャビネット」

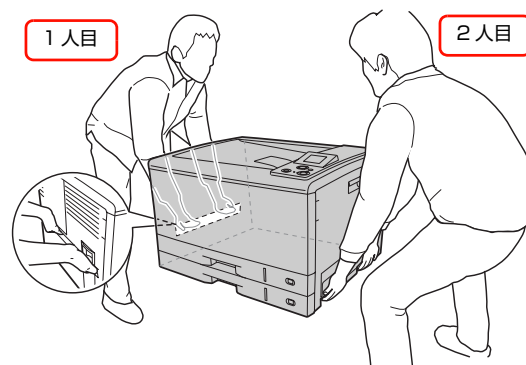
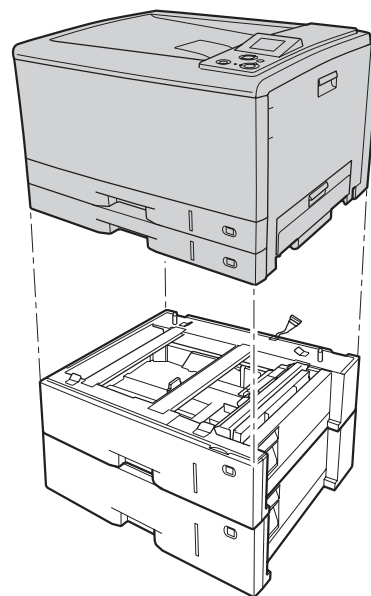
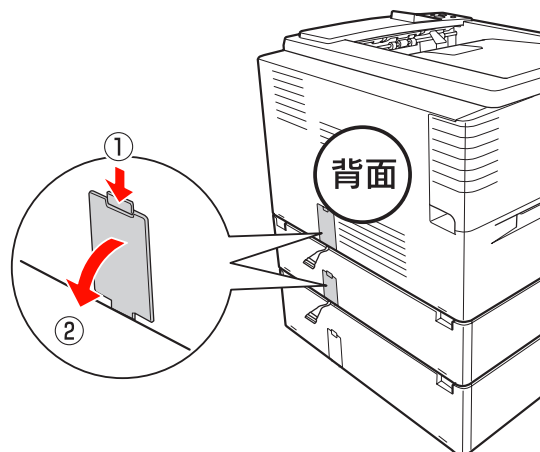
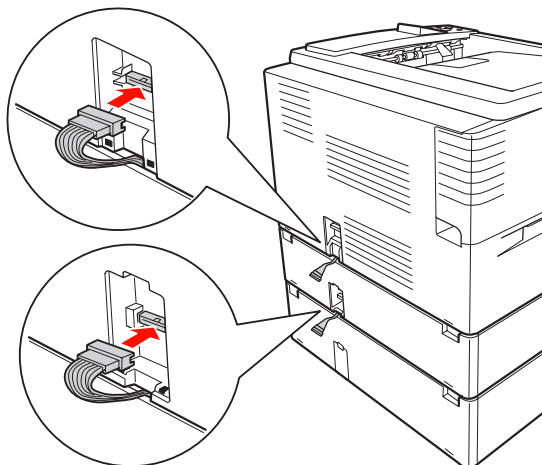
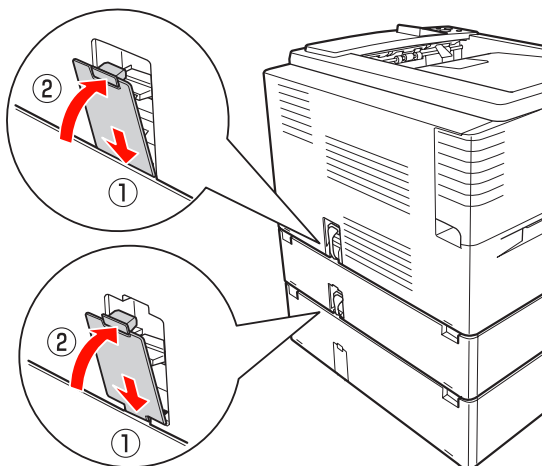
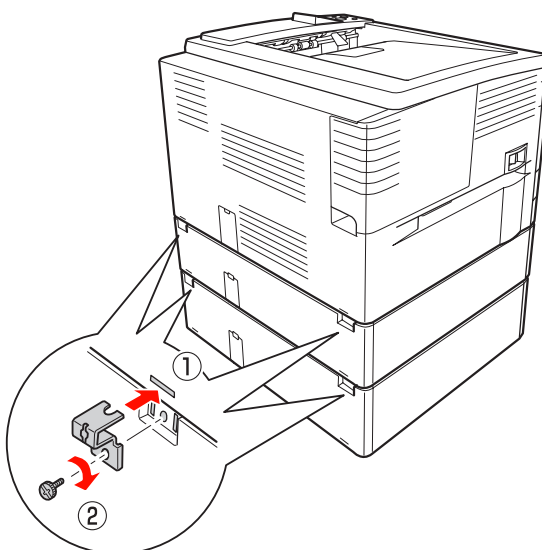
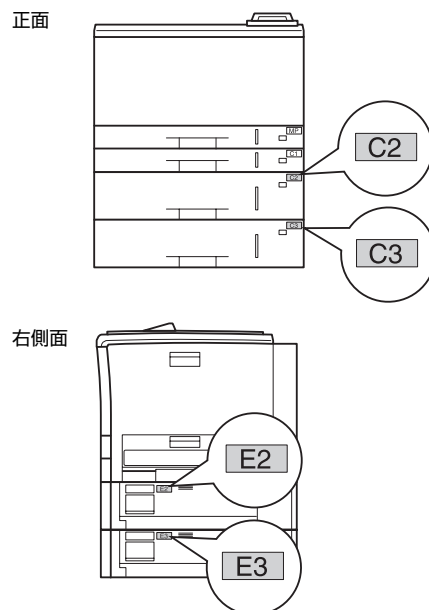
5 **増設カセットユニットを、設置場所に置きます。**

設置に適した場所は以下を参照してください。

☞ 本書 27 ページ「設置」

6 **増設カセットユニットを 2 段取り付けるときは、 1 段目と 2 段目を重ねます。**

1 段目の突起と 2 段目の底面がしっかりかみ合うようにして、すき間ができないように重ねてください。

7 **増設カセットユニットの上にプリンタ本体を載せます。**

本機は、必ず 2 人で持ち上げてください。図のようにプリンタの取っ手に手を掛けて運んでください。

増設カセットユニットの突起とプリンタ本体の底面がしっかりかみ合うようにして、すき間ができないように重ねてください。

8 **増設カセットユニットとプリンタ本体の背面のコネクタカバーを取り外します。**

9 コネクタを接続します。

10 コネクタカバーを取り付けます。

11 増設カセットユニットとプリンタの背面を、固定金具（2個）とネジ（2本）で固定します。

12 用紙カセットとカバーEの番号ラベルを貼り付けます。

以上で終了です。

続いて消耗品をセットします。

本書 28 ページ「消耗品、用紙、電源コードのセット」

オプションをプリンタドライバで設定

初めて本機をセットアップするときは、この項目を読まずに、以下のページに進んでください。

☞ 本書 27 ページ「設置」

すでに本機を使用中で、オプションを追加したときは、以下の作業を行ってください。

取り付けたオプションを使用するには、プリンタドライバの設定が必要です。

Windows の場合

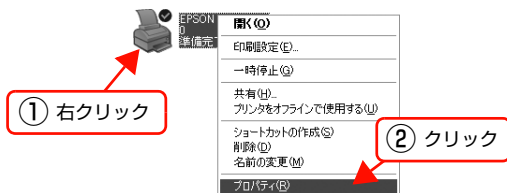
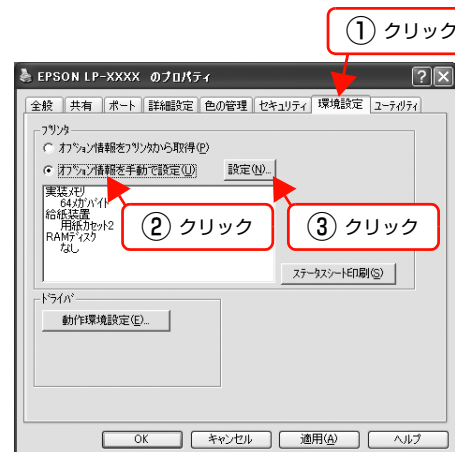
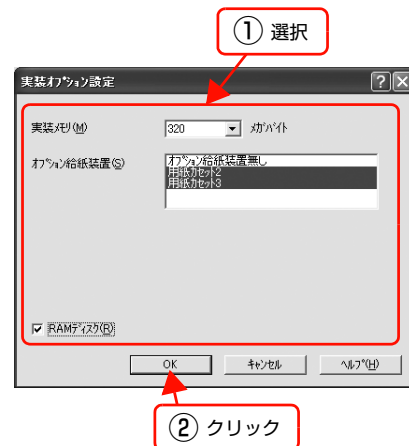
- EPSON ステータスモニタをインストールしている場合は、プリンタの電源を入れ、プリンタのプロパティ画面を開いてください。プロパティ画面を開くと自動的に認識されます。
- EPSON ステータスモニタをインストールしていない場合は、以下の手順でプリンタドライバでオプション情報を設定してください。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［環境設定］画面で［オプション情報を手動で設定］をクリックし、［設定］をクリックします。

4 取り付けたオプションを選択して［OK］をクリックします。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機を追加し直すか、EPSON ステータスモニタを起動すると、情報が更新されます。

設置

本機の設置に適した場所と設置方法を説明します。内容を確認し、正しく設置してください。

設置場所

次のような場所に設置してください。

- 本製品の質量に十分耐えられる、水平で安定した場所
  ☞ 本書 119 ページ「プリンタ外形寸法 / 質量」
- プリンタ底面の脚が確実に載る、プリンタの底面よりも広い場所
- 風通しの良い場所
- プリンタの通風口をふさがない場所
- 専用の電源コンセントが確保できる場所
- 用紙のセットや印刷した用紙の取り出しが無理なく行える場所
- 以下の環境条件を満たす場所
  ☞ 本書 121 ページ「環境条件」

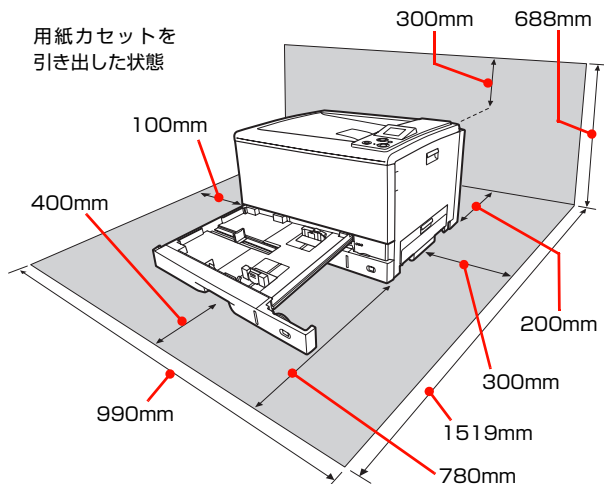
！重 要

- 以下のような場所には設置しないでください。動作不良や故障の原因となります。

直射日光の当たる場所	ホコリや塵の多い場所
温度変化の激しい場所	湿度変化の激しい場所
火気のある場所	水に濡れやすい場所
揮発性物質のある場所	冷暖房機具に近い場所
震動のある場所	加湿器に近い場所
テレビ・ラジオに近い場所	

- プリンタ本体より広く平らな場所に設置してください。
  プリンタの底面より小さい台の上に設置すると、プリンタ底面のゴム製の脚が台からはみ出てしまうため、内部機構に無理な力がかかり、印刷や紙送りに悪影響を及ぼします。

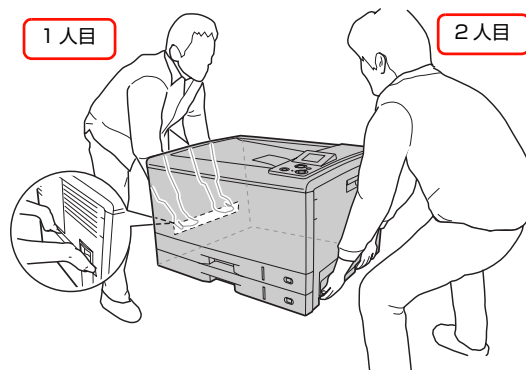
設置スペース

消耗品の交換や普段のお手入れに支障のないよう、以下のスペースを確保して設置してください。

静電気の発生しやすい場所では、市販の静電防止マットなどを使用して静電気の発生を防いでください。

プリンタの持ち方

本機は、必ず 2 人で持ち上げてください。図のようにプリンタの取っ手に手を掛けて運んでください。

⚠注 意

- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1 人で運ばないでください。
  開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  ☞ 本書 119 ページ「プリンタの仕様」
- 本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、プリンタが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
  本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
- 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
  転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
  作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

続いて消耗品をセットします。
☞ 本書 28 ページ「消耗品、用紙、電源コードのセット」

消耗品、用紙、電源コードのセット

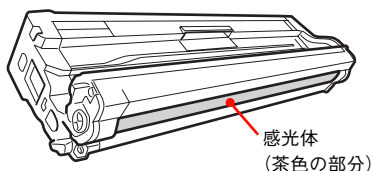
消耗品（感光体ユニット、トナーカートリッジ）と用紙のセット方法、電源コードの接続方法を説明します。

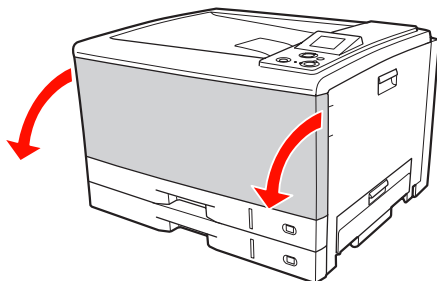
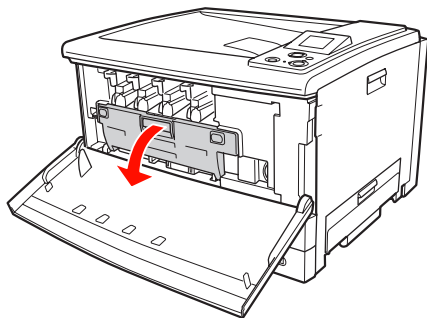
消耗品

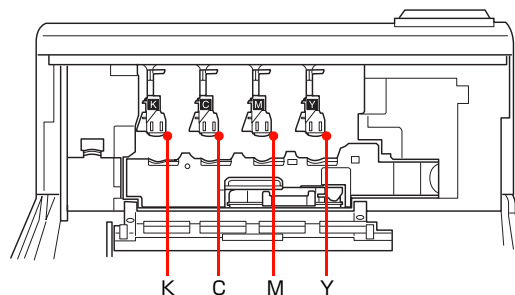
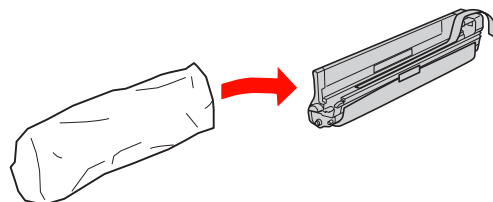
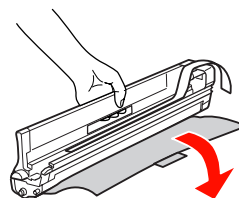
初めに感光体ユニット、次にトナーカートリッジを取り付けます。

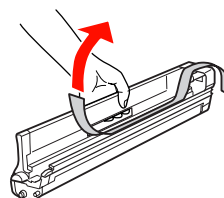
感光体ユニット

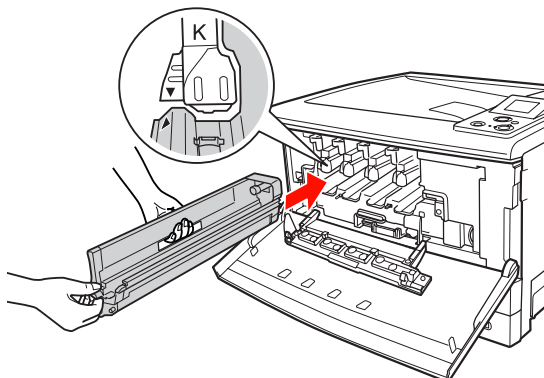
！重要

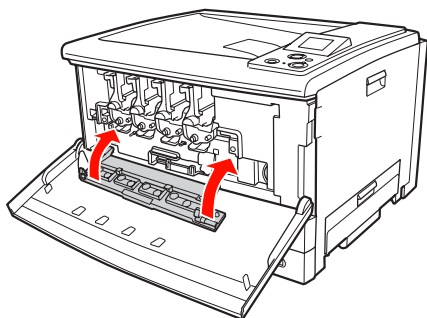
- 感光体（感光体ユニット下部の茶色の部分）には絶対に手を触れないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。

- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。

1 カバー A を開けます。

2 カバー H を開けます。

3 挿入口の色と位置を確認します。

感光体ユニットは、どの色からセットしてもかまいません。4 以降は、ブラックを例に説明します。

4 感光体ユニットを袋から取り出します。

5 感光体ユニットを図のように持って、保護シートを取り外します。

6 テープをはがします。

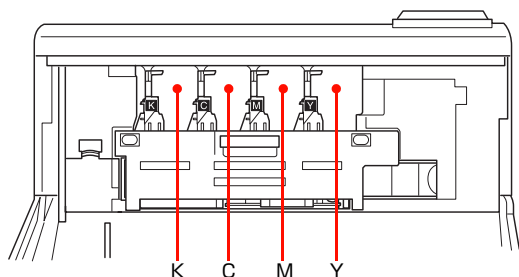
テープをはがした後は、トナーがこぼれますので傾けないでください。

7 **挿入口の色と位置を確認し、マークを合わせて感光体ユニットを挿入します。**

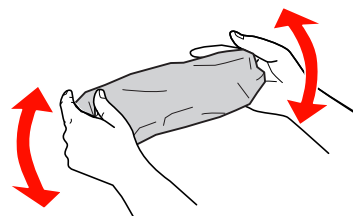
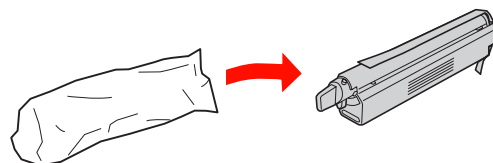
ロックされるまで押し込んでください。

8 **3～7を繰り返し､4色すべての感光体ユニットをセットします。**

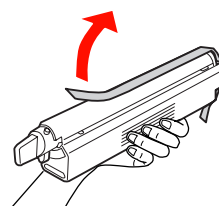
9 **カバーHを起こし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。**

トナーカートリッジ

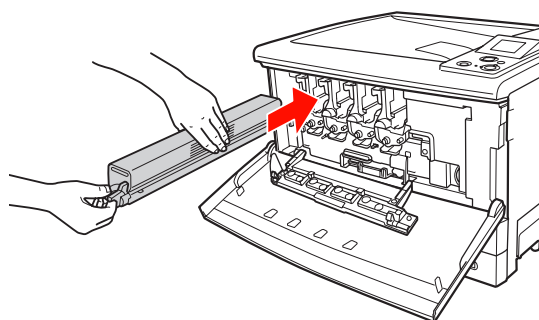
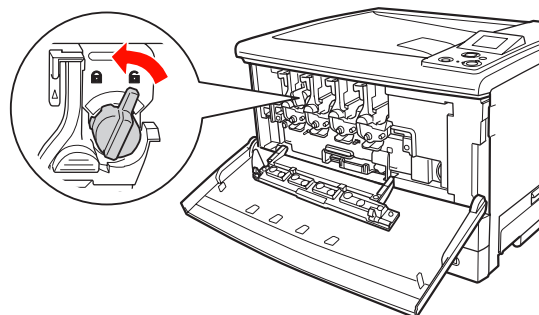
10 **挿入口の色と位置を確認します。**

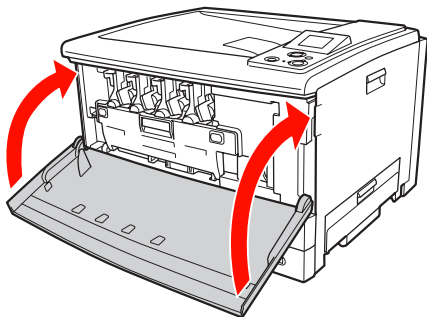
トナーカートリッジは、どの色からセットしてもかまいません。

11 以降は、ブラックを例に説明します。

11 **トナーカートリッジを、袋に入れたまま5～6回振ります。**

振った後、トナーが片寄らないように水平にならしてください。

12 **トナーカートリッジを袋から出します。**

13 **テープをはがします。**

トナーがこぼれることがありますので、注意してテープをはがしてください。

14 **挿入口の色と位置を確認し、トナー補給口を下に向けてトナーカートリッジを挿入します。**

奥に突き当たるまで押し込んでください。

15 **トナーロックレバーを押しながら回して、ロック位置に合わせます。**

16 ⑩～⑮を繰り返し、4 色すべてのトナーカートリッジをセットしてください。

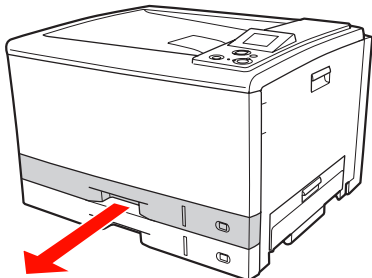
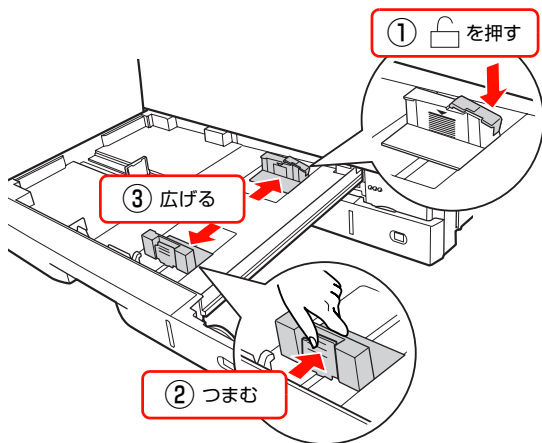
17 カバー A を閉じます。

続いて、用紙をセットします。

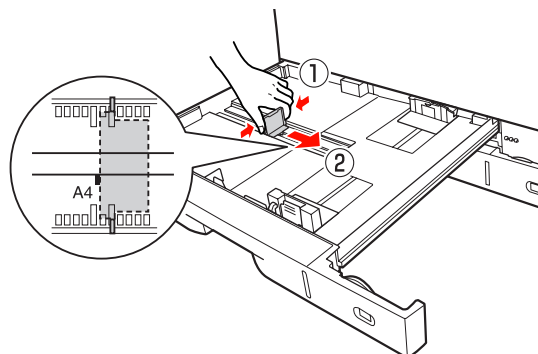
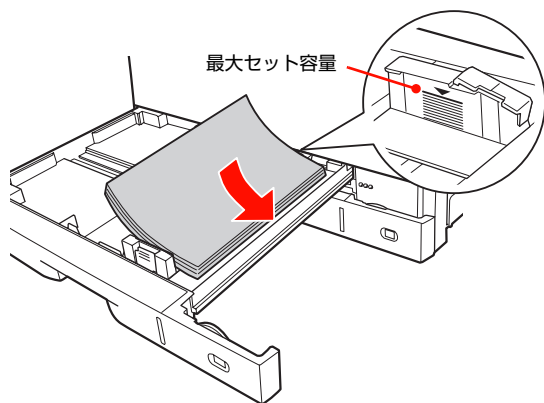
用紙

ここでは、A4 サイズの用紙を MP カセットにセットする方法を説明します。

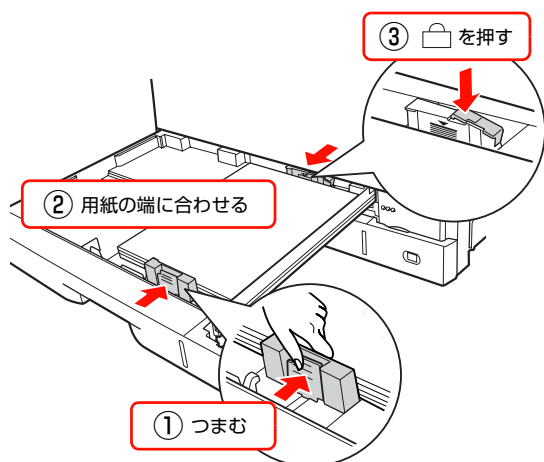
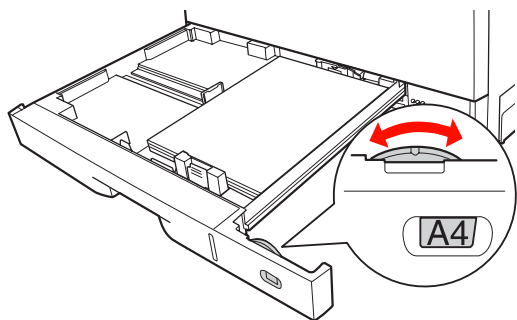
A4 サイズ以外の用紙のセット方法や、カセット 1、オプションの用紙カセットへのセット方法は、以下を参照してください。

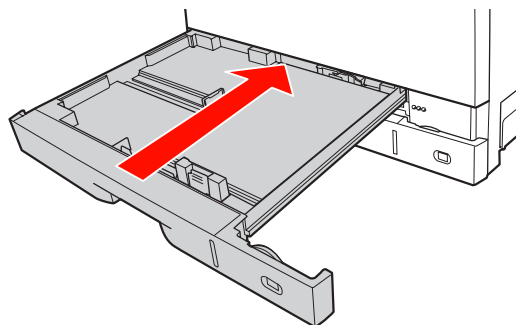
本書 50 ページ「用紙のセット方法」

1 MP カセットを引き出します。

2 用紙ガイド（前後）のロックを解除し、ツマミをつまんで外側に広げます。

3 用紙ガイド（左）のツマミをつまんで、A4 サイズに合わせます。

用紙ガイドが溝に固定されていることを確認してください。

4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。

重要

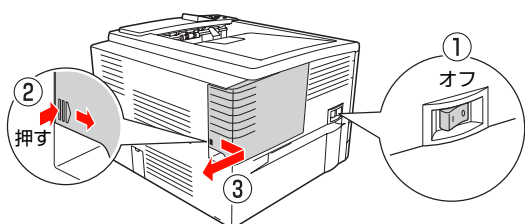
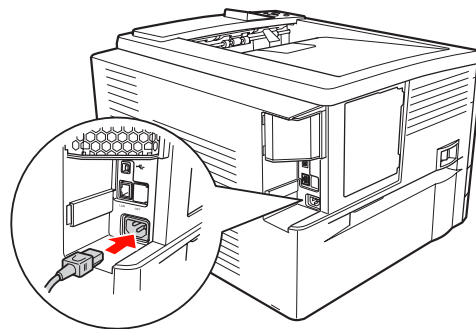
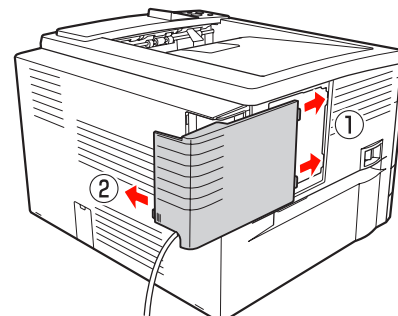
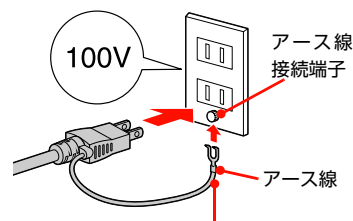
用紙は最大 150 枚（普通紙 64g/m²）までセットできます。用紙ガイド内側の最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。

5 用紙ガイド（前後）のツマミをつまんで用紙の端に合わせ、ロックします。

6 用紙サイズ設定ダイヤルを【A4】に設定します。

> **!重要**
> 用紙サイズ設定ダイヤルが正しく設定されていないと、用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られないことがあります。

7 MP カセットをプリンタにセットします。

続いて、電源コードを接続します。

電源コード

> **⚠警告**
> 漏電事故防止のため、接地接続（アース）を行ってください。アース線（接地線）を取り付けない状態で使用すると、感電・火災のおそれがあります。電源コードのアースを以下のいずれかに取り付けてください。
> - 電源コンセントのアース端子
> - 銅片などを 65cm 以上地中に埋めたもの
> - 接地工事（第 3 種）を行っている接地端子
>
> アース線の取り付け / 取り外しは、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れないときは、販売店にご相談ください。

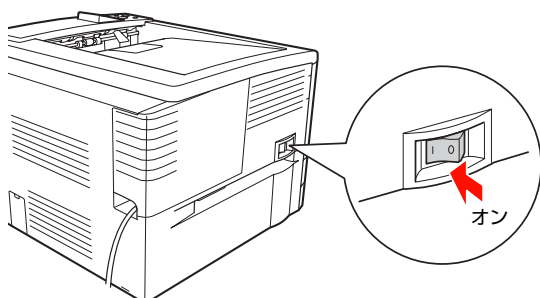
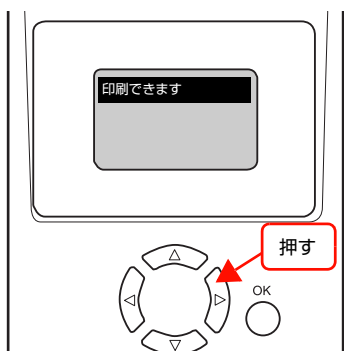
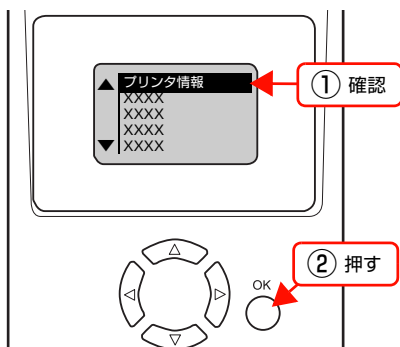
1 プリンタの電源がオフ（○）の位置になっていることを確認し、電装カバーを取り外します。

2 電源コードを接続します。

3 電装カバーを取り付けます。

4 電源プラグをコンセントに接続し、アース線を接続端子に接続します。

続いて、プリンタが正常に動作するかを確認します。

プリンタの動作確認

ステータスシートを印刷して、正しく印刷できるか、オプションが正しく取り付けられているかを確認します。

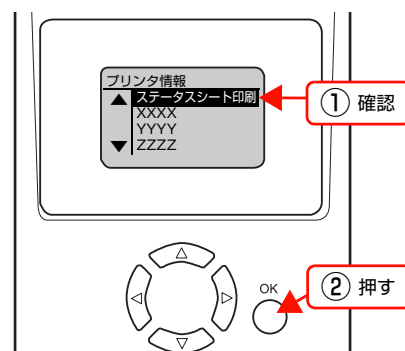
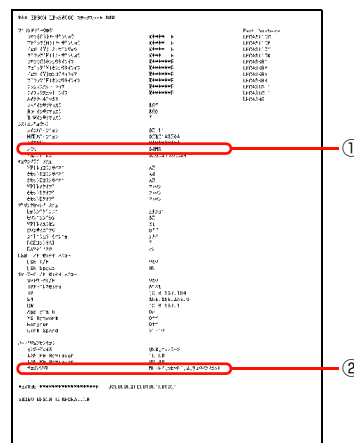
1 プリンタの電源を入れ、操作パネルに「印刷できます」と表示されるまで待ちます。

操作パネルに「印刷できます」または「節電中」以外のメッセージが表示されているときは、メッセージに従って対処してください。

本書 108 ページ「パネルメッセージとヘルプの見方」

2 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

3 [プリンタ情報] が選択されていることを確認して、【OK】ボタンを押します。

4 [ステータスシート印刷] が選択されていることを確認して、【OK】ボタンを押します。

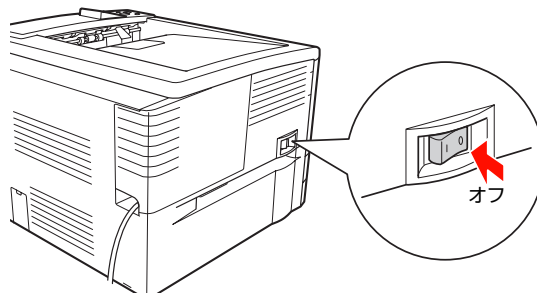
ステータスシートが印刷されます。

ステータスシートが印刷できないときは、以下を参照してください。

本書 41 ページ「セットアップできないときは」

ステータスシートの印刷例

オプションを取り付けた場合は、認識されているか確認します。

① メモリ
　標準搭載メモリ（64MB）と増設メモリの合計

② キュウシソウチ
　「カセット 2,3」が増設カセットユニット

5 電源を切ります。

続いて、コンピュータの接続と設定を行います。

コンピュータの接続と設定

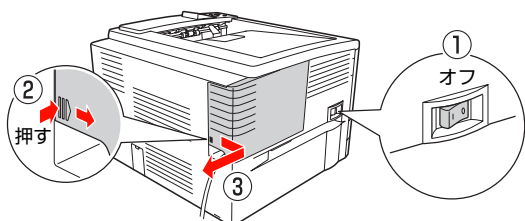
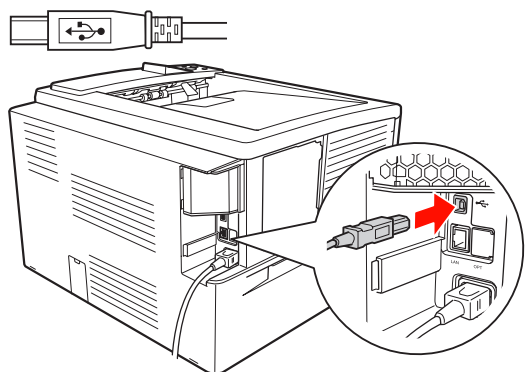
プリンタとコンピュータをケーブルで接続し、プリンタドライバなどのソフトウェアのインストールと設定を行います。
本書に記載されていない OS については、エプソンのホームページでご確認ください。
http://www.epson.jp/

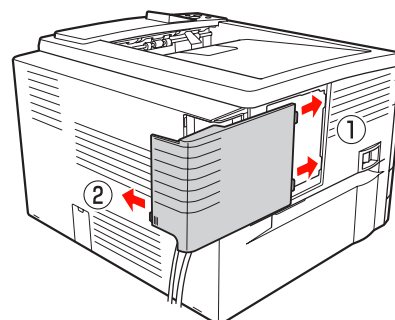
インストールが終了すると「MyEPSON」のショートカットやエイリアスがデスクトップ上に作成され、ここからユーザー登録をすることができます。

ローカル（直接）接続

USB ケーブルで本機とコンピュータをローカル（直接）接続します。ケーブルは本機に同梱されていませんので、以下を参照して用意してください。

本書 122 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」

1 **プリンタの電源が切れていることを確認し、電装カバーを取り外します。**

2 **コネクタの向きに注意して、プリンタとコンピュータに USB ケーブルを接続します。**

！重要
USB ケーブルをネットワークインターフェイスコネクタに接続しないでください。プリンタ本体と USB ケーブル双方のコネクタが破損するおそれがあります。

3 **電装カバーを取り付けます。**

続いて、以下のページに進んでください。

Windows の場合
本書 34 ページ「Windows の場合」

Mac OS X の場合
本書 35 ページ「Mac OS X の場合」

Windows の場合

！重要

管理者権限のあるユーザーでログオンし、インストールしてください。

3 に続いて以下の作業を行ってください。

4 Windowsを起動してソフトウェアCD-ROMをセットします。

Windows Vista:
① ［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］を、発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリックします。
② ［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックします。

Windows Vista 以外:
5 に進みます。

5 ［おすすめインストール］をクリックします。

6 ［ローカル（直接）接続］をクリックします。

7 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

最後に［完了］をクリックしてインストールを終了します。

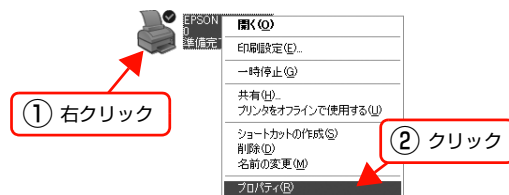
オプションを取り付けた場合は 8 に進んでください。

8 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

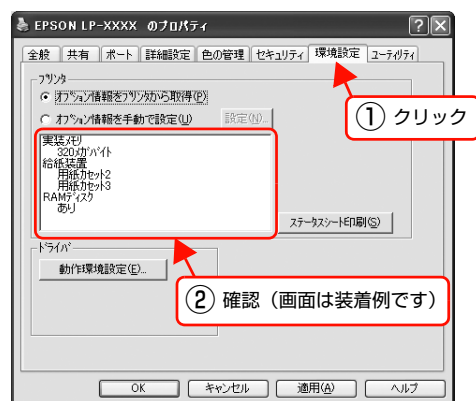
Windows Vista:
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003:
［スタート］－［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000:
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

9 本機のアイコンを右クリックして、プロパティをクリックします。

10 ［環境設定］タブをクリックし、装着したオプションを確認します。

取り付けたオプションが表示されないときは、以下を参照して手動設定してください。

☞ 本書 26 ページ「オプションをプリンタドライバで設定」

11 ［OK］をクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。

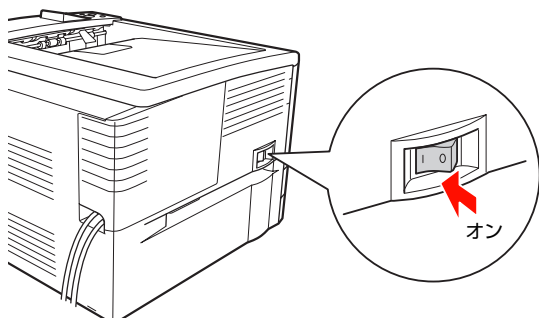
以上でセットアップは終了です。

Mac OS X の場合

!重要

- 管理者権限のあるユーザーでログオンし、インストールしてください。
- 標準HFS+形式でフォーマットしたドライブにインストールしてください。UNIX ファイルシステム（UFS）形式のドライブにはインストールできません。意図してドライブを UFS 形式に初期化し直していない一般の Mac OS X ユーザーの方は問題なくインストールできます。

33 ページの 3 に続いて以下の作業を行ってください。

4 プリンタの電源を入れます。

5 Mac OS X を起動してソフトウェア CD-ROM をセットし、デスクトップの［EPSON］のアイコンをダブルクリックします。

6 ［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。

7 ［おすすめインストール］をクリックします。

8 ［ローカル（直接）接続］をクリックします。

9 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

最後に［終了］をクリックしてインストールを終了します。

続いて、以下のページに進んでください。

Mac OS X v10.3 以前の場合

☞ 本書 36 ページ「Mac OS X v10.3 以前の場合」

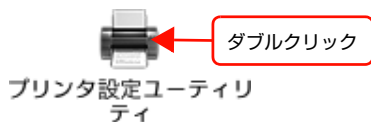
Mac OS X v10.4 の場合

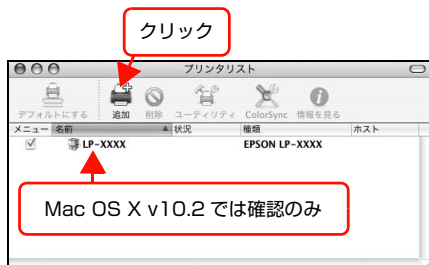
☞ 本書 36 ページ「Mac OS X v10.4 の場合」

Mac OS X v10.3 以前の場合

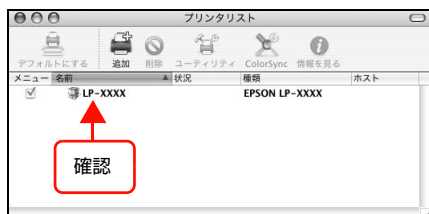
35 ページの 9 に続いて以下の作業を行ってください。

10 ［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］* を開きます。

* Mac OS X のバージョンによって名称は異なります。

11 ［追加］をクリックします。

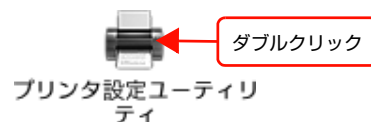
- Mac OS X v10.2 では、プリンタの電源を入れると自動的に追加されるため、プリンタ名が表示されていることだけを確認してください。

- 使用可能なプリンタがないときは、追加を促す画面が表示されます。［追加］をクリックすると 12 の画面が表示されます。

12 ［EPSON USB］または［USB］を選択してから本機を選択し、［追加］をクリックします。

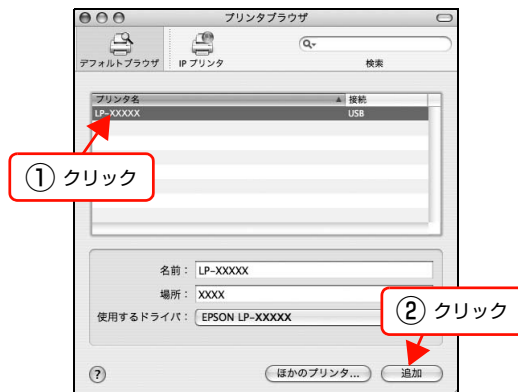
13 本機が追加されたことを確認し、画面を閉じます。

以上でセットアップは終了です。

Mac OS X v10.4 の場合

35 ページの 9 に続いて以下の作業を行ってください。

10 ［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます。

11 ［追加］をクリックします。

使用可能なプリンタがないときは、追加を促す画面が表示されます。［追加］をクリックすると 12 の画面が表示されます。

12 本機を選択し、［追加］をクリックします。

13 本機が追加されたことを確認し、画面を閉じます。

以上でセットアップは終了です。

ネットワーク(LAN)接続

LAN ケーブルを使って、本機をネットワーク環境に接続します。同一セグメント内で、ネットワークプリンタとして使用できます。

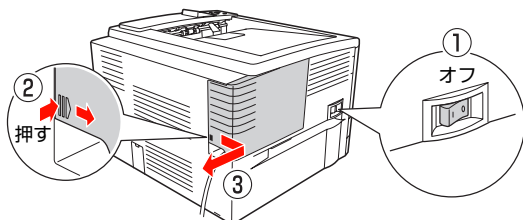
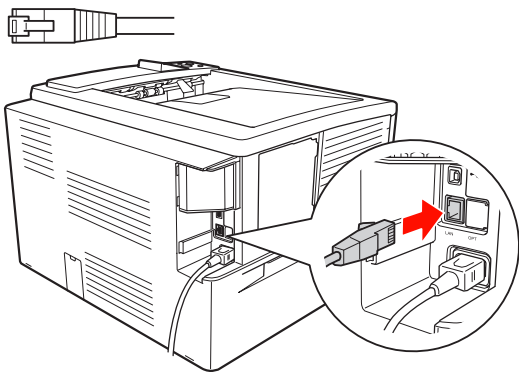
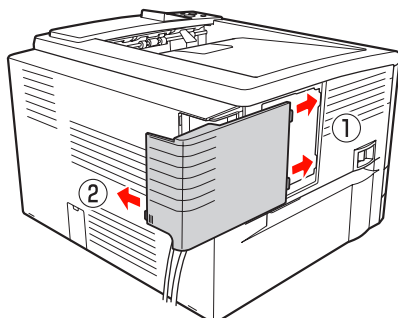
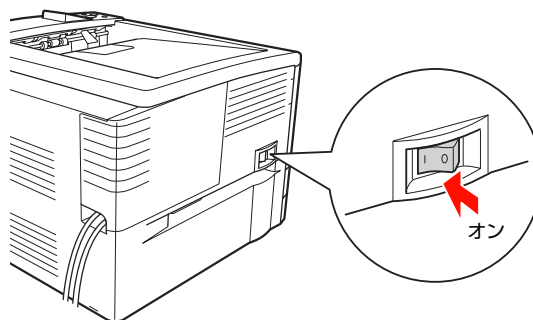
LAN ケーブルは本機に同梱されていませんので、以下のケーブルを用意してください。

市販の LAN ケーブル

- シールドツイストペアケーブル（カテゴリ５以上）
- 10Base-T または 100Base-TX

ここでは、本機に添付されているソフトウェアを使用して IP アドレスを設定する方法を説明します。これ以外の設定方法や、ネットワーク設定に関するそのほかの詳細情報は以下を参照してください。

☞『ネットワーク編』（電子マニュアル）

1 **プリンタの電源が切れていることを確認し、電装カバーを取り外します。**

2 **LAN ケーブルを接続します。**

3 **電装カバーを取り付けます。**

4 **電源を入れます。**

続いて、以下のページに進んでください。

Windows の場合

☞ 本書 38 ページ「Windows の場合」

Mac OS X の場合

☞ 本書 39 ページ「Mac OS X の場合」

Windows の場合

4 に続いて以下の作業を行ってください。

5 Windowsを起動してソフトウェアCD-ROMをセットします。

Windows Vista:

① ［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］を、発行元が SEIKO EPSON であることを確認してからクリックします。

② ［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックします。

Windows Vista 以外:

6 に進みます。

6 ［おすすめインストール］をクリックします。

7 ［ネットワーク（LAN）接続］をクリックします。

8 画面の指示に従ってインストール作業を進めます。

- 以下の画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON」であることを確認して、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

- 市販のファイアウォールソフトウェアをインストールしていると、ファイアウォールソフトウェア関連の画面が表示されることがあります。ソフトウェアの取扱説明書を参照して、一時的に通信を許可してください。

最後に［完了］をクリックしてインストールを終了します。

オプションを取り付けた場合は 9 に進んでください。

9 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］／［プリンタ］を開きます。

Windows Vista:

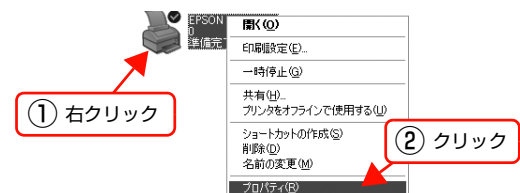
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003:

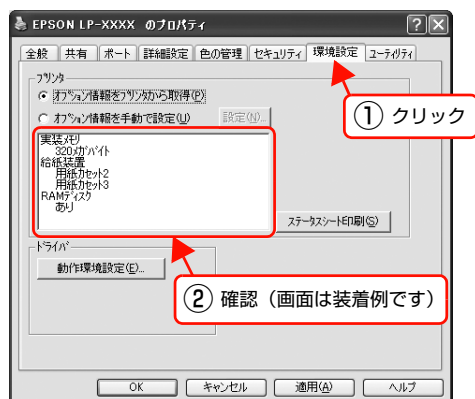
［スタート］－［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000:

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

10 本機のアイコンを右クリックして、プロパティをクリックします。

11 **［環境設定］タブをクリックし、装着したオプションを確認します。**

取り付けたオプションが表示されないときは、以下を参照して手動設定してください。

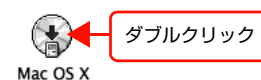
☞ 本書 26 ページ「オプションをプリンタドライバで設定」

12 **［OK］をクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。**

以上でセットアップは終了です。

Mac OS X の場合

37 ページの 4 に続いて以下の作業を行ってください。

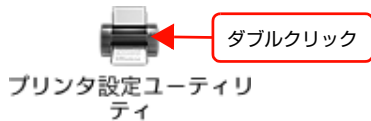
5 **Mac OS X を起動してソフトウェア CD-ROM をセットし、デスクトップの［EPSON］のアイコンをダブルクリックします。**

6 **［Mac OS X］のアイコンをダブルクリックします。**

7 **［おすすめインストール］をクリックします。**

8 **［ネットワーク（LAN）接続］をクリックします。**

9 **画面の指示に従ってインストール作業を進めます。**

最後に［終了］をクリックしてインストールを終了します。

10 ［アプリケーション］－［ユーティリティ］フォルダから［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］* を開きます。

* Mac OS X のバージョンによって名称は異なります。

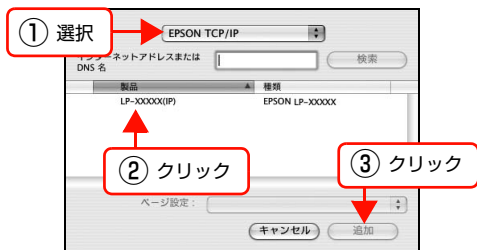
11 ［追加］をクリックします。

使用可能なプリンタがないときは、追加を促す画面が表示されます。［追加］をクリックすると 12 の画面が表示されます。

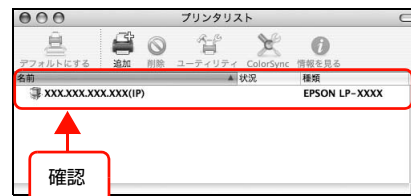
12 本機を選択し、［追加］をクリックします。

Mac OS X v10.3 以前：

［EPSON TCP/IP］を選択してから本機を選択します。他のプロトコルを設定する方法は以下を参照してください。

☞『ネットワーク編』（電子マニュアル）

Mac OS X v10.4：

最初の画面で［ほかのプリンタ］をクリックします。次の画面で［EPSON TCP/IP］を選択してから本機を選択します。

13 本機が追加されたことを確認し、画面を閉じます。

以上でセットアップは終了です。

セットアップできないときは

セットアップに関するトラブルとその対処方法は以下の通りです。これ以外のトラブルについては以下を参照してください。
☞ 本書 85 ページ「困ったときは」

ネットワーク設定に関する情報は、以下を参照してください。
☞『ネットワーク編』（電子マニュアル）

トラブル状態	対処方法
ソフトウェアCD-ROMをセットしても、セットアップ画面が表示されない（Windows のみ）	**CD-ROM の Autorun 機能が働いていない可能性があります。** CD-ROM ドライブの CD アイコンをダブルクリックしてください。セットアップ画面が表示されます。 **ローカル（直接）接続で、プリンタの電源を入れたままケーブルを接続していませんか？** Windows の［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されたら、［キャンセル］をクリックし、プリンタの電源を切ってからソフトウェア CD-ROM をセットし直してください。 セットアップ画面が自動的に表示されないときは、CD-ROM ドライブの CD アイコンをダブルクリックしてください。
ステータスシートが印刷できない	**電源が入っていますか？また、操作パネルに「印刷できます」または「節電中」と表示されていますか？** 「印刷できます」または「節電中」以外のメッセージが表示されているときは、メッセージに従って対処してください。 ☞ 本書 108 ページ「パネルメッセージとヘルプの見方」
プリンタドライバのインストールができない（USB 接続）	**お使いのコンピュータは Windows 2000/XP/Server 2003/Vista がプレインストールされたコンピュータ、または Windows 98/Me がプレインストールされていて Windows 2000/XP にアップグレードしたコンピュータですか？** USB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータの詳細は、コンピュータメーカーへご確認ください。 **Mac OS X をご使用のときに、UNIX ファイルシステム（UFS）形式でフォーマットしたドライブにソフトウェアをインストールしていませんか？** Mac OS X をインストールする際に、ドライブのフォーマット形式を Mac OS 拡張（HFS+）形式または UNIX ファイルシステム（UFS）形式から選択することができます。本機用のプリンタドライバは、UFS 形式でフォーマットしたドライブでは使うことができませんので、HFS+ 形式でフォーマットしたドライブにインストールしてください。

トラブル状態	対処方法
ネットワークインターフェイスの設定ができない	**LAN ケーブルが確実に差し込まれていますか？** 本機のコネクタとコンピュータまたはハブ側のコネクタに LAN ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えて確認してください。 **ハブは正常に動作していますか？** ハブのポートのリンクランプが点灯 / 点滅しているか確認してください。リンクランプが消灯している場合は、他のポートに接続して、リンクランプが点灯 / 点滅するかどうか確認してください。 他のポートに接続してもリンクランプが消灯している場合は、ハブの電源が入っていないかハブが故障している可能性があります。ネットワーク管理者に確認してください。 **IP アドレスは正しいですか？** TCP/IP で使用している場合は、IP アドレスがお使いの環境で有効な値に設定されているか確認してください。 工場出荷時の値は［192.168.192.168］ですが、製品の仕様上、工場出荷時の状態のままでは使用できません。この IP アドレスを使用する場合は、工場出荷時の値を一旦消してから同じ IP アドレスを再入力することで使用可能となります。ネットワークインターフェイスの IP アドレスは、ご利用の環境に合わせて必ず変更してください。 設定した IP アドレスは、ステータスシートまたは操作パネルの［ネットワーク情報印刷］で確認できます。 ☞ 本書 75 ページ「プリンタの状態・設定（ステータス）の確認」

3 印刷

印刷機能の概要、印刷できる用紙、基本的な印刷方法などを記載しています。

印刷機能のご紹介

本機に搭載されている印刷機能の中から、よく使うと思われる機能や便利な機能をご紹介します。

さまざまな種類の用紙に印刷

定形の普通紙、再生紙などのほかに、以下のような用紙にも印刷できます。本書では、これらの用紙をまとめて「特殊紙」と記載しています。

ハガキ	郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 面連刷ハガキ
封筒	洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、角形 2 号
厚紙	用紙厚 101 ～ 216 g/m^2 の用紙
ラベル紙	A4 サイズのレーザープリンタ用またはコピー機用ラベル紙
OHP シート	EPSON カラーレーザープリンタ専用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）
定形紙以外の用紙	用紙幅 90 ～ 297mm、用紙長 148 ～ 432mm の用紙
長尺用紙	用紙幅 210 ～ 297mm、用紙長 433 ～ 1200mm の用紙

印刷できる用紙の詳細は以下を参照してください。

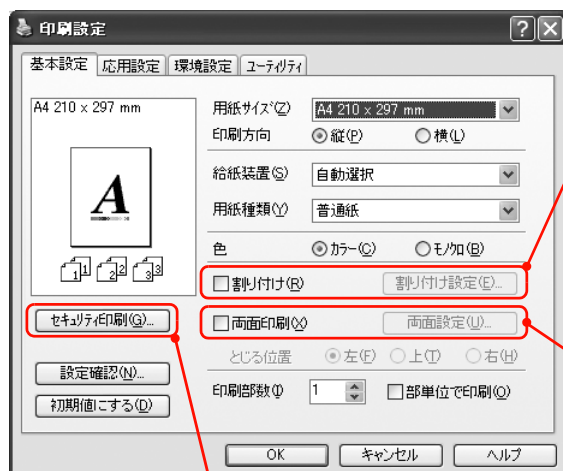
☞ 本書 46 ページ「印刷できる用紙」

印刷方法は以下を参照してください。

☞ 本書 54 ページ「印刷と中止」
☞『詳細編』（電子マニュアル）―「特殊紙（ハガキや封筒など）への印刷」

プリンタドライバの便利な印刷機能

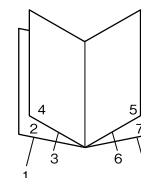
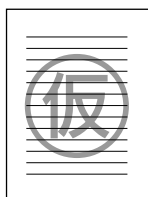
プリンタドライバで、さまざまな便利な設定ができます。（画面は Windows の例）

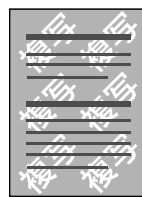
[基本設定]画面

割り付け印刷

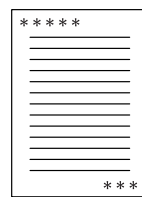
２ページまたは４ページを１ページに割り付け

割り付け印刷 ＋ 両面印刷

両面印刷

製本印刷

スタンプマーク

テキストやビットマップのオリジナルのマークも登録できます。

透かし印刷

不正コピーの抑制などに役立ちます。

ヘッダー / フッター

ユーザー名、日付、時刻、部番号などが設定できます。

パスワード

プリンタドライバでパスワードを設定し、プリンタの操作パネルで設定したパスワードを入力すると印刷されます。

[応用設定]画面

詳細は以下を参照してください。

☞『詳細編』（電子マニュアル）—「便利な印刷機能」

印刷できる用紙

本機で印刷できる用紙と、用紙に関する注意事項などを説明します。用紙サイズ、用紙厚などの詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」

特殊紙に関する詳細な情報は以下を参照してください。

☞『詳細編』（電子マニュアル）－「特殊紙（ハガキや封筒など）への印刷」

印刷できる用紙の種類

本機で印刷できる用紙の種類は以下の通りです。これ以外の用紙を使用すると、紙詰まりや故障の原因となります。

本機で片面印刷した用紙の裏面に印刷する場合、印刷品質は保証できません。

エプソン製の用紙

商品		型番（サイズ）	説明
普通紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA3（A3） LPCPPA4（A4） LPCPPB4（B4）	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。両面に印刷するときは、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。
特殊紙	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	LPCOHPS1（A4）	EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。
	長尺用紙	LPCCJY1	用紙幅 297mm、用紙長 1200mm の長尺サイズの用紙です。

一般の用紙

用紙種類		説明
普通紙	コピー用紙、上質紙、再生紙（古紙配合率 100%の再生紙を含む）	再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙は品質のばらつきが大きいため、必ず試し印刷をしてからお使いください。給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。
特殊紙	郵便ハガキ	郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 面連刷ハガキ。往復郵便ハガキは、中央に折り跡のないものをお使いください。
	封筒	洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、角形 2 号
	厚紙	用紙厚が 101 ～ 216g/m^2 の用紙（ケント紙を含む）
	ラベル紙	レーザープリンタ用またはコピー機用の A4 サイズのラベル紙（台紙全体がラベルで覆われているもの）
	定形紙以外の用紙	用紙幅 90 ～ 297mm、用紙長 148 ～ 432mm の用紙
	長尺用紙	用紙幅 210 ～ 297mm、用紙長 433 ～ 1200mm の用紙

用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態を確認してください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。

印刷できない用紙

以下の用紙には印刷しないでください。

プリンタの故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、インクジェット用郵便ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- 他のモノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙

給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

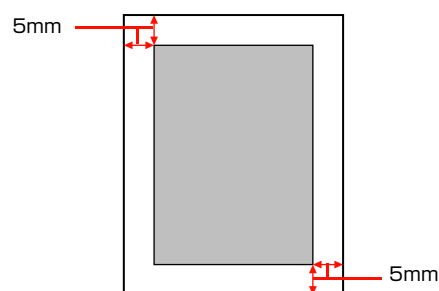
- 薄すぎる用紙（63g/m^2 以下)、厚すぎる用紙（217g/m^2 以上）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 吸湿して波打ちしている用紙

約 200 ℃で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

本機の印刷保証領域は、用紙の各辺の端から 5mm を除く領域です。

アプリケーションソフトによっては印刷領域が上記より小さくなることがあります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ほこりがつかないよう、包装紙などに包んで保管してください。

用紙一覧と設定早見表

本機で印刷できる用紙と、印刷の際に必要な設定などを一覧表示しています。基本的な印刷の手順は以下を参照してください。

本書 54 ページ「用紙カセットからの印刷」

①用紙種類	②用紙サイズ			③用紙厚	④給紙装置と用紙容量（総厚）			
					手差しトレイ 印刷面を下	MP カセット 印刷面を上	カセット 1 印刷面を上	カセット 2 ～ 3 印刷面を上
エプソン製	上質普通紙	A3（型番：LPCPPA3）	297 × 420mm	−	1 枚	150 枚	250 枚	550 枚
		A4（型番：LPCPPA4）	210 × 297mm	−	1 枚			
		B4（型番：LPCPPB4）	257 × 364mm	−	1 枚			
	OHP シート	A4（型番：LPCOHPS1）	210 × 297mm	−	1 枚	50 枚	×	×
	長尺用紙	（型番 LPCCJY1）	297 × 1200mm	−	1 枚	×	×	×
一般	普通紙 コピー用紙 上質紙 再生紙	A3	297 × 420mm	64 ～ 100g/m^2	1 枚	150 枚[*1] （15mm）	250 枚[*1] （25mm）	550 枚[*1] （55mm）
		A4	210 × 297mm		1 枚			
		B4	257 × 364mm		1 枚			
		B5	182 × 257mm		1 枚			
		Legal (LGL)	8.5 × 14 インチ		1 枚			
		Letter (LT)	8.5 × 11 インチ		1 枚			
		Ledger (B)	11 × 17 インチ		1 枚			
		A5	148 × 210mm		1 枚		×	×
		Half-Letter (HLT)	5.5 × 8.5 インチ		1 枚		×	×
		Government Letter (GLT)	8 × 10.5 インチ		1 枚		×	×
		Government Legal (GLG)	8.5 × 13 インチ		1 枚		×	×
		Executive (EXE)	7.3 × 10.5 インチ		1 枚		×	×
		F4	210 × 330mm		1 枚		×	×
		定形紙以外	90 ～ 297mm × 148 ～ 432mm		1 枚		×	×
		長尺用紙	210 ～ 297mm × 433 ～ 1200mm		1 枚	×	×	×
	郵便ハガキ	ハガキ	100 × 148mm	190 g/m^2	1 枚	30 枚	×	×
		往復ハガキ	148 × 200mm					
		4 面連刷ハガキ	200 × 296mm					
	封筒	洋形 0 号	235 × 120mm	64 ～ 100 g/m^2	1 枚	10 枚 （10mm）	×	×
		洋形 4 号	235 × 105mm					
		洋形 6 号	190 × 90mm					
		長形 3 号	235 × 120mm					
		角形 2 号	332 × 240mm					
	ラベル紙	A4	210.0 × 297.0mm	−	1 枚	30 枚	×	×
	厚紙	A3	297 × 420mm	101 ～ 157g/m^2 厚紙 158 ～ 216g/m^2 特厚紙	1 枚	100 枚[*2] （15mm）	×	×
		A4	210 × 297mm		1 枚			
		B4	257 × 364mm		1 枚			
		B5	182 × 257mm		1 枚			
		Letter (LT)	8.5 × 11 インチ		1 枚			
		Legal (LGL)	8.5 × 14 インチ		1 枚			
		Ledger (B)	11 × 17 インチ		1 枚			
		A5	148 × 210mm		1 枚			
		Half-Letter (HLT)	5.5 × 8.5 インチ		1 枚			
		Government Letter (GLT)	8 × 10.5 インチ		1 枚			
		Government Legal (GLG)	8.5 × 13 インチ		1 枚			
		Executive (EXE)	7.3 × 10.5 インチ		1 枚			
		F4	210 × 330mm		1 枚			
		定形紙以外	90 ～ 297mm × 148 ～ 432mm		1 枚			
		長尺用紙	210 ～ 297mm × 433 ～ 1200mm		1 枚	×		

＊1 64g/m^2 の用紙をセットした場合の枚数です。

＊2 128 g/m^2 の用紙をセットした場合の枚数です。

×：不可
－：設定不要

⑤セット方向（↑は給紙方向）	⑥両面印刷	⑦用紙サイズ設定ダイヤル		⑧操作パネル	⑨プリンタドライバ		
		MP カセット	カセット 1～3	カセットタイプ *5	用紙サイズ	給紙装置	用紙種類
縦長	○	A3	A3	上質紙	A3	④参照	上質紙
横長	○	A4	A4		A4		
縦長	○	B4	B4		B4		
横長	×	A4	A4	OHP シート	A4		OHP シート
縦長	×	×	×	×	ユーザー定義サイズ		普通紙
縦長	○	A3	A3	普通紙 上質紙 印刷済み レターヘッド 再生紙 色つき	A3		普通紙 上質紙 カセット用紙サイズ 指定しない 普通紙 レターヘッド 再生紙 印刷済み 色つき 上質紙
横長	○	A4	A4		A4		
縦長	○	B4	B4		B4		
横長	○	B5	B5		B5		
縦長	○	その他 *3	LGL		LGL		
横長	○	その他 *3	LT		LT		
縦長	○	その他 *3	LDG		B		
横長	○	A5	×		A5		
縦長	×	その他 *3	×		HLT		
横長	○	その他 *3	×		GLT		
縦長	○	その他 *3	×		GLG		
横長	○	その他 *3	×		EXE		
縦長	○	その他 *3	×		F4		
登録した向き	○	その他 *4	×		ユーザー定義サイズ		
縦長	×	×	×	×	ユーザー定義サイズ		
縦長	×	はがき	×	－	ハガキ		－
縦長		その他 *3	×		往復ハガキ		
横長					4 連ハガキ		
縦長	×	その他 *3	×	－	洋形０号		－
					洋形４号		
					洋形６号		
縦長 ※フラップを開く					長形３号		
					角形２号		
横長	×	A4	×	ラベル	A4		ラベル
縦長	×	A3		－	A3		101～157g/m^2 厚紙 158～216g/m^2 特厚紙
横長	×	A4			A4		
縦長	×	B4			B4		
横長	×	B5			B5		
横長	×	その他 *3			LT		
縦長	×	その他 *3			LGL		
縦長	×	その他 *3			B		
横長	×	A5			A5		
縦長	×	その他 *3			HLT		
横長	×	その他 *3			GLT		
縦長	×	その他 *3			GLG		
横長	×	その他 *3			EXE		
縦長	×	その他 *3			F4		
登録した向き	×	その他 *4			ユーザー定義サイズ		
縦長	×	×		×	ユーザー定義サイズ		

*3 操作パネルの［給紙装置設定］—［MP カセットサイズ］で用紙サイズを設定してください。
*4 プリンタドライバで用紙サイズを設定してください。
*5 操作パネルでは［MP カセットタイプ］、［カセット 1 タイプ］、［カセット 2 タイプ］、［カセット 3 タイプ］と表示されます。

用紙のセットと排紙

用紙のセット方法と排紙方法を説明します。

用紙のセット方法

用紙カセット（標準／オプション）への用紙のセット方法を説明します。

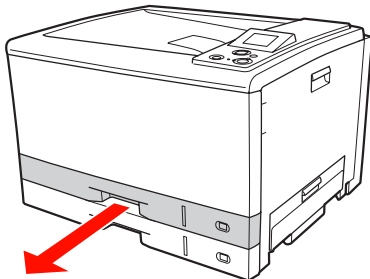
> ⚠注意
> 印刷用紙の端を手でこすらないでください。
> 用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

> ！重要
> - 印刷中は、用紙カセットを引き出さないでください。
> - 用紙カセットを勢いよく押し込まないでください。用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになるおそれがあります。
> - プリンタの動作中は、手差しトレイに用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因となります。

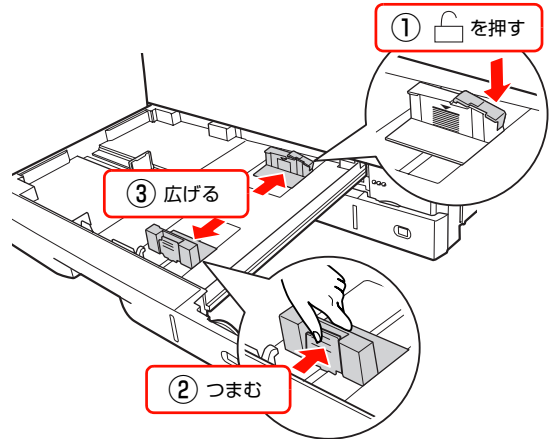
MP カセット / 用紙カセット 1（標準）

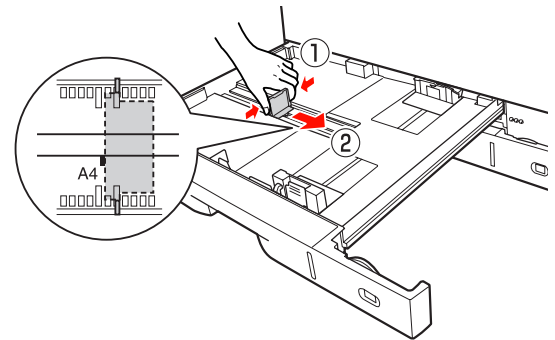
本機に標準装備されている用紙カセットへの用紙のセット方法を説明します。

ここでは、MP カセットを例に説明します。カセット 1 も同様の手順でセットできます。ただし、MP カセットと用紙カセット 1 はセットできる用紙の種類が異なります。

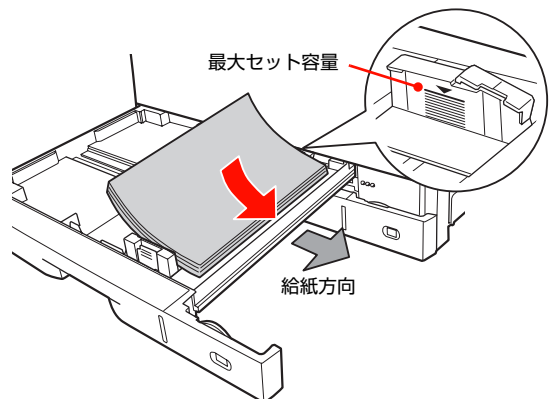
1 **セットする用紙を用意し、セット方向（縦長または横長）と容量（セット可能枚数）を確認します。**

☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」

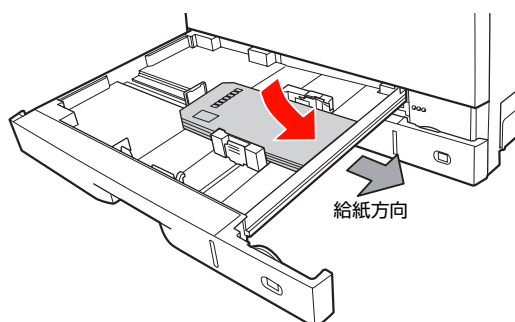
2 **用紙カセットを引き出します。**

3 **用紙ガイド（前後）のロックを解除し、ツマミをつまんで外側に広げます。**

4 **用紙ガイド（左）のツマミをつまんで、セットする用紙のサイズに合わせます。**

用紙ガイドが溝に固定されていることを確認してください。

5 **用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。**

横長の例

給紙方向（用紙の進行方向）に対して横長にセットします。

縦長の例

給紙方向（用紙の進行方向）に対して縦長にセットします。

! 重要

セットできる用紙の最大容量は以下の通りです。
- MP カセット　　150 枚（普通紙 64g/m²）
- 用紙カセット 1　250 枚（普通紙 64g/m²）

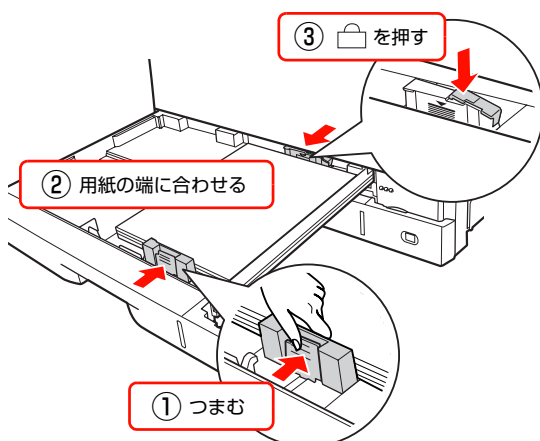
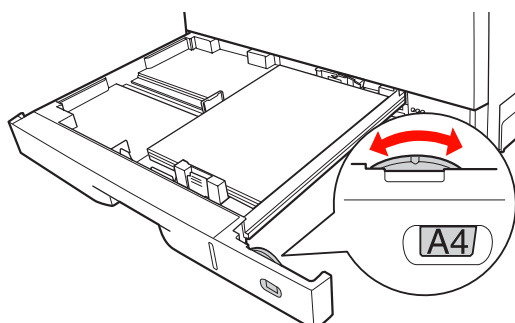
用紙ガイド内側の最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。

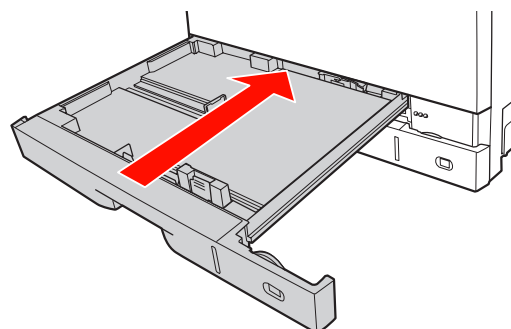
6 **用紙ガイド（前後）のツマミをつまんで用紙の端に合わせ、ロックします。**

! 重要

用紙ガイドは、セットする用紙のサイズに合わせてください。用紙サイズに合っていないと、給紙不良や紙詰まり、エラーの原因となります。

7 **用紙サイズ設定ダイヤルを、セットする用紙のサイズに合わせて設定します。**

! 重要

用紙サイズ設定ダイヤルが正しく設定されていないと、用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られないことがあります。

8 **用紙カセットをプリンタにセットします。**

9 **操作パネルの［給紙装置設定］メニューで、［MP カセットタイプ］/［カセット 1 タイプ］を設定します。**

操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。

☞ 本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」

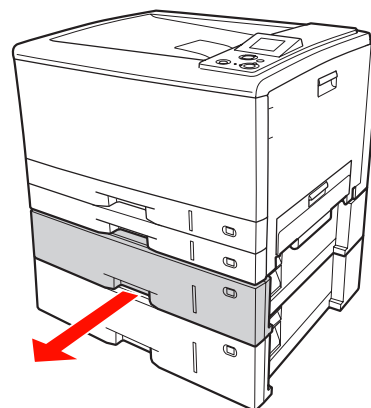
手差しトレイ（標準）

手差しトレイからの印刷方法は以下を参照してください。

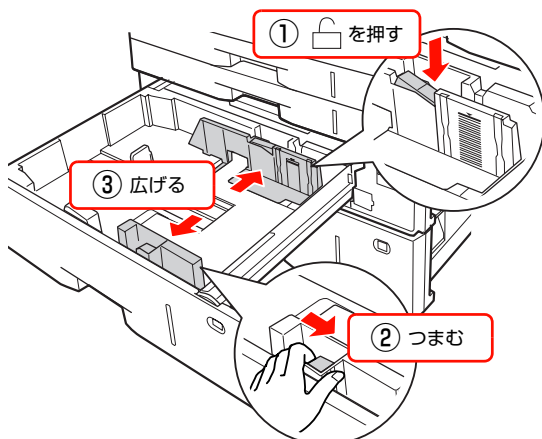
☞ 本書 54 ページ「手差しトレイからの印刷」

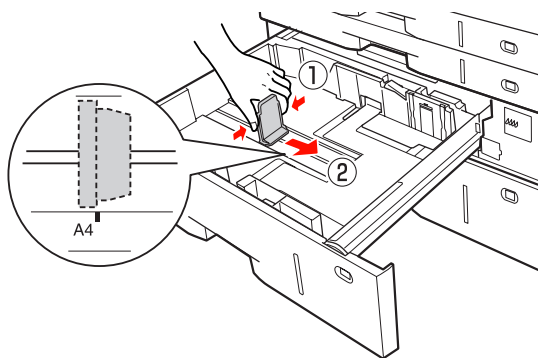
用紙カセット 2 ～ 3（オプション）

オプションの用紙カセットへの用紙のセット方法を説明します。ここでは、用紙カセット 2 を例に説明します。用紙カセット 3 も同様の手順でセットできます。

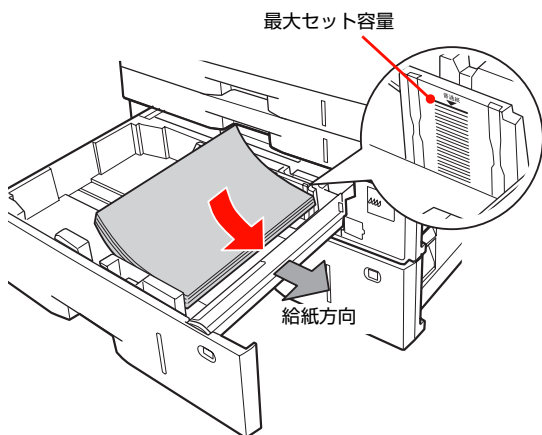
1 **セットする用紙を用意し、セット方向（縦長または横長）と容量（セット可能枚数）を確認します。**

☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」

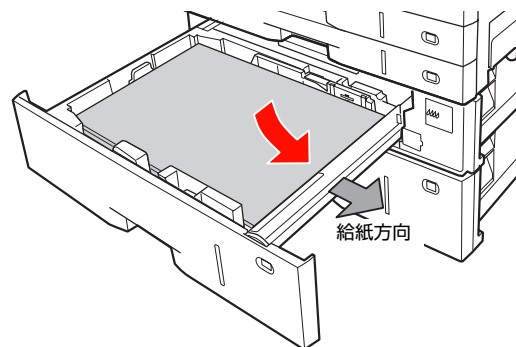
2 **用紙カセットを引き出します。**

3 **用紙ガイド（前後）のロックを解除し、ツマミをつまんで外側に広げます。**

4 **用紙ガイド（左）のツマミをつまんで、セットする用紙のサイズに合わせます。**

用紙ガイドが溝に固定されていることを確認してください。

5 **用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。**

横長の例

給紙方向（用紙の進行方向）に対して横長にセットします。

縦長の例

給紙方向（用紙の進行方向）に対して縦長にセットします。

！重要

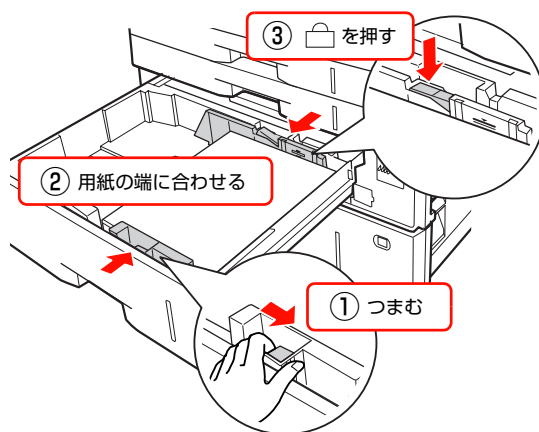
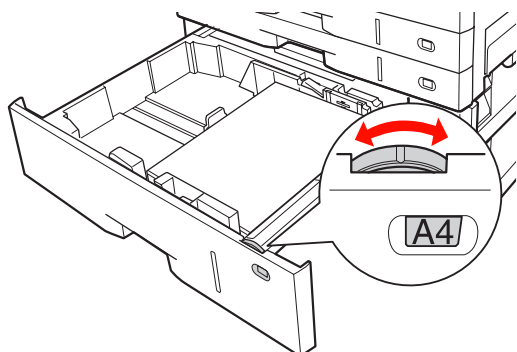
用紙は最大 550 枚（普通紙 64g/m^2）までセットできます。用紙ガイド内側の最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。

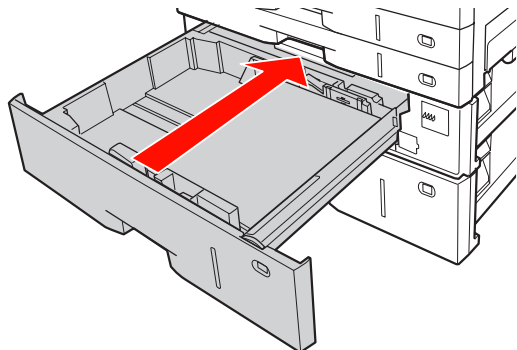
6 **用紙ガイド（前後）のツマミをつまんで用紙の端に合わせ、ロックします。**

！重要

用紙ガイドは、セットする用紙のサイズに合わせてください。用紙サイズに合っていないと、給紙不良や紙詰まり、エラーの原因となります。

7 **用紙サイズ設定ダイヤルを、セットする用紙のサイズに合わせて設定します。**

！重要

用紙サイズ設定ダイヤルが正しく設定されていないと、用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られないことがあります。

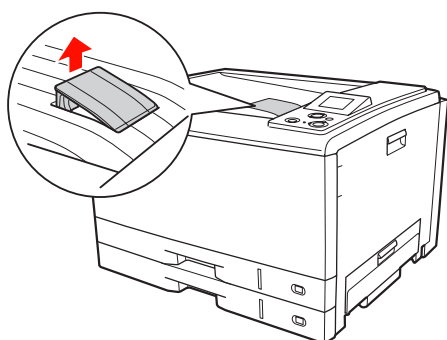
8 **用紙カセットをプリンタにセットします。**

9 **操作パネルの［給紙装置設定］メニューで、［カセット 2 タイプ］/［カセット 3 タイプ］を設定します。**

操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。

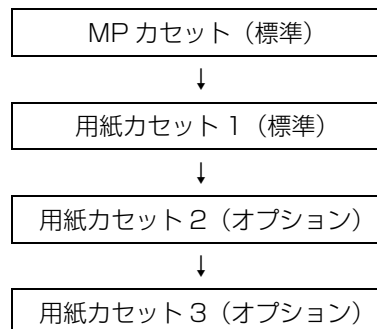
☞ 本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」

排紙

印刷された用紙は、印刷面を裏（フェイスダウン）にして排紙トレイに排出されます。排紙トレイには、一度に普通紙（用紙厚 64 g/m^2）で 250 枚まで排紙できます。

用紙が取りやすくなるよう、排紙サポートを起こしてお使いください。

給紙装置の優先順位

プリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定すると、［用紙サイズ］で設定した用紙がセットされている給紙装置が自動選択されます。同じサイズの用紙が複数の給紙装置にセットされているときは、以下の優先順位に従って給紙されます。

- 操作パネルで［プリンタ設定］—［MP カセット優先］—［する］（初期値）に設定したとき

- 操作パネルで［プリンタ設定］—［MP カセット優先］—［しない］に設定したとき

操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。

☞ 本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」

参考

初めの給紙装置の用紙がなくなると、次の給紙装置に自動的に切り替わります。例えば A4 の普通紙を、オプションを含むすべての用紙カセットにセットすると、最大 1500 枚の連続印刷が可能です。

印刷と中止

基本的な印刷の手順と中止方法を説明します。

用紙カセットからの印刷

基本的な印刷の手順は以下の通りです。本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」と併せて見ると便利です。

ハガキや封筒などの特殊紙への印刷方法の詳細は以下を参照してください。

☞『詳細編』（電子マニュアル）―「特殊紙（ハガキや封筒など）への印刷」

1 用紙を用意します。

本機で印刷できる用紙は以下を参照してください。

☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」①②③

2 印刷する面を上にして用紙をセットします。

各用紙のセット方向の一覧は以下を参照してください。

☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」④⑤

用紙のセット方法の詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 50 ページ「用紙のセット方法」

3 用紙サイズ設定ダイヤルと操作パネルで必要な設定をします。

用紙によって必要な設定項目が異なります。設定の要否と設定値は以下を参照してください。

☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」⑦ ⑧

操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。

☞ 本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」

4 プリンタドライバで必要な設定をして、印刷を実行します。

設定項目の一覧は以下を参照してください。

☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」⑨

設定方法は以下を参照してください。

☞『詳細編』（電子マニュアル）―「ソフトウェアの使い方」

以上で終了です。

手差しトレイからの印刷

！重要

手順 5 までは、用紙をプリンタにセットしないでください。正しく給紙されないことがあります。また、プリンタの動作中は、手差しトレイに用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因となります。

1 用紙を用意します。

2 プリンタドライバで［給紙装置］を［手差し］に設定し、印刷を実行します。

［給紙装置］以外の設定項目は以下を参照してください。

☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」⑨

設定方法は以下を参照してください。

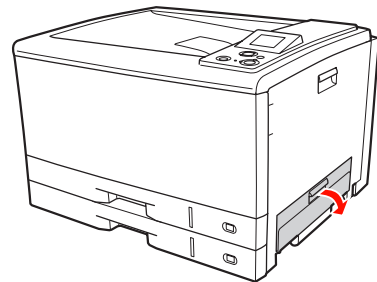
☞『詳細編』（電子マニュアル）―「ソフトウェアの使い方」

参考

［給紙装置］を［手差し］に設定してから、［用紙種類］で［OHP シート］/［ラベル］/［厚紙］/［特厚紙］を選択すると、「この用紙種類は、MP カセットから給紙されます。給紙装置を MP カセットに変更しますか？」というメッセージが表示されます。メッセージ画面で［はい］を選択してから、［給紙装置］を［手差し］に設定し直してください。

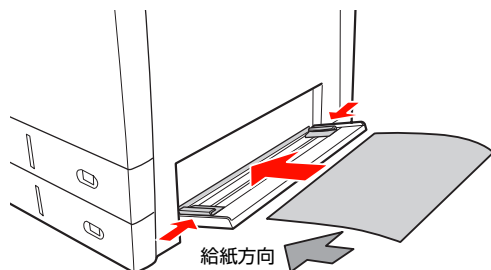
3 操作パネルの表示を確認します。

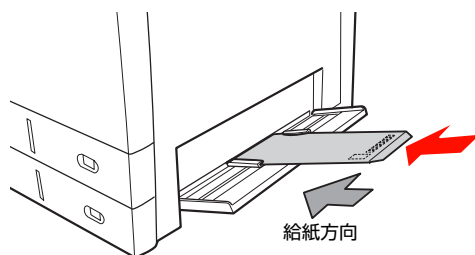
「＊＊」は用紙サイズを表示します。

4 手差しトレイを開けます。

5 **用紙ガイドを印刷する用紙サイズに合わせて、印刷する面を下にして用紙を 1 枚セットします。**

手差しトレイの奥に突き当たるまで用紙を差し込むと、自動的に給紙されます。

横長の例

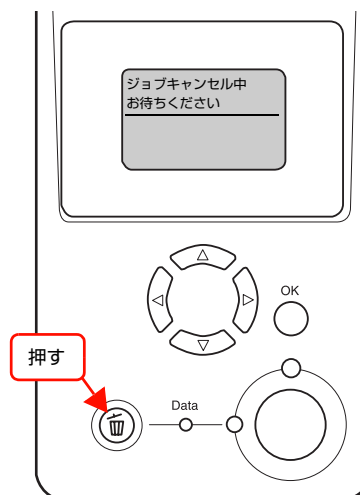
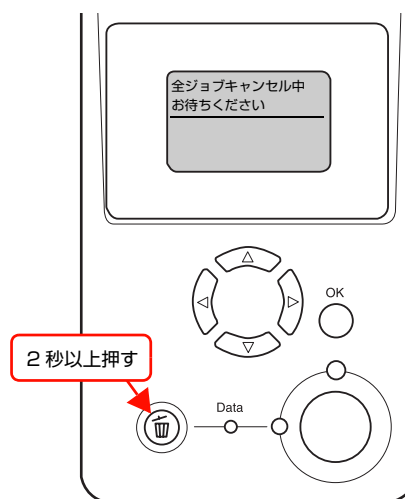
給紙方向（用紙の進行方向）に対して横長にセットします。

縦長の例

給紙方向（用紙の進行方向）に対して縦長にセットします。

以上で終了です。

印刷の中止

印刷処理を中止するときは、次のいずれかの方法でコンピュータ上の印刷データ、またはプリンタ上の印刷データを削除します。

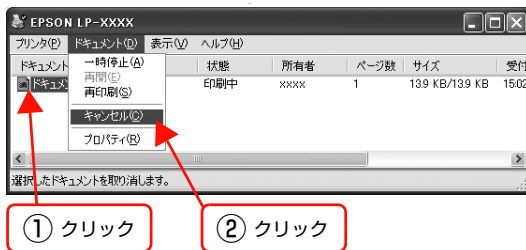
操作パネルで中止

- 印刷中のデータを削除するには
  【ジョブキャンセル】ボタンを押します。

- プリンタが受信したすべての印刷データを削除するには
  【ジョブキャンセル】ボタンを約 2 秒以上押し続けます。

コンピュータで中止

Windows の場合

1 **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**

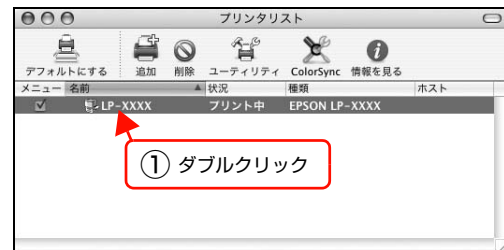
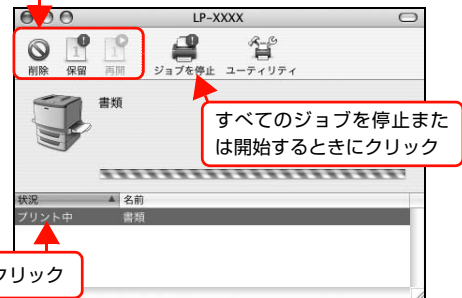
2 **中止したい印刷データをクリックして選択し、[ドキュメント] メニューの [印刷中止] または [キャンセル] をクリックします。**

処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

コンピュータ上の処理が続いているときは、以下のいずれかの方法で削除します。

- アプリケーションソフトによっては、印刷中であることを知らせる画面が表示されることがあります。表示されているときは、印刷を中止するボタン（[キャンセル] など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

- 印刷中は [Dock] に [プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] が現れます。[プリンタ設定ユーティリティ] / [プリントセンター] を開き、印刷中のジョブを選択して削除（または保留 / 再開）できます。

印刷中の最後のページが排紙されると、プリンタの印刷可ランプが点灯します。

4 保守・管理

消耗品の交換方法、本機をを経済的に使う方法、トラブルの対処方法などを記載しています。

消耗品の交換

トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックスの交換方法を説明します。

⚠警告	• 消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）を、火の中に入れないでください。 トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。 • 製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。 感電や火傷のおそれがあります。

!重要	本機はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。エプソン製以外のものをご使用になると、本機の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本機の性能が発揮できない場合があります。エプソン製以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

消耗品の交換時期

トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックスは、各商品に規定されている寿命まで使用できます。ただし、使用状況（電源入 / 切の回数、紙詰まり処理の回数、連続的に印刷または数ページずつ時間をおいて印刷するなど）によって異なります。交換時期は、プリンタの操作パネルやコンピュータ（EPSON ステータスモニタをインストールしている場合）に表示してお知らせします。

以下のような現象が発生するときは、感光体ユニットまたはトナーカートリッジが劣化しているか消耗している可能性があります。交換を知らせるメッセージが表示されなくても、交換することをお勧めします。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明
- 周期的に汚れが発生する

印刷が薄くかすれるときは、まずトナーカートリッジの残量が十分か、[トナーセーブ] の設定がされていないかを確認した上で感光体ユニットを交換してください。

[トナーセーブ] は、プリンタドライバの [詳細設定]（Windows）／ [プリンタの設定] 画面（Mac OS X）で設定できます。

消耗品の残量は、プリンタの操作パネル（[プリンタ情報] メニュー）または EPSON ステータスモニタ（[消耗品] 画面）で確認できます。
☞ 本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」
☞『詳細編』（電子マニュアル）－「ソフトウェアの使い方」

保管上のご注意

- 直射日光を避け、梱包された状態で、温度 0 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80%の結露しない場所に保管してください。
- 立てたり傾けた状態で保管しないでください。

使用済み消耗品の処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みの消耗品（トナーカートリッジ･感光体ユニット）は、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  ☞ 本書 60 ページ「回収」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジの交換方法を説明します。
本機で使用できるトナーカートリッジは以下を参照してください。

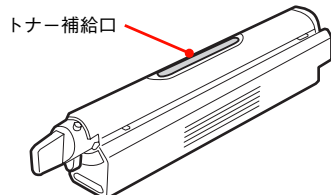
☞ 本書 122 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」

⚠注意

トナーカートリッジを交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。
トナーがこぼれて、プリンタの周囲や衣服などに付いて汚れる恐れがあります。

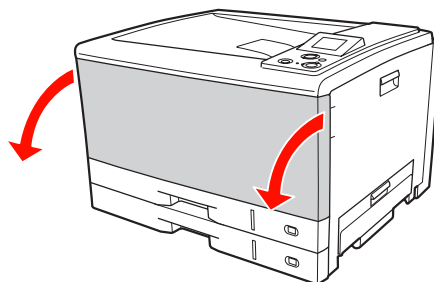
交換時のご注意

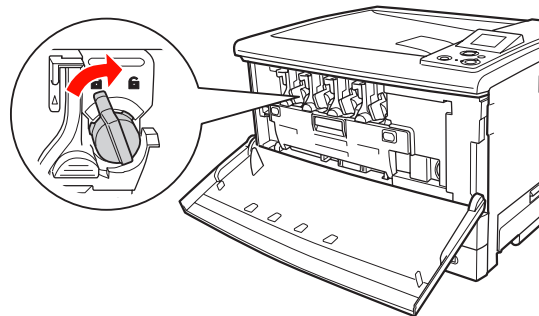
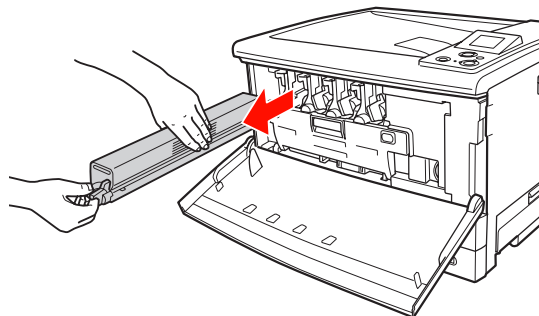
トナーカートリッジを交換するときは、以下のことに注意してください。

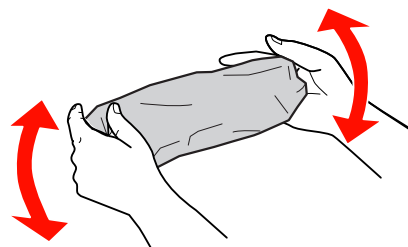
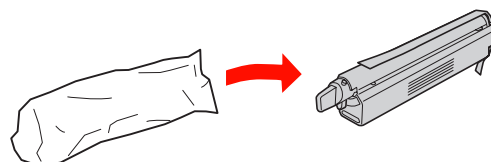
- カートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- トナーのなくなったカートリッジは再利用しないでください。
- 寒い場所から暖かい場所に移したときは、トナーカートリッジを室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。
- カートリッジのトナー補給口には絶対に手を触れないでください。

交換手順

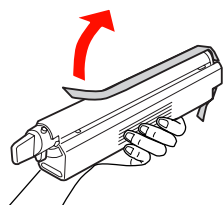
1 **操作パネルまたは EPSON ステータスモニタのメッセージを参照して、交換するトナーカートリッジの色を確認します。**

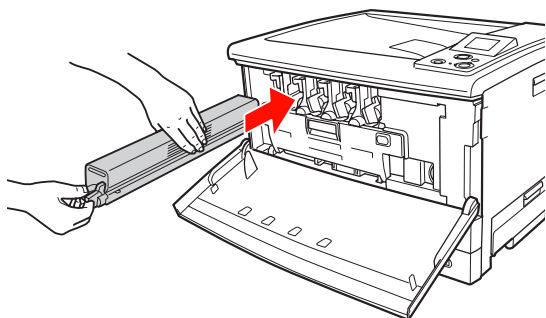
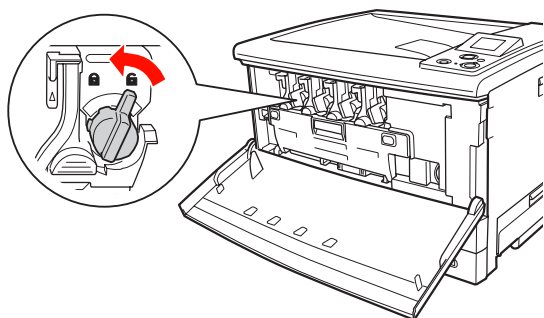
ブラック（K）
シアン（C）
マゼンタ（M）
イエロー（Y）

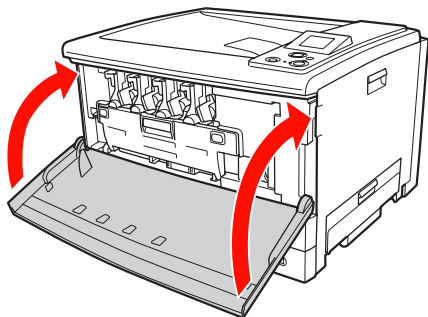
2 **カバー A を開けます。**

複数のトナーカートリッジを交換するときは、どの色から交換してもかまいません。
3 以降は、ブラックを例に説明します。

3 **トナーロックレバーを回してロックを解除します。**

4 **トナーカートリッジを引き抜きます。**

5 **新しいトナーカートリッジを、袋に入れたまま 5 ～ 6 回振ります。**

振った後、トナーが片寄らないように水平にならしてください。

6 **トナーカートリッジを袋から出します。**

7 **テープをはがします。**

トナーがこぼれることがありますので、注意してテープをはがしてください。

8 **挿入口の色と位置を確認し、トナー補給口を下に向けてトナーカートリッジを挿入します。**

奥に突き当たるまで押し込んでください。

9 **トナーロックレバーを押しながら回して、ロック位置に合わせます。**

同時に他の色のトナーカートリッジも交換するときは 3 ～ 9 を繰り返します。

10 **カバー A を閉じます。**

以上で終了です。

回収

エプソン製のトナーカートリッジは、カートリッジ本体はもちろん、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。地球に優しい製品を提供する、エプソンが考える高性能のひとつです。環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

使用済みトナーカートリッジの梱包方法

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用します。再梱包の方法は、カートリッジの梱包箱を参照してください。

回収方法

エプソンでは、環境保全活動の一環として、

- 回収ポストを全国の取扱販売店様に設置
- 宅配便等を利用した回収

により、使用済みトナーカートリッジの回収を進めています。

回収方法の詳細は、エプソン製のトナーカートリッジの梱包箱に同梱されております「ご案内シート」をご覧ください。また、エプソンのホームページでもご確認いただけます。

アドレス　http://www.epson.jp/toner/

ベルマーク運動

弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

アドレス　http://www.epson.jp/bellmark/

感光体ユニットの交換

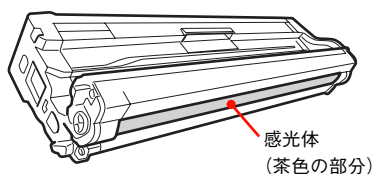
感光体ユニットの交換方法を説明します。同梱されているトナーカートリッジも同時に交換してください。

本機で使用できる感光体ユニットは以下を参照してください。

本書 122 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」

> ⚠注意
> 感光体ユニットを交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。
> トナーがこぼれて、プリンタの周囲や衣服などに付いて汚れる恐れがあります。

交換時のご注意

- 感光体ユニットの感光体（感光体ユニット下部の茶色の部分）には絶対に手を触れないでください。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質が低下します。

- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移したときは、室温に慣らすため未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 3 分以上放置しないでください
- 感光体の表面に傷が付かないよう平らな台の上に置いてください。
- トナー補給口にホコリやゴミ（ステープル針、クリップなど）が入らないようにしてください。

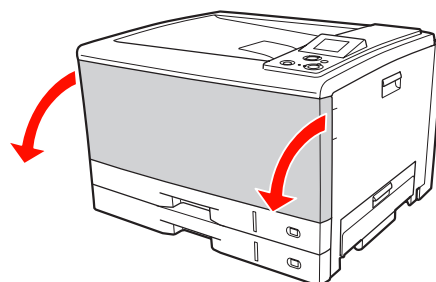
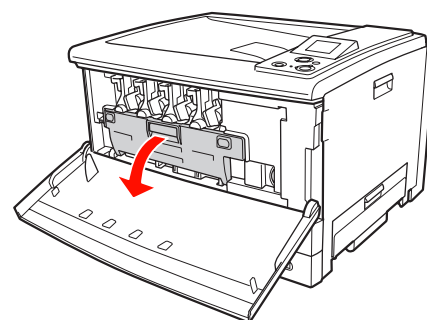
トナーカートリッジに関するご注意は以下を参照してください。

本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」

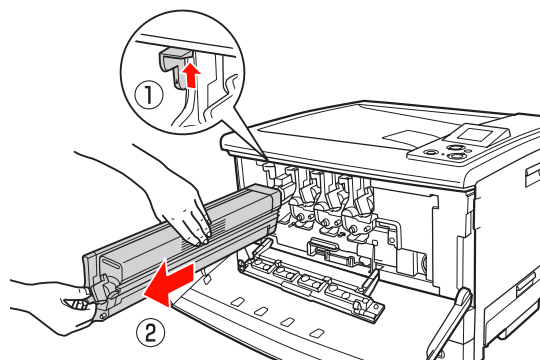
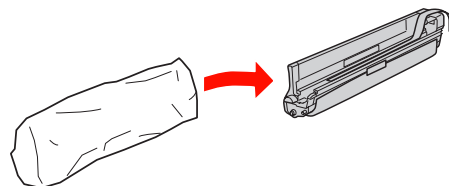
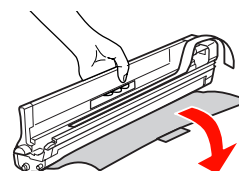
交換手順

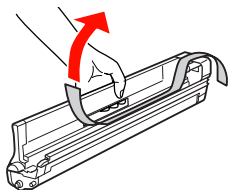
1 操作パネルまたは EPSON ステータスモニタのメッセージを参照して、交換する感光体ユニットの色を確認します。

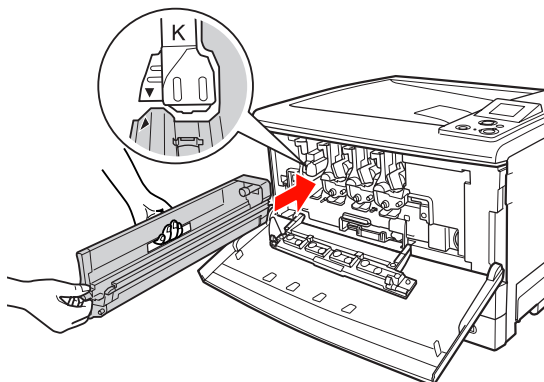
ブラック（K）
シアン（C）
マゼンタ（M）
イエロー（Y）

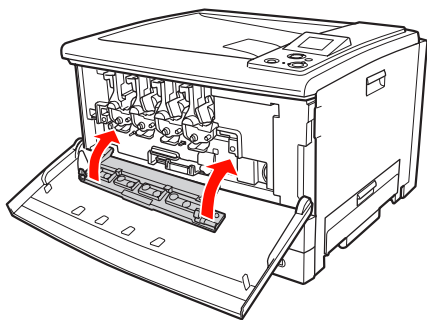
2 カバー A を開けます。

3 カバー H を開けます。

複数の感光体ユニットを交換するときは、どの色から交換してもかまいません。
4 以降は、ブラックを例に説明します。

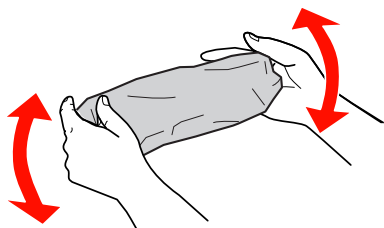
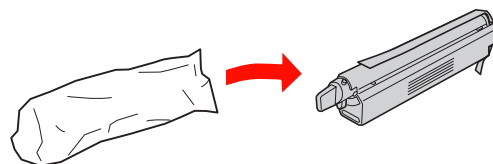
4 感光体ロックレバーを押し上げて、感光体ユニットとトナーカートリッジを一緒に引き抜きます。

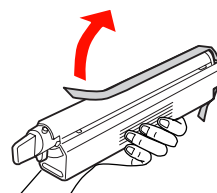
感光体ユニットとトナーカートリッジを分離しないでください。

5 新しい感光体ユニットを袋から取り出します。

6 感光体ユニットを図のように持って、保護シートを取り外します。

7 テープをはがします。

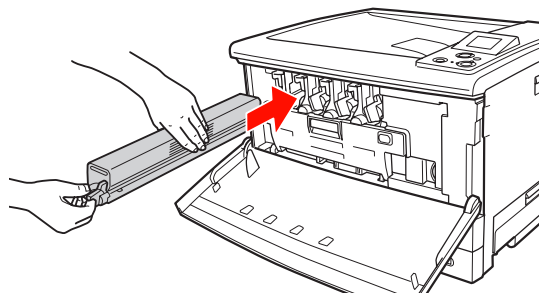
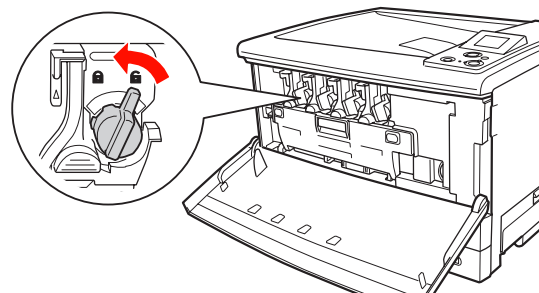
テープをはがした後は、トナーがこぼれますので傾けないでください。

8 挿入口の色と位置を確認し、マークを合わせて感光体ユニットを挿入します。

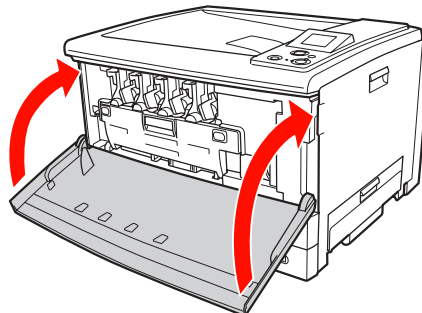
ロックされるまで押し込んでください。

同時に他の色の感光体ユニットも交換するときは4～8を繰り返します。

9 カバーHをおこし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。

10 新しいトナーカートリッジを、袋に入れたまま5～6回振ります。

振った後、トナーが片寄らないように平らにならしてください。

11 トナーカートリッジを袋から出します。

12 テープをはがします。

トナーがこぼれることがありますので、注意してはがしてください。

13 挿入口の色と位置を確認し、トナー補給口を下に向けてトナーカートリッジを挿入します。

奥に突き当たるまで押し込んでください。

14 トナーロックレバーを押しながら回して、ロック位置に合わせます。

同時に他の色のトナーカートリッジも交換するときは10～14を繰り返します。

15 カバーAを閉じます。

以上で終了です。

廃トナーボックスの交換

廃トナーボックスの交換方法を説明します。

本機で使用できる廃トナーボックスは以下を参照してください。

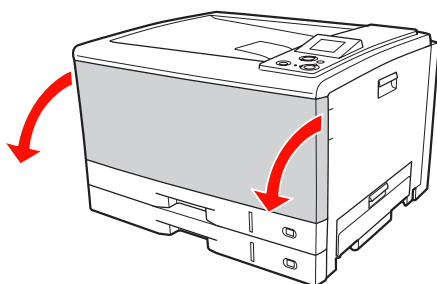
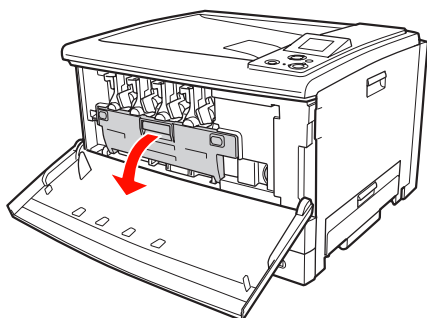
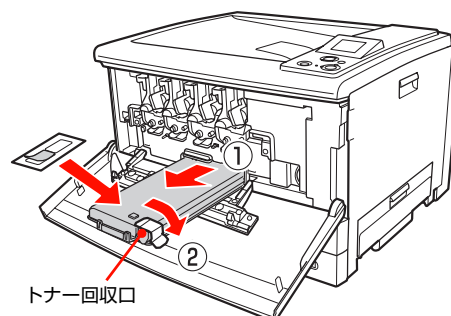
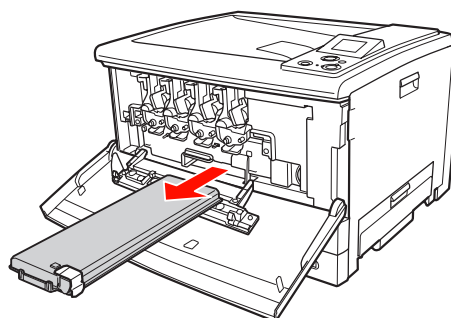
☞ 本書 122ページ「消耗品/オプション/定期交換部品一覧」

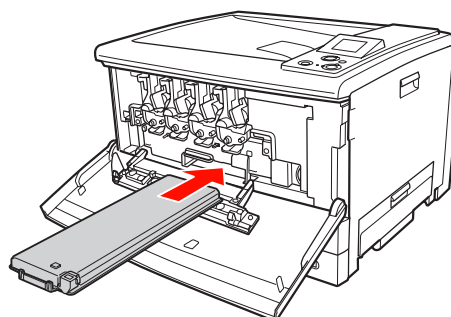
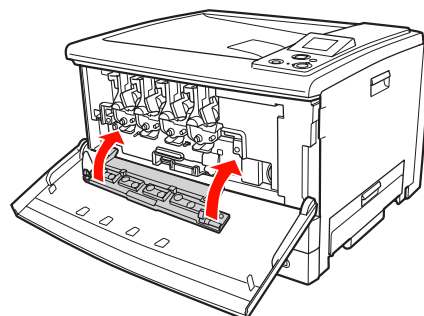
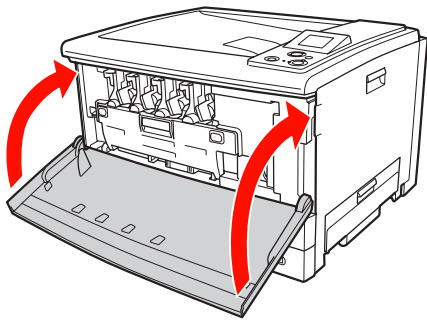
> ⚠注意
>
> 廃トナーボックスを交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。
> トナーがこぼれて、プリンタの周囲や衣服などに付いて汚れる恐れがあります。

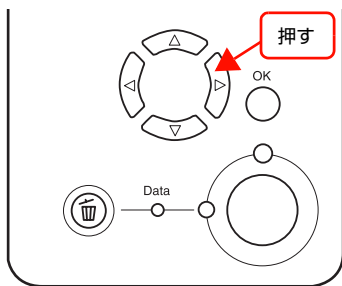
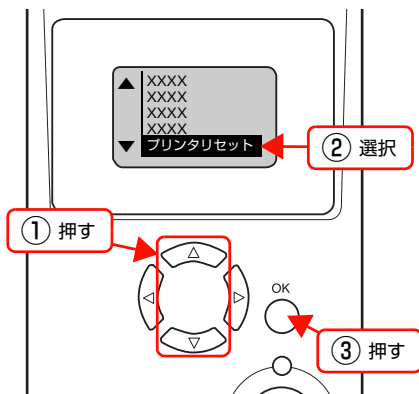
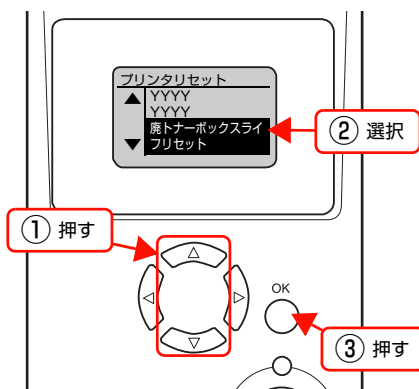
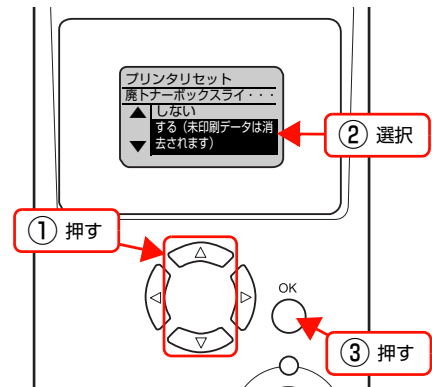
交換時のご注意

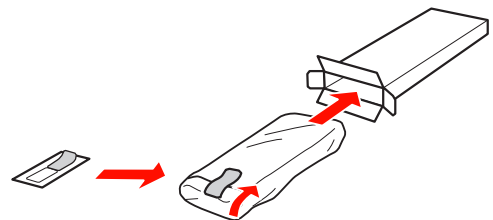
- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- 使用済みの廃トナーボックスは、回収した廃トナーがこぼれないように、トナー回収口をシールでふさいでください。
- トナーがこぼれないよう、注意して作業してください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。プリンタ内部にトナーがこぼれた場合は、きれいに拭き取ってください。

交換手順

1 カバー A を開けます。

2 カバー H を開けます。

3 廃トナーボックスを半分くらい引き出し、新しい廃トナーボックスに同梱されているシールでトナー回収口をふさぎます。

4 廃トナーボックスを引き抜きます。

> !重要
>
> 取り出した廃トナーボックスを逆さまにしないでください。トナー回収口からトナーがこぼれるおそれがあります。

5 新しい廃トナーボックスを挿入します。

6 カバー H を起こし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。

7 カバー A を閉じます。

続いて、操作パネルで「廃トナーボックスライフリセット」を実行します。

8 操作パネルの【▶】ボタンを押してメニューを表示します。

9 【▲】/【▼】ボタンを押して［プリンタリセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。

10 【▲】/【▼】ボタンを押して［廃トナーボックスライフリセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。

11 【▲】/【▼】ボタンを押して［する］を選択し、【OK】ボタンを押します。

12 新しい廃トナーボックスが入っていたポリ袋に、取り出した廃トナーボックスを入れ、シールで封をします。

！重要

取り出した廃トナーボックスを逆さまにしないでください。トナー回収口からトナーがこぼれるおそれがあります。

以上で終了です。

定期交換部品の交換

転写ユニットと定着ユニットは、交換時期を知らせるメッセージが表示されたら交換してください。

メンテナンスユニットの交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施します。交換時期を知らせるメッセージが表示されたときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

☞ 本書裏表紙

使用済み定期交換部品の処分

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

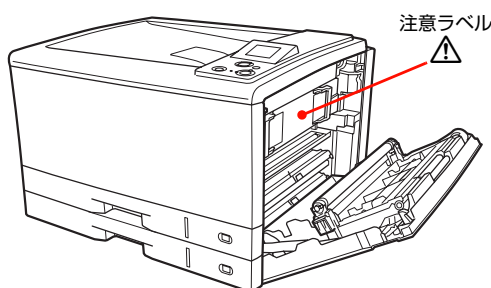
転写ユニットの交換

転写ユニットの交換方法を説明します。同梱されている転写ローラと廃トナーボックスも同時に交換してください。

本機で使用できる転写ユニットは以下を参照してください。

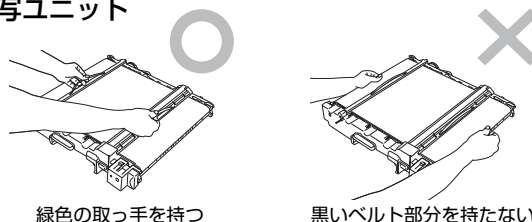
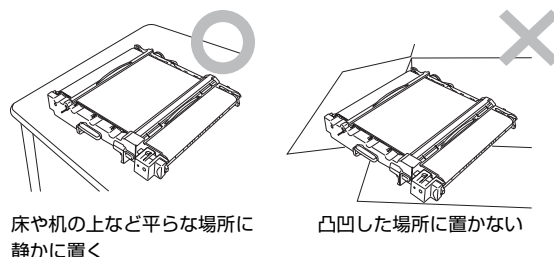
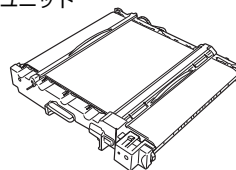
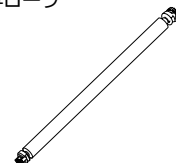
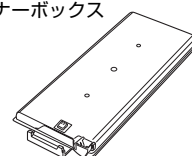
☞ 本書 122 ページ「消耗品/オプション/定期交換部品一覧」

⚠注意

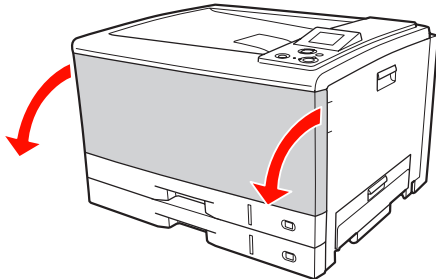
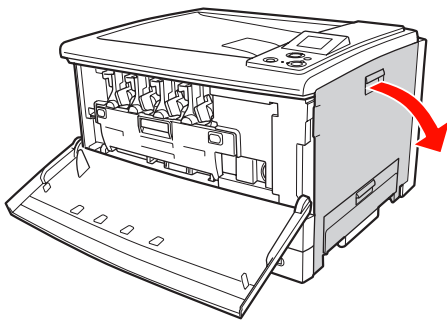
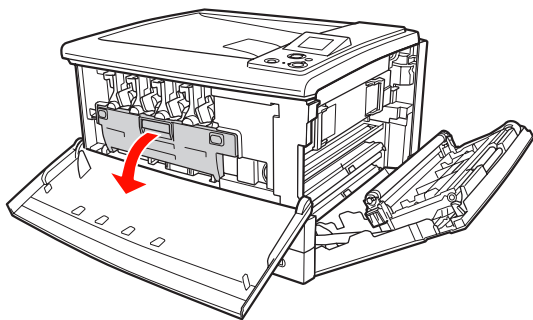
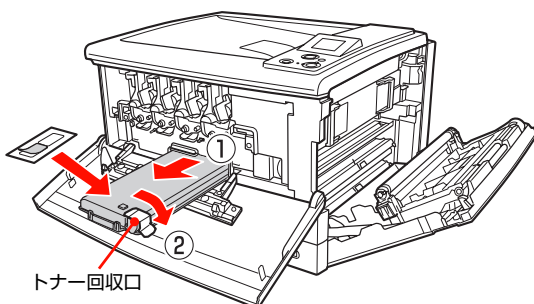
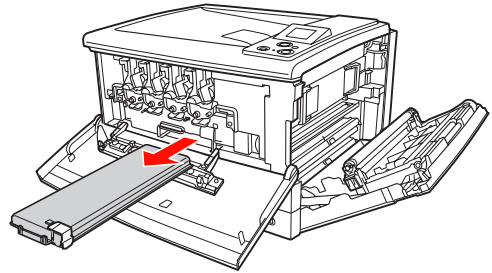
- 使用中にプリンタのカバーB を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、プリンタ使用中に定着ユニットを取り外すときは、カバーB を開けた状態で 15 分程待ってから作業してください。
  内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

- 転写ユニットを交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。
  トナーがこぼれて、プリンタの周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

交換時のご注意

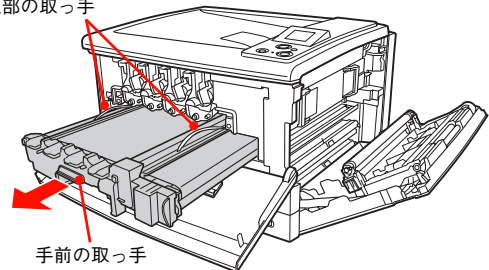
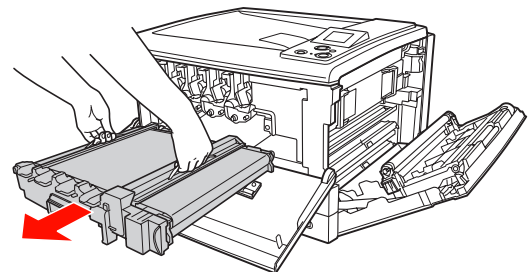
転写ユニットの黒いベルト部分や、転写ローラのスポンジ部分に手を触れたり、傷付けたりしないでください。指紋や傷が付くと、印刷品質に影響を及ぼすおそれがあります。交換するときは、緑色の取っ手（転写ユニットの上部 2 箇所、転写ローラの両端）を持ってください。

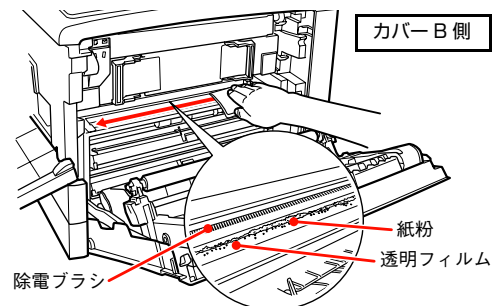
転写ローラ

同梱物一覧

交換手順

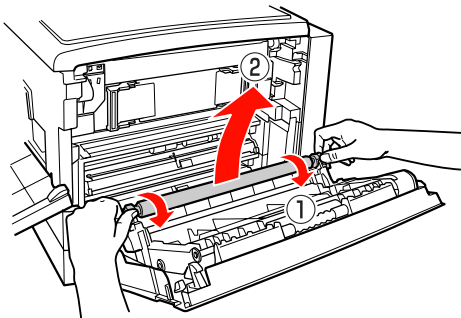
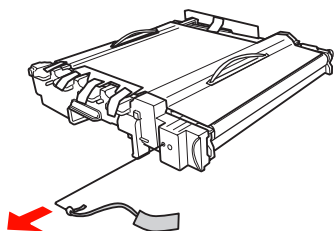
1 トナーがこぼれて汚れるおそれがあるため、プリンタの周囲に紙などを敷きます。

2 カバー A を開けます。

3 カバー B を開けます。

4 カバー H を開けます。

5 廃トナーボックスを半分くらい引き出し、廃トナーボックス用のシールでトナー回収口をふさぎます。

6 廃トナーボックスを引き抜きます。

> **重要**
> 取り出した廃トナーボックスを逆さまにしないでください。トナー回収口からトナーがこぼれるおそれがあります。

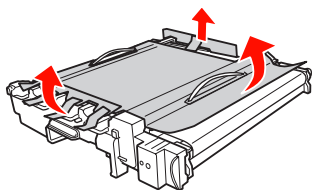
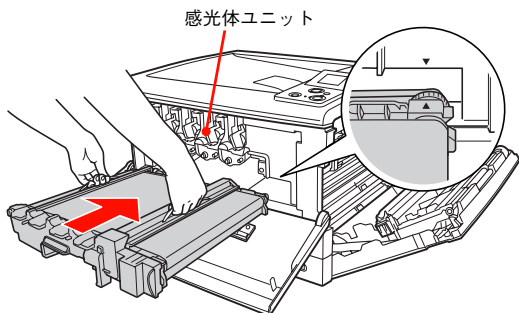
7 転写ユニットの手前の取っ手を持って、上部の取っ手が見えるところまで引き出します。

カバー A と B の両方が開いていないと、転写ユニットが引き出せません。

8 上部の取っ手に持ち替えて、転写ユニットを引き抜きます。

9 用紙搬送部の透明フィルムに付着した紙粉（白い粉）を、乾いた布で拭き取ります。

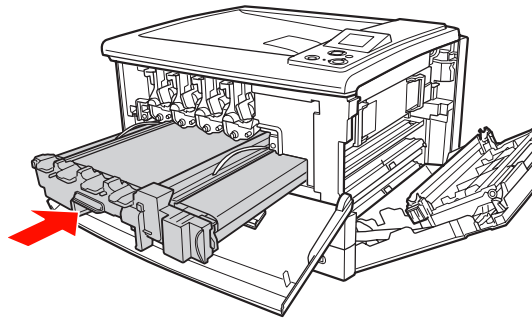
紙粉は画像汚れ（縦スジ）の原因となります。

> **重要**
> 奥にある除電ブラシ（黒い植毛）部分にできるだけ触れないようにしてください。印刷品質への影響や紙詰まりの原因となることがあります。

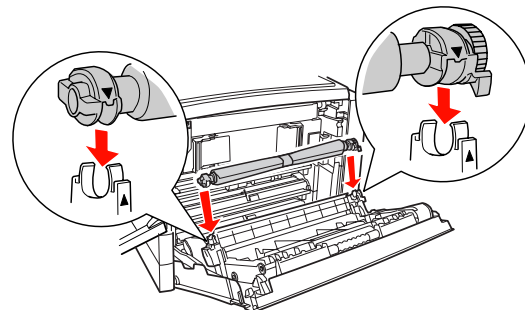
10 左右の緑色の部分を持ち、転写ローラを手前に回しながら取り外します。

11 新しい転写ユニットを平らな場所に置き、保護具（針金）を引き抜きます。

重要

転写ユニットは、床や机など平らな場所に静かに置いてください。指紋や傷が付くと、印刷品質に影響を及ぼすおそれがあります。

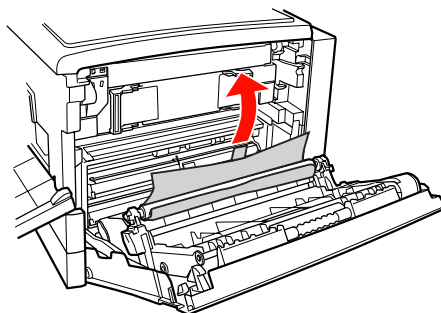
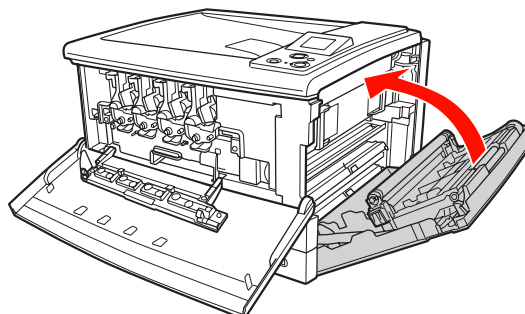
12 転写ユニットの保護材を取り外します。

13 転写ユニットの上部の取っ手を持って、マークを合わせて途中まで挿入します。

重要

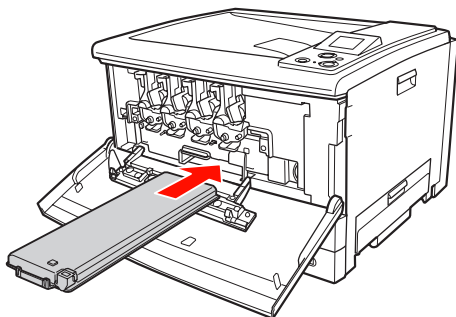
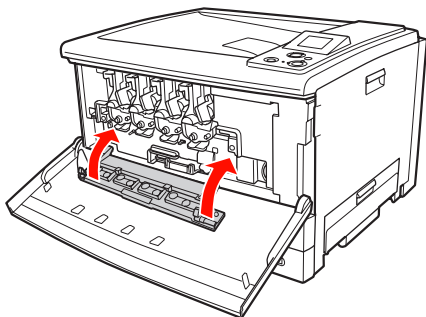
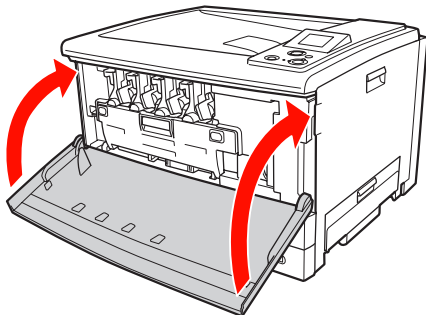
黒いベルト部分が感光体ユニットに当たって傷が付かないよう、水平に挿入してください。

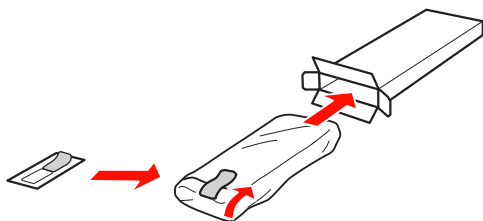
14 手前の取っ手に持ち替えて、奥に突き当たるまで押し込みます。

15 新しい転写ローラを、保護シートを付けたまま取り付けます。

歯車のような部品がある方を右側にし、溝を下向きにして取り付けてください。

重要

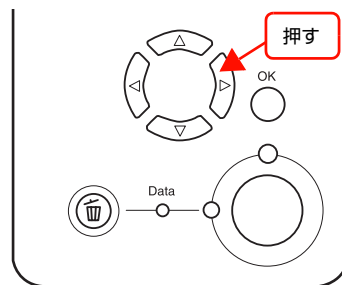
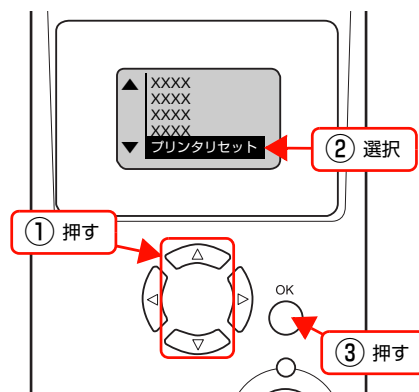
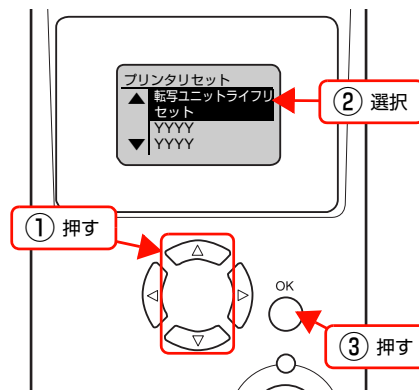
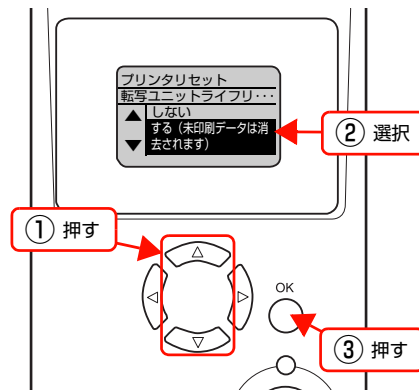
転写ローラを取り付けてから保護シートを取り外してください。ローラ部分に指紋などが付くと、印刷品質に影響を及ぼすおそれがあります。

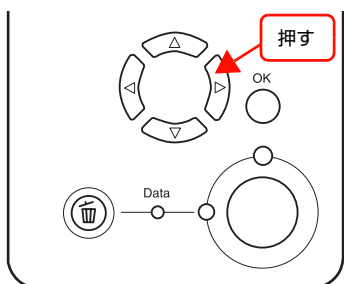
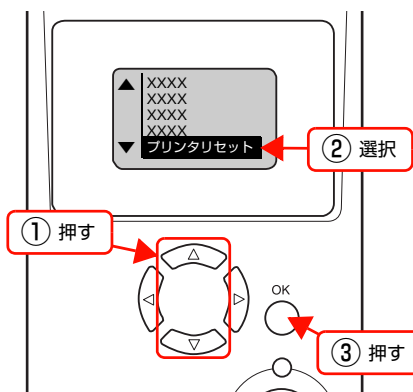
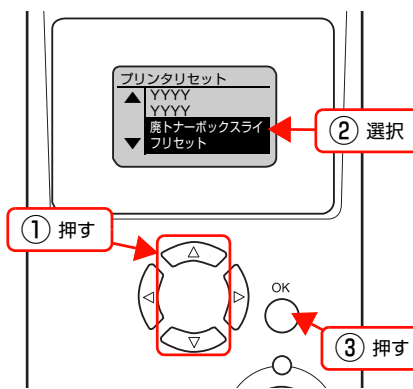
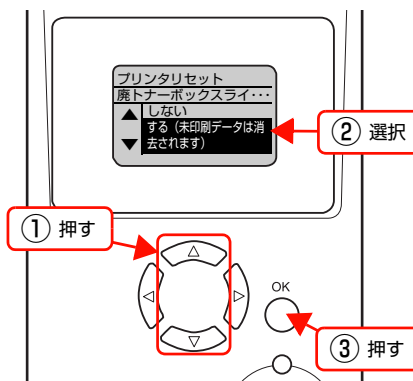
16 転写ローラの保護シートを取り外します。

17 カバー B を閉じます。

18 **新しい廃トナーボックスを挿入します。**

新しい廃トナーボックスは、転写ユニットの箱の底に入っています。

19 **カバーHを起こし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。**

20 **カバーAを閉じます。**

21 **新しい廃トナーボックスが入っていたポリ袋に、取り出した廃トナーボックスを入れ、シールで封をします。**

！重要

取り出した廃トナーボックスを逆さまにしないでください。トナー回収口からトナーがこぼれるおそれがあります。

22 **操作パネルで［転写ユニットライフリセット］を実行します。**

① 操作パネルの【▶】ボタンを押してメニューを表示します。

②【▲】/【▼】ボタンを押して［プリンタリセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。

③【▲】/【▼】ボタンを押して［転写ユニットライフリセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。

④【▲】/【▼】ボタンを押して［する］を選択し、【OK】ボタンを押します。

23 **操作パネルで［廃トナーボックスライフリセット］を実行します。**

① 操作パネルの【▶】ボタンを押してメニューを表示します。

②【▲】/【▼】ボタンを押して［プリンタリセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。

③【▲】/【▼】ボタンを押して［廃トナーボックスライフリセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。

④【▲】/【▼】ボタンを押して［する］を選択し、【OK】ボタンを押します。

以上で終了です。

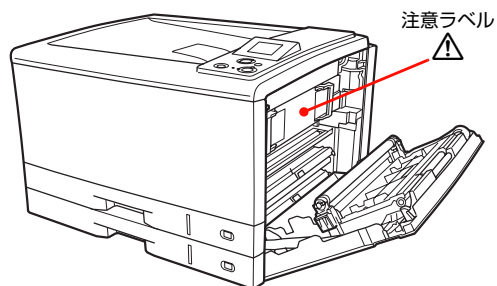
定着ユニットの交換

定着ユニットの交換方法を説明します。

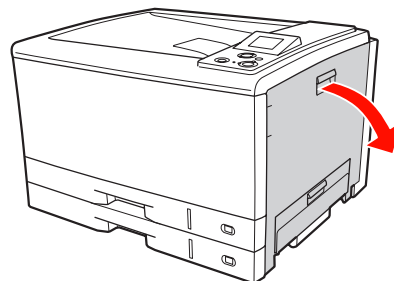
本機で使用できる定着ユニットは以下を参照してください。

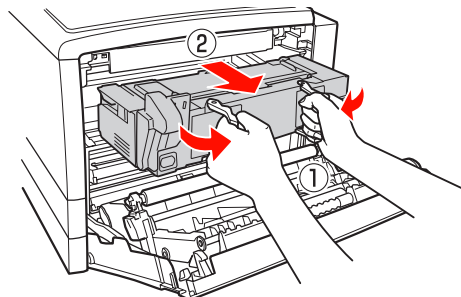
☞ 本書 122ページ「消耗品/オプション/定期交換部品一覧」

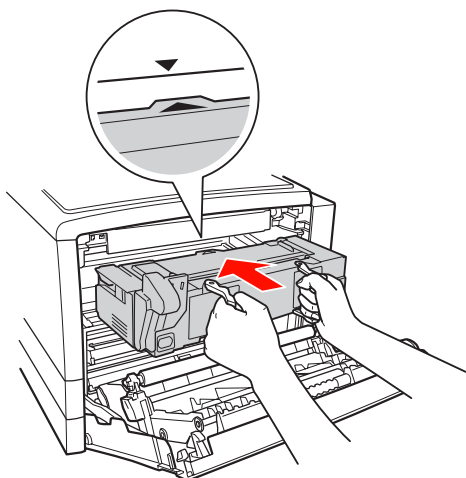
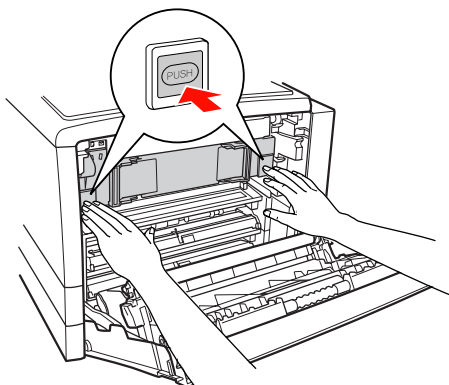
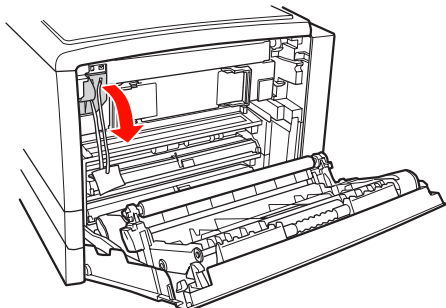
⚠注意

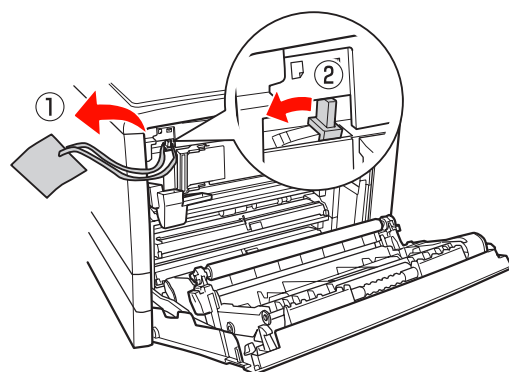
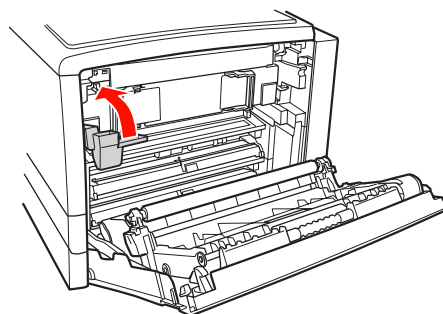
使用中にプリンタのカバー B を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、プリンタ使用中に定着ユニットを取り外すときは、カバー B を開けた状態で 15 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

交換手順

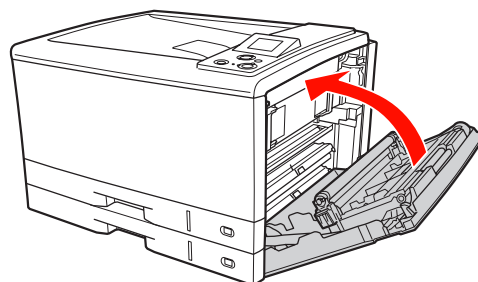
1 **カバー B を開けます。**

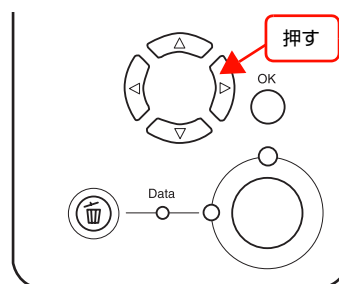
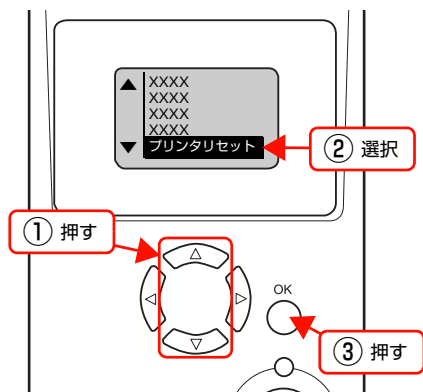
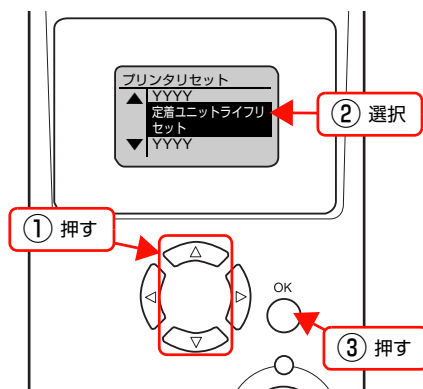
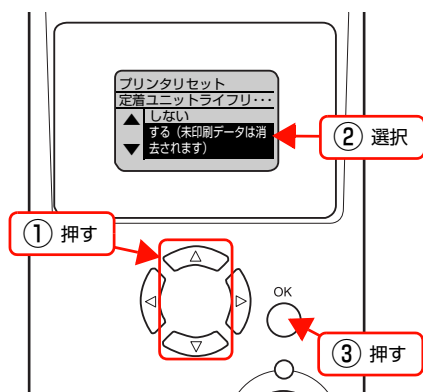
直前までプリンタを使用していたときは、カバー B を開けた状態で 15 分以上放置してから交換してください。

2 **緑色の取っ手を、カチッと音がするまで起こし、定着ユニットを引き抜きます。**

!重要

定着ユニットは、着脱時に落とさないようにしてください。
プリンタ内部を破損するおそれがあります。

3 新しい定着ユニットを、マークを合わせて挿入します。

4 取っ手から手を離し、左右の「PUSH」部分を押して奥まで確実に挿入します。

5 緑色のリリースレバーを下げます。

重要
リリースレバーは、左側のラベルの「リリースレバー解除位置」まで下げてください。リリースレバーを途中までしか下げずに封筒レバーを無理に動かすと、封筒レバーが破損するおそれがあります。

6 タグを取り外し、封筒レバーを通常位置（左）に合わせます。

7 緑色のリリースレバーを元に戻します。

注意
リリースレバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。
指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

8 カバー B を閉じます。

続いて、操作パネルで「定着ユニットライフリセット」を実行します。

9 操作パネルの【▶】ボタンを押してメニューを表示します。

10 【▲】/【▼】ボタンを押して［プリンタリセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。

11 【▲】/【▼】ボタンを押して［定着ユニットライフリセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。

12 【▲】/【▼】ボタンを押して［する］を選択し、【OK】ボタンを押します。

以上で終了です。

プリンタを経済的に使う方法

本機を経済的にお使いいただくための機能をご紹介します。用途に合わせてご活用ください。

トナーセーブ（トナーの節約）

トナーセーブとは、トナーの消費量を抑えて印刷する機能です。カラー印刷時は、色の表現力を抑えることで、トナーの消費を約 30% 節約します。モノクロ印刷時は、輪郭部分のみを濃く印刷することで、トナーの消費を約 50% 節約します。

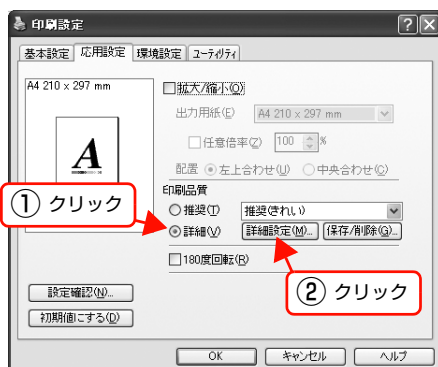
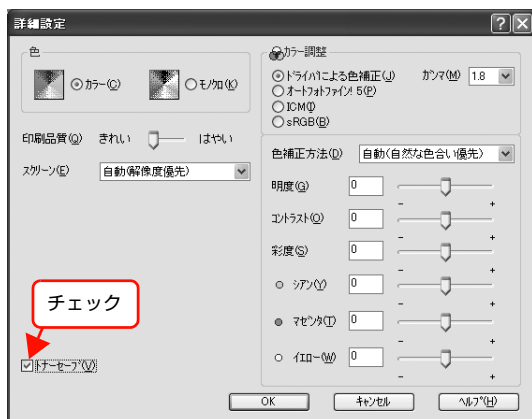
このため、トナーセーブ機能を使用して印刷すると、印刷が薄い、かすれるなど印刷品質が低下することがあります。試し印刷など、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。

トナーセーブ機能の設定方法は以下の通りです。

Windows の場合

1 **プリンタドライバの［応用設定］画面で［詳細］をクリックして、［詳細設定］をクリックします。**

設定画面の開き方は以下を参照してください。

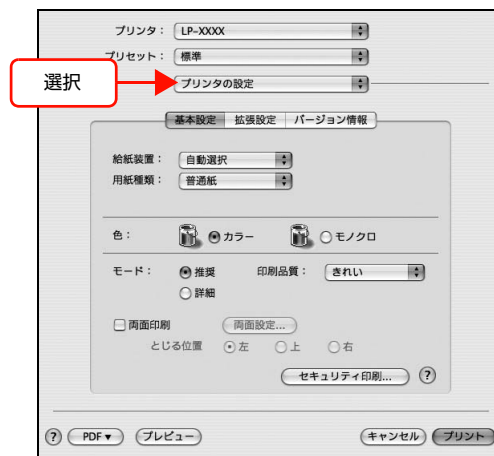
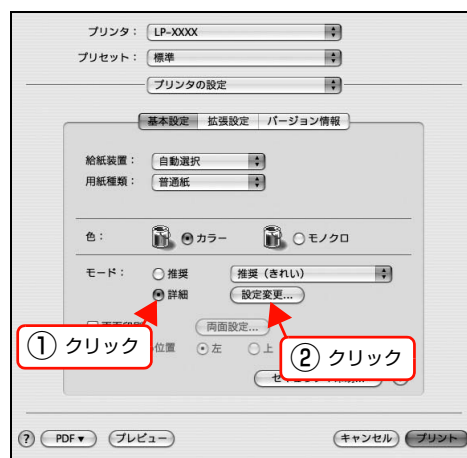
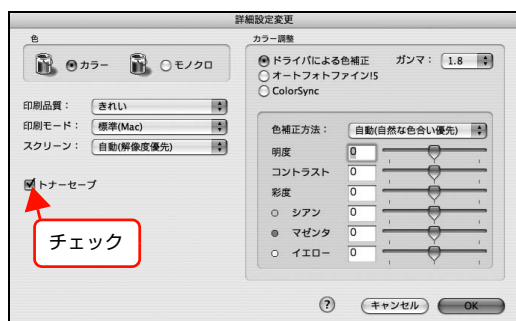
☞『詳細編』（電子マニュアル）－「ソフトウェアの使い方（Windows）」－「プリンタドライバの使い方」

2 **［詳細設定］画面で［トナーセーブ］をチェックします。**

3 **［OK］をクリックして画面を閉じます。**

以上で終了です。

Mac OS X の場合

1 **プリンタドライバの［プリント］画面で、［プリンタの設定］を選択します。**

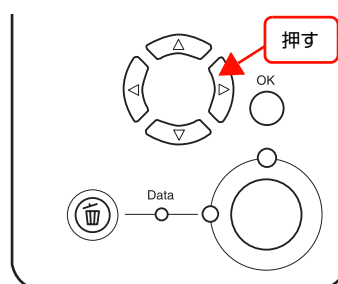
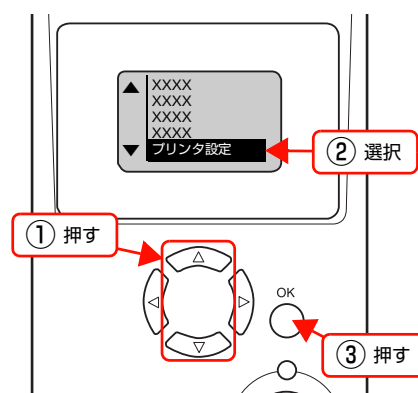
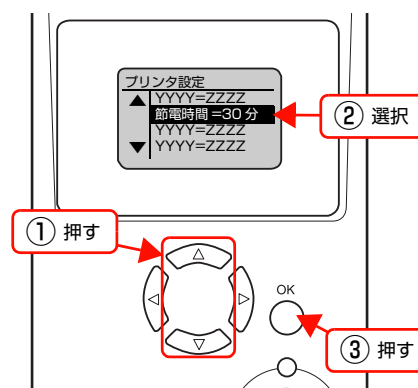
［プリント］画面の開き方は以下を参照してください。

☞『詳細編』（電子マニュアル）－「ソフトウェアの使い方（Mac OS X）」－「プリンタドライバの使い方」

2 **［プリンタの設定］画面で［詳細］をクリックして、［設定変更］をクリックします。**

3 ［詳細設定変更］画面で［トナーセーブ］をチェックします。

4 ［OK］をクリックして画面を閉じます。

以上で終了です。

印刷待機時の節電

本機は、印刷待機時に一定時間（初期値 30 分）が経過すると節電状態になり、節電中は消費電力が節約できます。設定時間は、使用状況に応じて5分～ 240 分に変更できます。本機能は、すべてのインターフェイスに対して有効です。
プリンタは、節電状態で印刷データを受信すると、まずウォーミングアップを行いますので､印刷開始まで数分かかることがあります。
節電時間の変更方法は以下の通りです。

1 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 【▲】/【▼】ボタンを押して［プリンタ設定］を選択し、【OK】ボタンを押します。

3 【▲】/【▼】ボタンを押して［節電時間 =（現在の設定値)］を選択し、【OK】ボタンを押します。

4 【▲】/【▼】ボタンを押して節電モードに入るまでの時間を変更し、【OK】ボタンを押します。

設定値（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分、240 分）が有効となり、設定項目の階層へ戻ります。

5 ［印刷可］ボタン押して終了します。

操作パネルに［印刷できます］または［節電中］と表示されます。

以上で終了です。

プリンタの状態・設定（ステータス）の確認

現在のプリンタの状態や設定値を確認したいときは、ステータスシートを印刷します。
プリンタ本体やオプションの状態を表示するステータスシートと、ネットワークインターフェイスの設定内容を表示するネットワークステータスシートがあります。

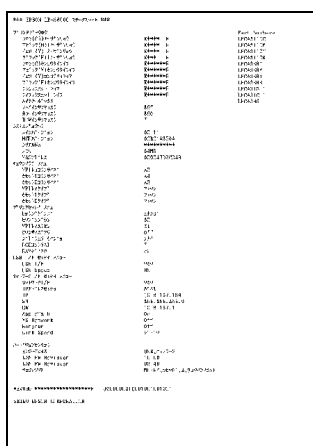
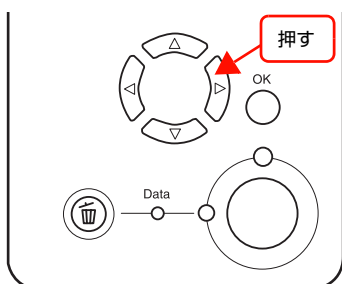
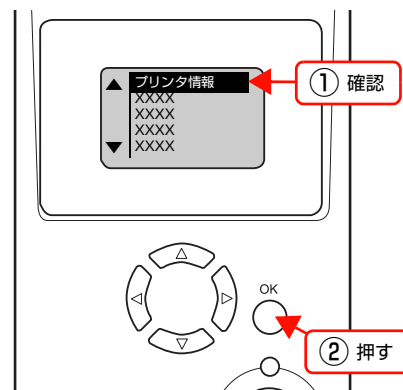
ステータスシートの印刷

ステータスシートを印刷すると、消耗品残量や給紙装置の設定、その他の各種設定内容、ハードウェア環境などが確認できます。以下のようなときにステータスシートを印刷すると有効です。

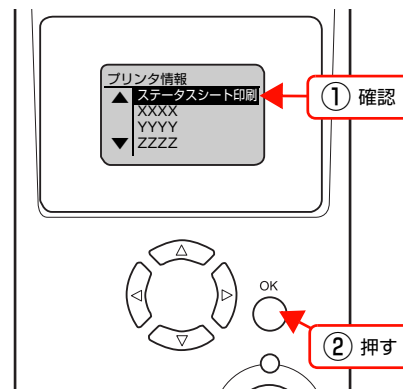
- セットアップしたとき
- プリンタが正常に動作するか確認したいとき
- プリンタの状態・設定内容を確認したいとき
- オプションを取り付けたとき（正しく取り付けられると、記載内容に反映されます）

ステータスシートは、プリンタの操作パネルまたはコンピュータから印刷できます。
印刷手順は以下の通りです。

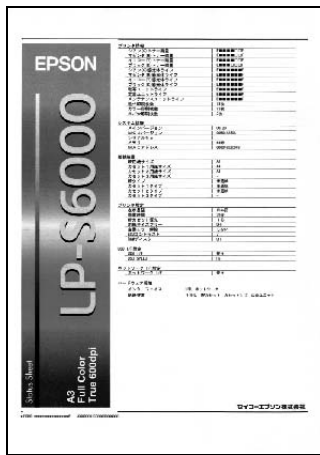
操作パネルから印刷

ステータスシートの印刷例

1 操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ［プリンタ情報］が選択されていることを確認して、【OK】ボタンを押します。

3 ［ステータスシート印刷］が選択されていることを確認して、【OK】ボタンを押します。

ステータスシートが印刷されます。
ステータスシートが印刷できないときは、以下を参照してください。

本書 41 ページ「セットアップできないときは」

以上で終了です。

コンピュータから印刷

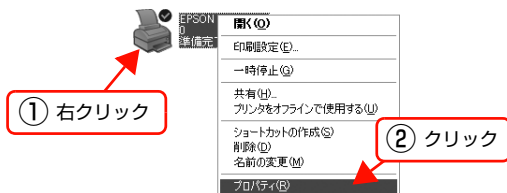
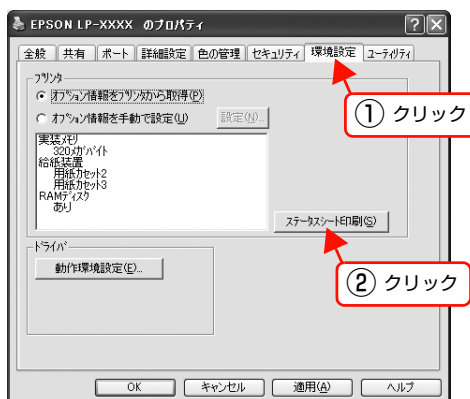
ステータスシートの印刷例

Windows の場合

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

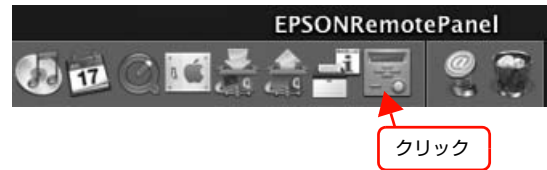
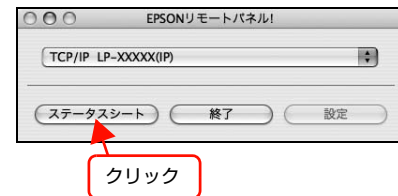
Windows Vista：
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

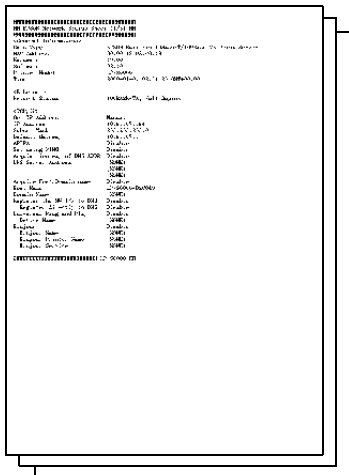
2 本機のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。

3 ［環境設定］タブをクリックして、［ステータスシート印刷］をクリックします。

以上で終了です。

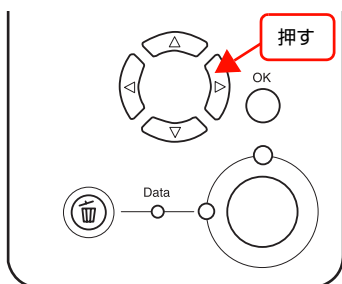
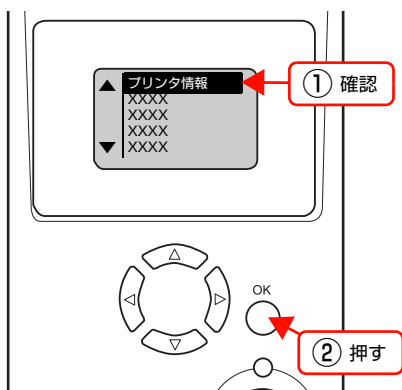
Mac OS X の場合

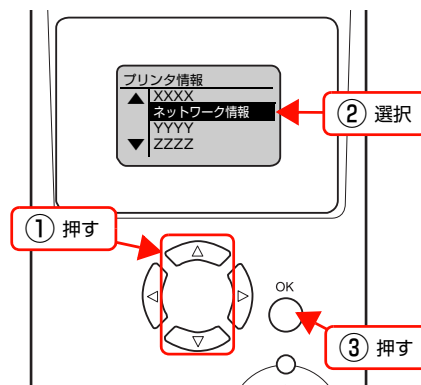
1 Dock にある EPSONRemotePanel のアイコンをクリックします。

2 ［ステータスシート］をクリックします。

以上で終了です。

ネットワークステータスシートの印刷

ネットワークステータスシートを印刷すると、ネットワークインターフェイスの設定状況が確認できます。MAC アドレスや、設定した IP アドレスなどの情報が記載されています。

ネットワークステータスシートの印刷例

印刷手順は以下の通りです。

1 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **［プリンタ情報］が選択されていることを確認して、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▲】/【▼】ボタンで［ネットワーク情報印刷］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

ネットワークステータスシート（3枚）が印刷されます。

以上で終了です。

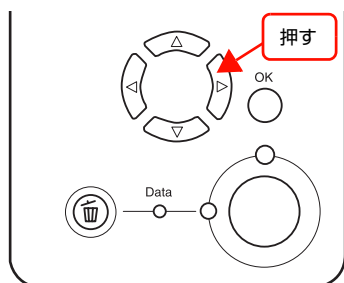
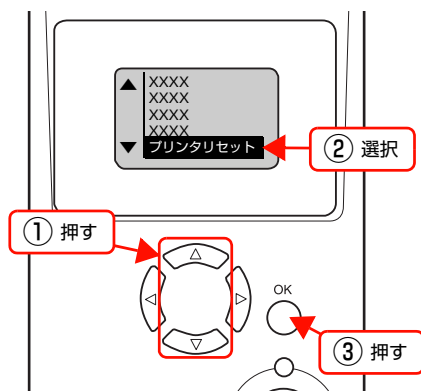
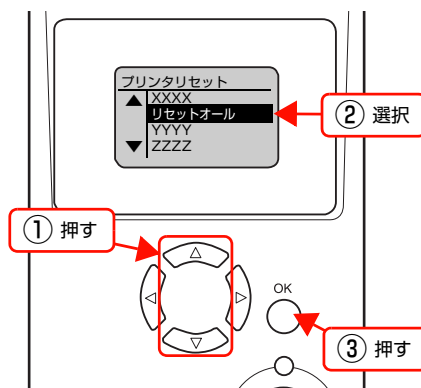
プリンタのリセット

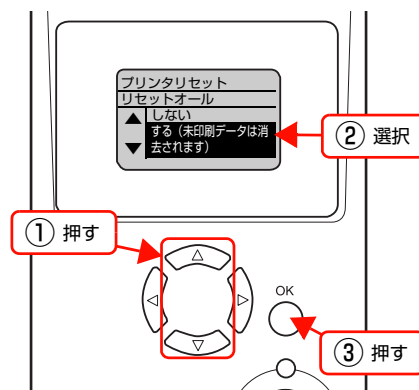
プリンタのリセット方法を説明します。

リセットオール

操作パネルで［リセットオール］を実行すると、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データが削除されます。印刷中にこの操作を行うと、印刷データの処理を中止します。

操作手順は以下の通りです。

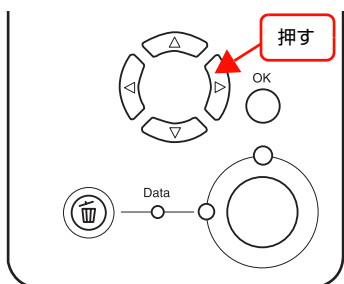
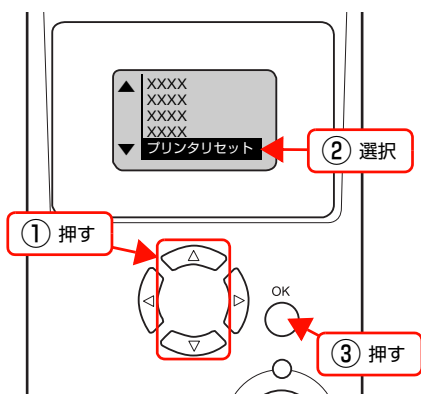
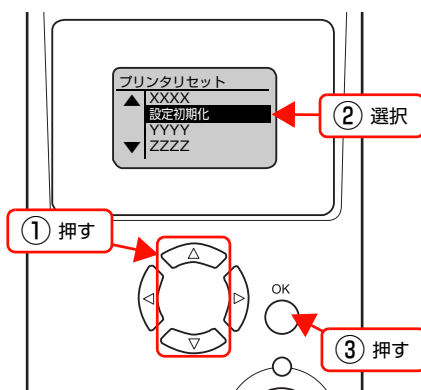
1 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】/【▼】ボタンを押して［プリンタリセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▲】/【▼】ボタンを押して［リセットオール］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▲】/【▼】ボタンを押して［する］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

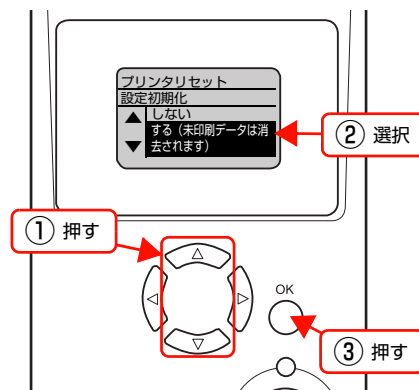
印刷データを削除して、元の表示に戻ります。

以上で終了です。

工場出荷時に戻す

プリンタの設定を工場出荷時に戻すには、操作パネルで［設定初期化］を実行します。

操作手順は以下の通りです。

1 **操作パネルの【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **【▲】/【▼】ボタンを押して［プリンタリセット］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

3 **【▲】/【▼】ボタンを押して［設定初期化］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

4 **【▲】/【▼】ボタンを押して［する］を選択し、【OK】ボタンを押します。**

設定を初期化して、元の表示に戻ります。

以上で終了です。

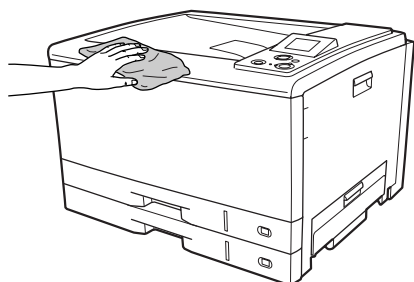
プリンタのクリーニング（清掃）

プリンタを良好な状態で使用するために、ときどきクリーニング（清掃）をしてください。
プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから作業を行ってください。

⚠警告
- 製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
  感電や火傷のおそれがあります。
- 本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
  引火による火災のおそれがあります。

!重要
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないでください。
- 固いブラシや布などで拭かないでください。傷が付くおそれがあります。

プリンタの表面の清掃

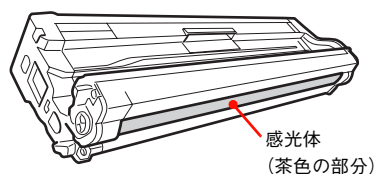
プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

LED ヘッドのクリーニング

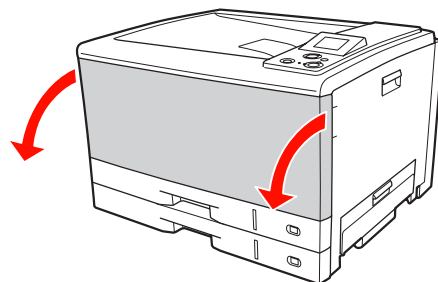
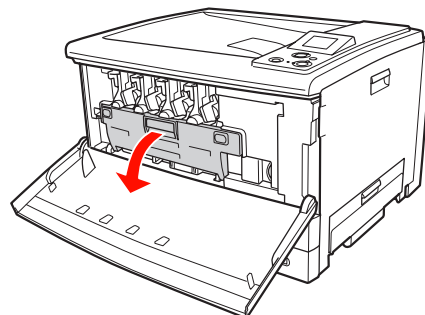
印刷結果に色抜けや筋が入ったときは、LED ヘッドのクリーニングをしてください。

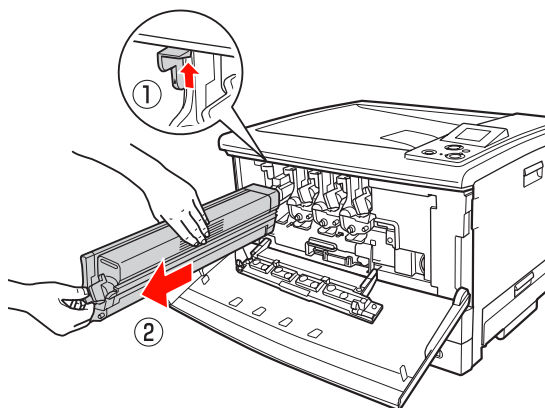
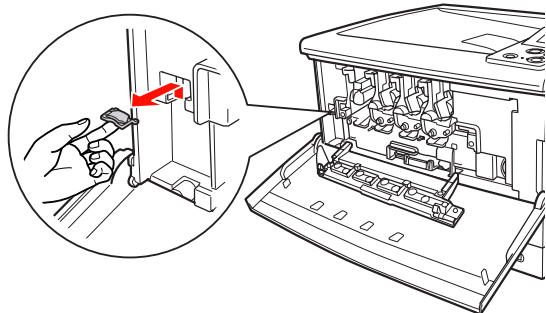
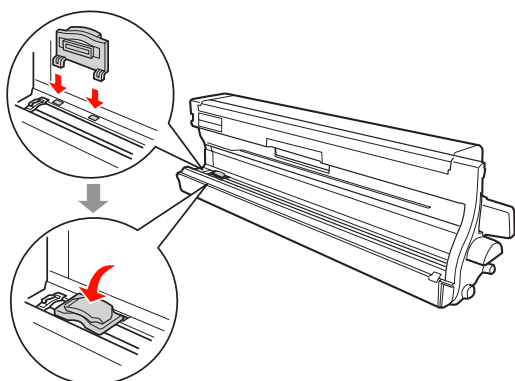
給紙方向

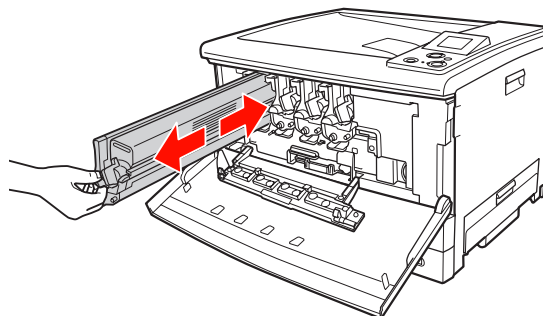
以下の手順で、抜けている色の感光体ユニットとトナーカートリッジを引き抜き、LED ヘッドをクリーニングしてください。どの色が抜けているか分からないときは、4色すべての LED ヘッドをクリーニングしてください。

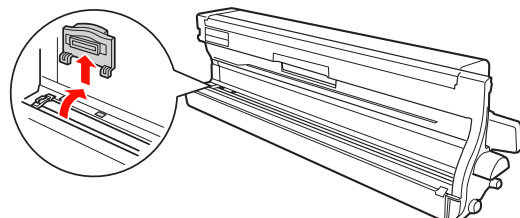
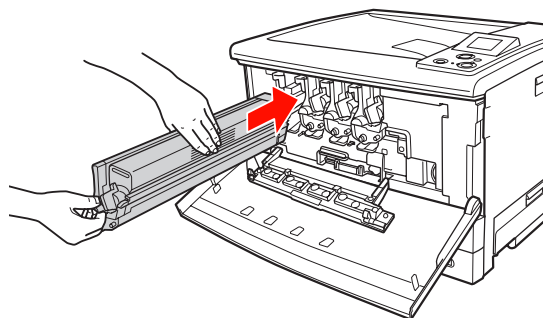
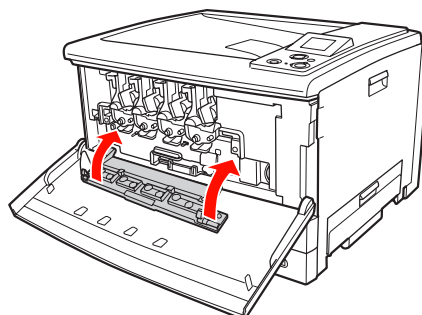
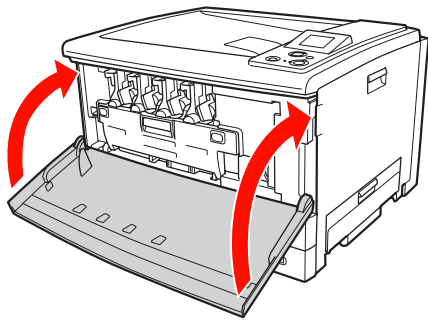
⚠注意
LED ヘッドをクリーニングするときは、周囲に紙などを敷いてください。
トナーがこぼれて、プリンタの周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

!重要
- 感光体（感光体ユニット下部の茶色の部分）には絶対に手を触れないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。

- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。

1 カバー A を開けます。

2 カバー H を開けます。

3 **掃除する感光体ユニットの感光体ロックレバーを押し上げて、感光体ユニットとトナーカートリッジを一緒に引き抜きます。**

感光体ユニットとトナーカートリッジを分離しないでください。
上下逆さまにせず、引き抜いたままの向きで平らな場所に置いて作業してください。

4 **LED ヘッドクリーナーを取り外します。**

5 **クリーナーのスポンジ部分が上に向くようにして、感光体ユニットにセットします。**

6 **感光体ユニットを挿入し、2～3往復させます。**

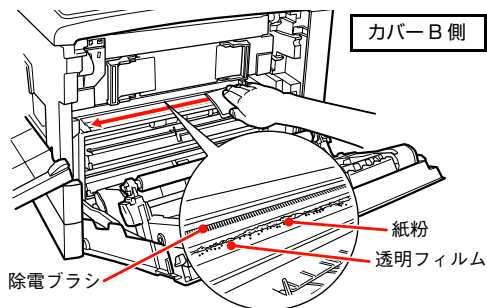
奥までしっかり挿入してください。

7 **感光体ユニットからクリーナーを外し、元の場所に戻します。**

クリーナーを取り外さずに印刷すると、印刷品質に影響を及ぼします。

8 **感光体ユニットを元の場所に挿入します。**

9 **カバー H を起こし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。**

10 カバー A を閉じます。

以上で終了です。

用紙搬送部のクリーニング

1ヵ月に一度程度、用紙搬送部のフィルムに付着した紙粉（白い粉）を拭き取ってください。紙粉が多量に付着したまま印刷し続けると、画像汚れ（縦スジ）が発生することがあります。

1 **転写ユニットを取り外します。**
取り外し方法は以下を参照してください。
☞ 本書 65 ページ「転写ユニットの交換」

2 **用紙搬送部の透明フィルムに付着した紙粉（白い粉）を、乾いた布で拭き取ります。**

> **！重要**
> 奥にある除電ブラシ（黒い植毛）部分にできるだけ触れないようにしてください。印刷品質への影響や紙詰まりの原因となることがあります。

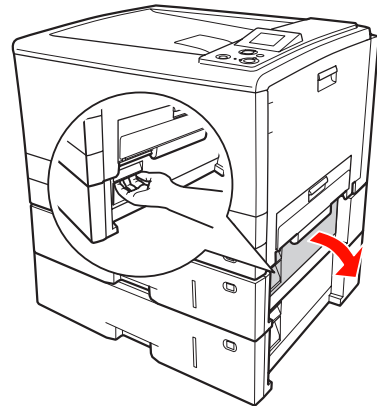
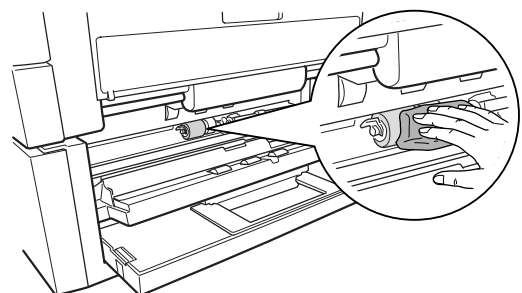
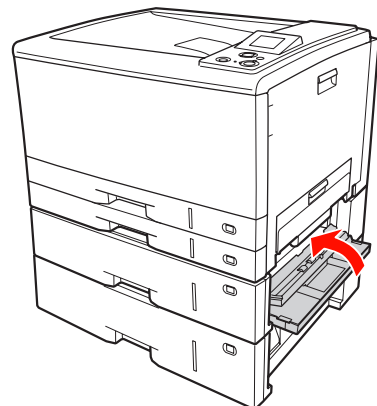
3 **転写ユニットを取り付けます。**
取り付け方法は以下を参照してください。
☞ 本書 65 ページ「転写ユニットの交換」

以上で終了です。

給紙ローラのクリーニング

増設カセットユニットからの給紙時に、用紙が頻繁に詰まったり正常に給紙できないときは、カバー E2、カバー E3 内の給紙ローラをクリーニングしてください。

ここでは、カバー E2 を例に説明します。カバー E3 も同様の手順でクリーニングできます。

1 **カバー E2 を開けます。**

2 **給紙ローラのゴムの部分を乾いた布でていねいに拭きます。**

3 **カバー E2 を閉じます。**

以上で終了です。

プリンタの移動と輸送

プリンタを移動したり輸送するときには、以下の通り作業を行ってください。

⚠注意

- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。
  開梱や移動の際は2人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  本書 119 ページ「プリンタの仕様」
- 本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、プリンタが落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
  本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
  本書 27 ページ「プリンタの持ち方」
- 本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
  転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
  作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

近くへの移動

本機の電源を切り、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- 用紙カセット（標準 / オプション）内の用紙

持ち上げて移動する場合

オプションのプリンタ台、キャビネット、増設カセットユニットを取り外してからプリンタを持ち上げてください。

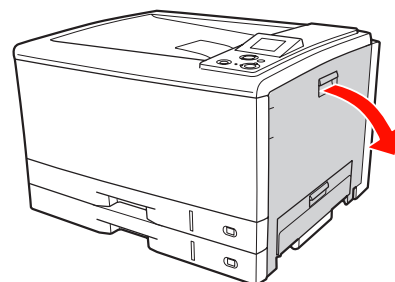
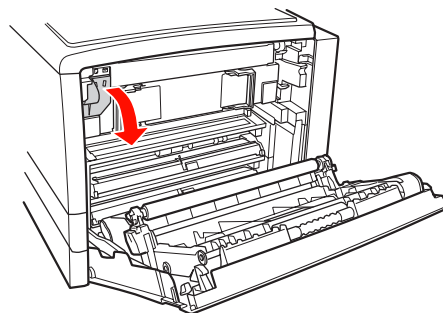
キャスターで移動する場合

オプションのプリンタ台またはキャビネットを装着しているときは、キャスターが付いているため、持ち上げずに移動することができます。ただし、プリンタに衝撃を与えないよう、段差のある場所などでは移動しないよう注意してください。また、移動する前に転倒防止脚を取り外し、必ずキャスターの固定を解除してください。

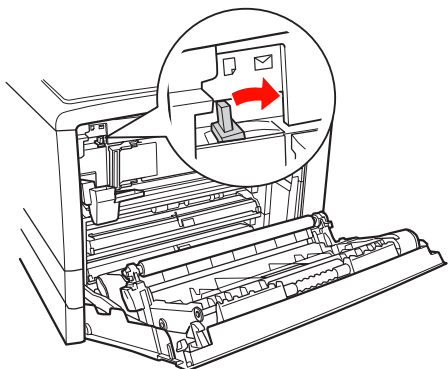
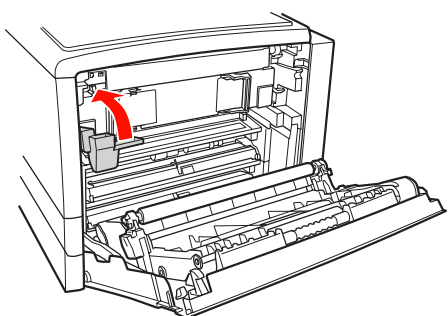
輸送

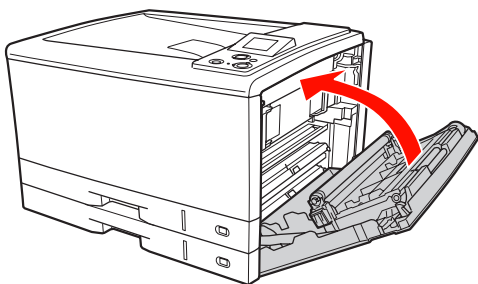
本機を輸送するときは、以下の準備をしてください。震動や衝撃からプリンタ本体を守るために本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。本機を輸送するときは、販売店にご相談ください。

1 **取り付けてあるすべての付属品（廃トナーボックス、転写ユニット、定着ユニットを除く）およびオプションを取り外します。**

2 **カバー B を開けます。**

3 **緑色のリリースレバーを下げます。**

!重要

リリースレバーは、左側のラベルの「リリースレバー解除位置」まで下げてください。リリースレバーを途中までしか下げずに封筒レバーを無理に動かすと、封筒レバーが破損するおそれがあります。

4 **封筒レバーを封筒位置（右）に合わせます。**

5 **緑色のリリースレバーを元に戻します。**

> ⚠注意
> リリースレバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。
> 指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

6 **カバー B を閉じます。**

7 **保護材や梱包材で梱包します。**

以上で終了です。

5 困ったときは

印刷が思い通りにできないとき、トラブルが発生したときなどの対処方法を記載しています。

トラブルの自己診断

印刷が思い通りにできないとき、トラブルが発生したときなどは、まずこの章をお読みください。
以下を参照して、状況に応じて対処してください。

印刷できない

エラーが表示された
☞ 本書 108 ページ「パネルメッセージとヘルプの見方」

用紙が詰まった
☞ 本書 97 ページ「用紙が詰まった」

正しく給排紙できない
☞ 本書 95 ページ「正しく給排紙されない」

プリンタの電源が入らない
☞ 本書 87 ページ「電源が入らない、電圧が不安定」

原因がわからない
☞ 本書 88 ページ「印刷できない」

印刷できるが、うまくいかない

画面表示や設定と印刷結果が異なる
☞ 本書 101 ページ「画面表示や設定と印刷結果が異なる」

印刷品質が悪い
☞ 本書 104 ページ「印刷品質が悪い」

印刷に時間がかかる
☞ 本書 107 ページ「印刷に時間がかかる」

解決できない

エプソンのホームページで調べてみる
http://www.epson.jp/
[サポート] → [よくあるご質問]

販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。
☞ 本書裏表紙

エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。
☞ 本書裏表紙

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本機の名称や製造番号などをご確認の上、ご連絡ください。
本機の製造番号は以下のページを参照してご確認ください。
☞ 本書 121 ページ「製造番号の表示位置」

トラブルの種類と対処方法

電源が入らない、電圧が不安定

プリンタの電源が入らないなど電源に関係するトラブルのときは、以下の内容を確認してください。

プリンタの電源が入らない

電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源コードをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチを入れます。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

ブレーカが動作してしまう

ブレーカの定格は十分ですか？

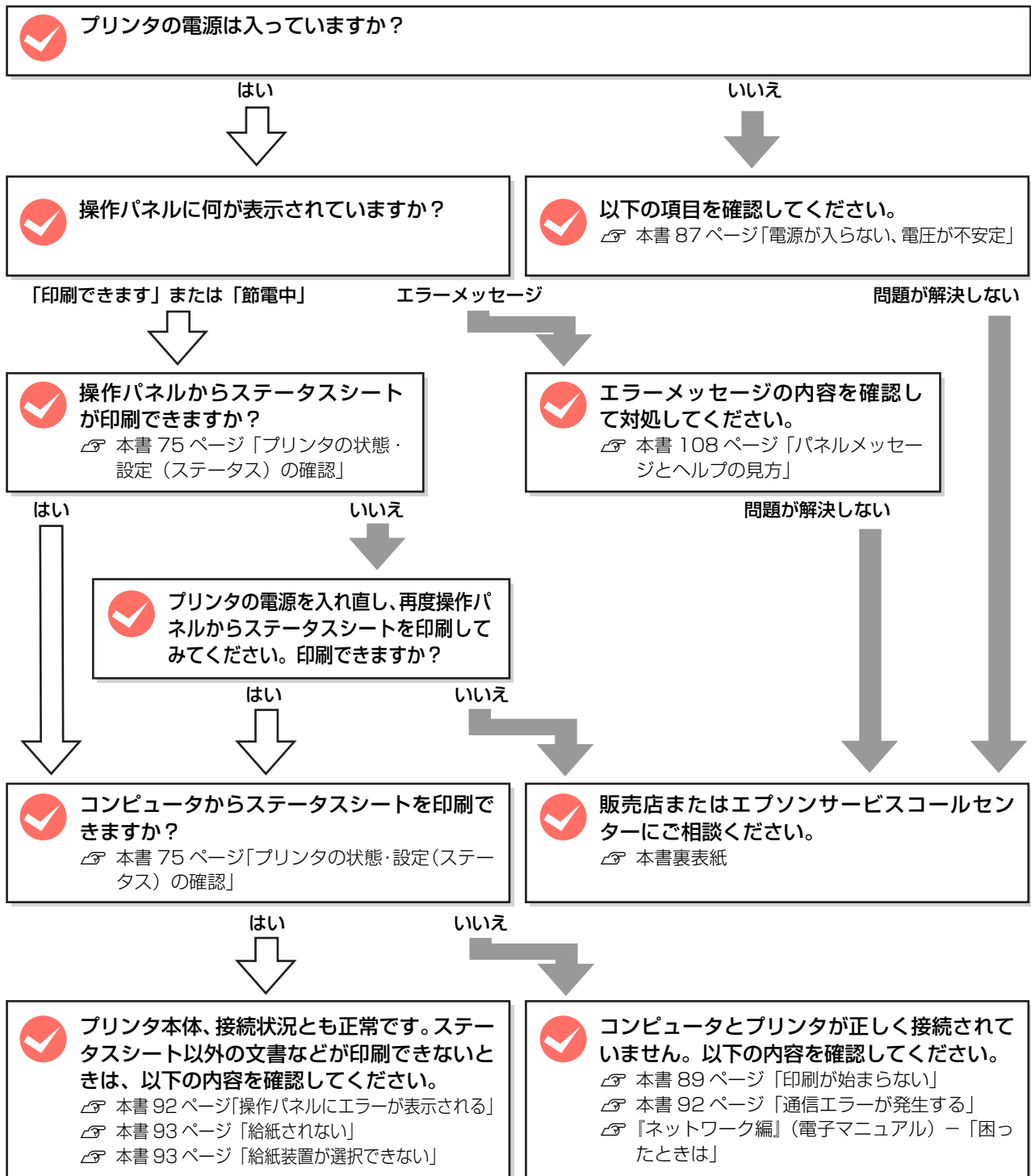
ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本機用に専用配線を用意してください。

周辺の電化製品に異常が発生する

電源容量は、十分に確保されていますか？

電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、コンピュータがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。蛍光灯、コンピュータなどが接続されている電源ラインと本機を分離してください（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします）。
また、無停電電源装置に接続するときは、他の機器に並列して接続しないでください。

印刷できない

印刷ができないときは、以下の手順でトラブルの種別を判別し、必要な項目を参照してください。

印刷が始まらない

コンピュータから印刷を実行しても、プリンタのデータランプもエラーランプも反応しないときは、コンピュータとプリンタが正しく接続されていません。または、印刷データがコンピュータの処理能力を超えている可能性があります。

EPSON ステータスモニタがインストールされている環境では、「通信エラーが発生しました」というメッセージが表示されます。

☞ 本書 92 ページ「通信エラーが発生する」

以下の内容を確認してください。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルは、本機やコンピュータの仕様に合っていますか？

本機やコンピュータの仕様に合ったインターフェイスケーブルを使用してください。

☞ 本書 122 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」

インターフェイスが使用できない設定になっていませんか？

操作パネルで、特定のインターフェイスが使用できないように設定されていると、そのインターフェイスは使用できません。設定を確認してください。

☞ 本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」

コンピュータは、本機の仕様に合っていますか？

システム条件を確認し、適切な環境で本機を使用してください。

☞ 本書 118 ページ「動作環境」

プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

プリンタドライバをインストールし、接続方法に合った設定ができているか確認してください。

☞ 本書 33 ページ「コンピュータの接続と設定」

プリンタ名を変更していませんか？

ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタ名を選択してください。

パスワード印刷の設定をしていませんか？

プリンタドライバの［セキュリティ印刷］画面で、パスワード印刷の設定をして印刷を実行すると、印刷データは一旦プリンタのメモリ（RAM ディスク）に保存されます。プリンタから出力するには、操作パネルでパスワードを入力してください。

パスワード印刷を行わない場合は、［セキュリティ印刷］画面で［パスワード印刷をする］のチェックを外してから印刷してください。

☞『詳細編』（電子マニュアル）―「印刷ジョブにパスワードを設定」

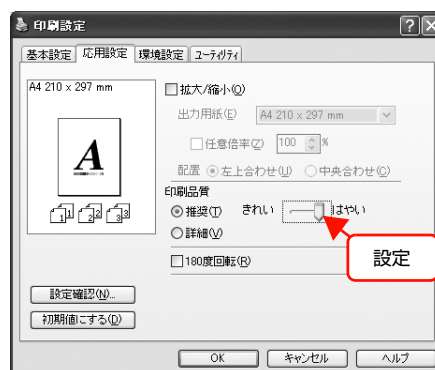
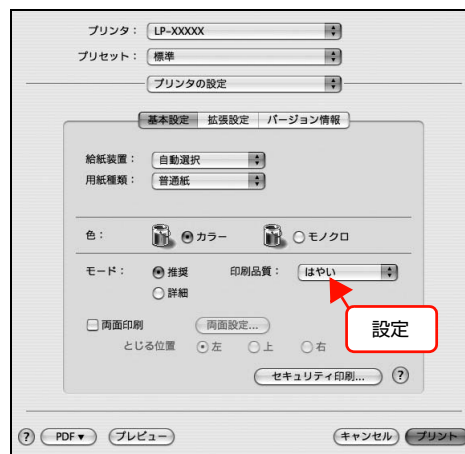
［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機が追加されていますか？（Mac OS X）

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機のプリンタドライバをデフォルトプリンタとして選択するか、［プリント］画面で本機を選択してください。

本機が AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている場合は、正しい［AppleTalk Zone］を選択して本機を追加してください。

容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピュータの CPU やメモリの容量によって、データを処理できないことがあります。コンピュータのメモリを増設するか、プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［きれい］（600dpi）になっている場合は、［はやい］（300dpi）にすると印刷できることがあります。

Windows：

Mac OS X：

ネットワークの設定は正しいですか？

同じネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などが正しくない可能性があります。ほかのコンピュータからも印刷できない場合は、ネットワーク環境に問題があると考えられます。ネットワーク設定の詳細は、以下を参照してください。

☞『ネットワーク編』（電子マニュアル）

通常使うプリンタとして設定されていますか？（Windows）

アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できないことがあります。通常使うプリンタとして設定しておくと、印刷時に自動的に本機を選択して印刷します。以下の手順に従って確認してください。

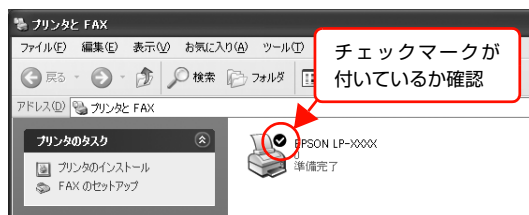
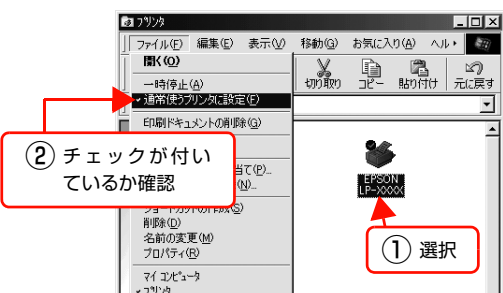
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］／［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 ［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。

Windows XP/Server 2003/Vista：
本機のアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。チェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Windows 2000：
本機のアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。

プリンタが一時停止またはオフラインになっていませんか？（Windows）

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

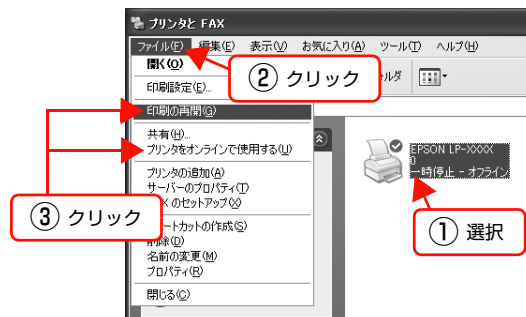
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］／［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003：
［スタート］－［プリンタと FAX］をクリックします。

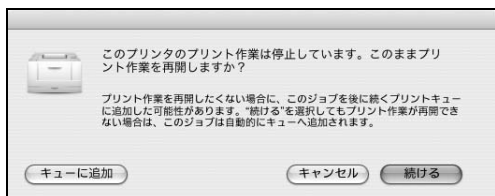
Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 本機のアイコンを選択し、印刷ができる状態に戻します。

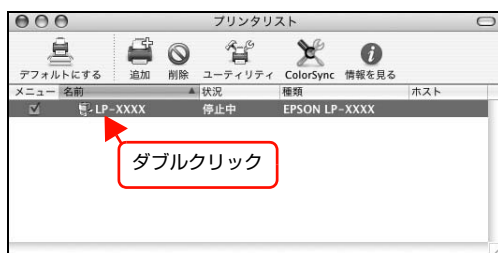
Windows XP/Server 2003/Vista：
［ファイル］メニューを開き、［印刷の再開］または［プリンタをオンラインで使用する］になっている場合は、クリックします。

Windows 2000：
［ファイル］メニューを開き、［一時停止］または［プリンタをオフラインで使用する］にチェックが付いている場合は、クリックして外します。

以上で終了です。

プリンタが一時停止になっていませんか？（Mac OS X）

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］でプリンタが一時停止なっていると、印刷を実行してもメッセージが表示されてそのままでは印刷できません。

［続ける］をクリックすると、印刷が再開されます。［続ける］をクリックしても印刷が再開されない場合や、［キューに追加］をクリックした場合は、以下の手順に従ってください。

1 ［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］を開きます（印刷実行時は「Dock」から開けます）。

2 プリンタ名（本機）をダブルクリックします。

3 ［ジョブを開始］をクリックします。

以上で終了です。

WindowsがUSBハブを正しく認識していますか？（USB接続/Windows）

Windowsの［デバイスマネージャ］の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USBハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータのUSBポートから、USBハブをすべて外してから、本機のUSBコネクタをコンピュータのUSBコネクタに直接接続してみてください。USBハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

プリンタポートの設定は正しいですか？（USB接続/Windows）

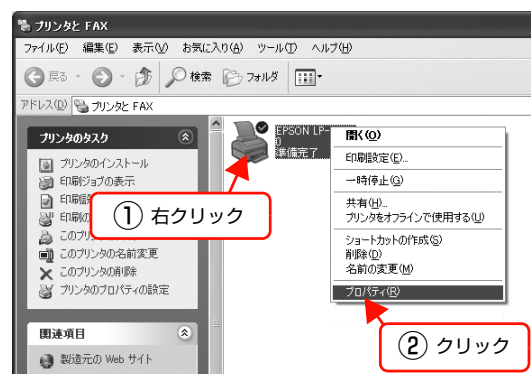
新たにUSB対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

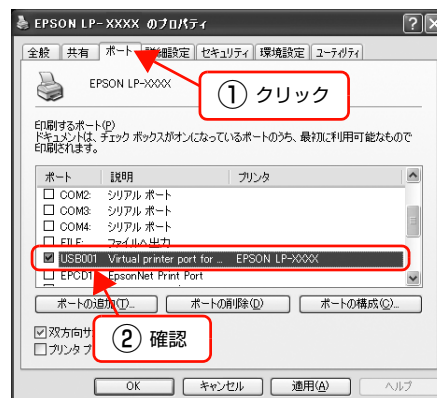
1 Windowsの［スタート］メニューから［プリンタとFAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003：
［スタート］－［プリンタとFAX］をクリックします。

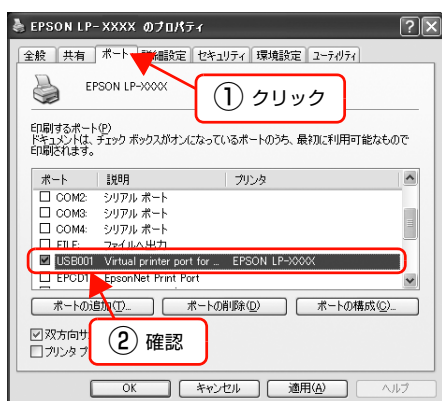
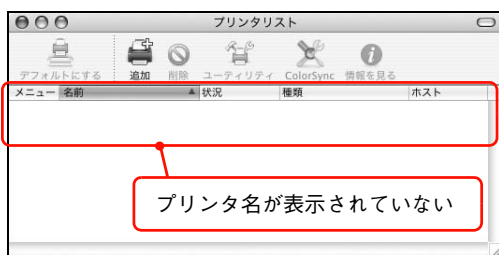
Windows 2000：
［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］/［ポート］タブをクリックして［印刷するポート］/［印刷先のポート］を確認します。

① ［ポート］タブをクリックします。
② ［印刷するポート］で［USBx］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

以上で終了です。

ポートが表示されていますか？（USB 接続）

以下の画面を開いて、ポートが正しく表示されているか確認してください。
表示されていないときは、プリンタの電源が入っていることを確認し、USB ケーブルを一旦抜いてから差し直してみてください。Mac OS X は、［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機を追加し直してみてください。

Windows：

Mac OS X：

本機をUSBハブの1段目に接続していますか？（USB 接続）

仕様上は、USB ハブを使用して 5 段まで縦列接続できますが、1 段目に接続することをお勧めします。コンピュータに直接接続された USB ハブの 1 段目以外に本機を接続していて正常に動作しないときは、1 段目に接続してください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

通信エラーが発生する

EPSON ステータスモニタがインストールされている環境で、「通信エラーが発生しました」と表示されたときは、以下の内容を確認してください。

コンピュータとプリンタが正しく接続されていますか？

以下を参照してください。
☞ 本書 89 ページ「印刷が始まらない」

ネットワーク接続で、印刷プロトコルとして Net BEUI、IPP を使用していませんか？

NetBEUI 接続時や EpsonNet Internet Print 使用時は、EPSON ステータスモニタがネットワークプリンタを監視できないために印刷を実行すると通信エラーとなる場合があります。エラーが表示されても印刷は正常に終了します。［通知設定］画面内の［印刷中プリンタを監視する］のチェックを外すと、エラーが表示されなくなります。
☞ Windows：『詳細編』（電子マニュアル）―「ソフトウェアの使い方（Windows）」―「プリンタの監視」
☞ Mac OS X：『詳細編』（電子マニュアル）―「ソフトウェアの使い方（Mac OS X）」―「プリンタの監視」

リモートデスクトップ機能で、リダイレクトプリントを実行していませんか？（Windows XP）

リモートデスクトップ機能を利用している状態で、移動先のコンピュータからそのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

操作パネルにエラーが表示される

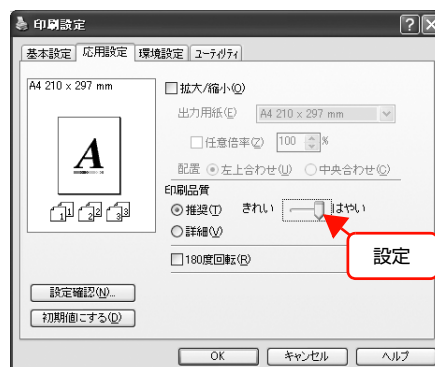
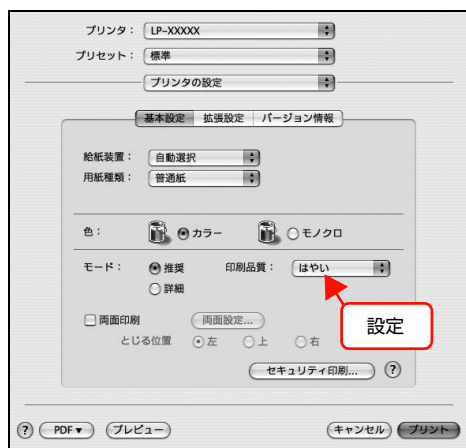
操作パネルのエラーが表示されていませんか？

操作パネルのエラーランプが点灯し、エラーメッセージが表示されているか確認してください。エラーメッセージの説明と対処方法は以下を参照してください。
☞ 本書 108 ページ「パネルメッセージとヘルプの見方」

容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、プリンタがデータを処理できないことがあります。

- プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［きれい］（600dpi）になっている場合は、［はやい］（300dpi）にすると印刷できることがあります。

Windows：

Mac OS X：

- 操作パネルで、使用していないインターフェイスを［使わない］に設定すると印刷できることがあります。
   本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」
- 容量の大きなデータを印刷するには、プリンタにメモリを増設することをお勧めします。
  必要なメモリ容量は、印刷データやアプリケーションソフトによって異なりますが、以下の表を目安にしてください。

印刷面	用紙サイズ	印刷品質＊	必要メモリ	推奨メモリ
片面	A4	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	64MB
	A3	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	96MB
	エプソン製長尺用紙	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	256MB
両面	A4	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	64MB
	A3	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	128MB

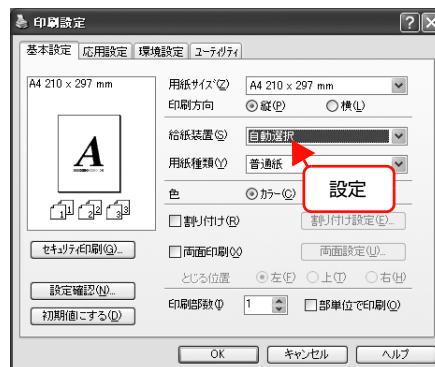
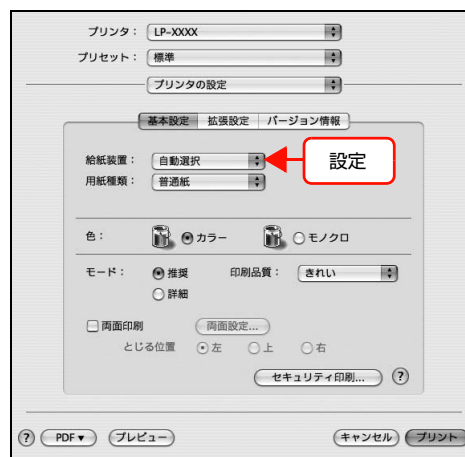
＊　プリンタドライバの［印刷品質］の設定値。［はやい］は 300dpi、［きれい］は 600dpi。

- メモリを増設せず、標準搭載メモリ（64MB）のみの場合は、RAM ディスクの設定をしていると、容量の大きなデータが印刷できないことがあります。
  ☞『詳細編』―「印刷ジョブにパスワードを設定」

給紙されない

プリンタドライバで、使用したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバの［給紙装置］の設定を確認してください。

Windows：

Mac OS X：

［給紙装置］に［カセット 2］/［カセット 3］（オプションの増設カセットユニット）が表示されないときは、実装オプションの設定をしてください。
 本書 93 ページ「給紙装置が選択できない」

給紙装置が選択できない

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先されることがあります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

ステータスシートまたは操作パネルで、手差しトレイと用紙カセットの用紙サイズの設定を確認してください。

ステータスシートは、操作パネルの［プリンタ情報］メニューから印刷します。

☞ 本書 75 ページ「プリンタの状態・設定（ステータス）の確認」

用紙サイズの設定を操作パネルで直接確認するには、［給紙装置設定］メニューを確認します。

☞ 本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」

用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、プリンタドライバの設定も一致させてください。

プリンタドライバで設定しましたか？

Windows：

EPSONステータスモニタをインストールしていない場合は、プリンタドライバでオプション情報を設定する必要があります。以下の手順で設定してください。

EPSON ステータスモニタをインストールしている場合は、プリンタのプロパティ画面を開くと自動的に認識されます。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：

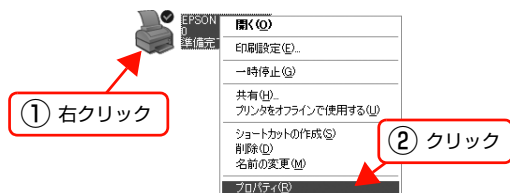
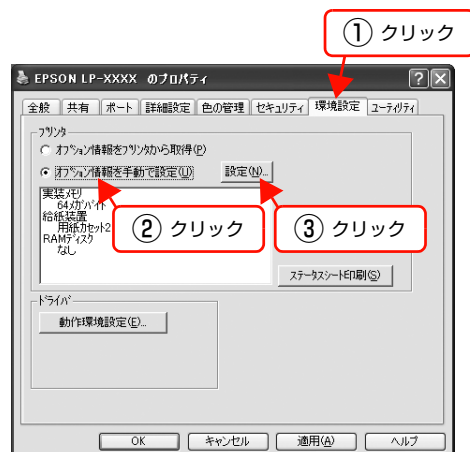
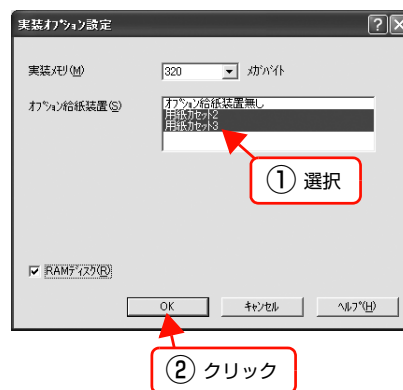
［スタート］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Server 2003：

［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：

［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

2 本機のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3［環境設定］画面で［オプション情報を手動で設定］をクリックし、［設定］をクリックします。

4 取り付けた用紙カセットを選択して［OK］をクリックします。

以上で終了です。

Mac OS X：

［プリンタ設定ユーティリティ］/［プリントセンター］で本機を追加し直すか、EPSON ステータスモニタを起動すると、情報が更新されます。

増設カセットユニットのコネクタが、プリンタ本体に確実に接続されていますか？

コネクタが接続されていないと、増設カセットユニットが認識されません。

☞ 本書 18 ページ「オプションの取り付け」

Windows Vista の制限事項

Windows Vista をお使いの方は、以下の内容を確認してください。

プリンタドライバの設定内容が使用できない

設定を保存したプリンタ以外の設定内容を使用していませんか？

Windows Vista 環境では、ユーザー定義サイズ、スタンプマーク、プリセットの詳細設定は、インストールしたプリンタ名ごとに保存されます。それぞれに設定が保存されるため、設定を保存したプリンタ以外、設定内容は使用できません。

文字が使用できない

使用できない機能で文字入力をしていませんか？

JIS X 0213:2004 で追加された以下の 10 文字は、下記の機能では使用できません。

俱𠮟噓屛瘦剝吞姸幷繫

- スタンプマーク機能
- プリンタフレンドリ名
- 中間スプールフォルダ設定のホルダパスの設定
- ヘッダー / フッター設定で印刷するユーザー名
- パスワード印刷のユーザー名やジョブ名
- EPSON ステータスモニタのジョブ情報表示

印刷ができない

スリープ / 休止の設定をしていませんか？

印刷中は Windows Vista 上の操作により、スリープ / 休止状態に移行しないでください。

正しく給排紙されない

給排紙が正しく行われなかったり、紙詰まりが発生するときは、以下の内容を確認してください。

用紙が詰まる

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？

プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？

設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に給排紙されないことがあります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？

印刷可能な用紙を使用してください。

☞ 本書 46 ページ「印刷できる用紙」

両面印刷時に、両面印刷可能な用紙を使用していますか？

両面印刷で使用できる用紙の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」

セットする前に用紙をさばきましたか？

複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなる場合があります。

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？

標準用紙カセットやオプション増設カセットユニットの用紙カセットを正しくセットしてください。

☞ 本書 50 ページ「用紙のセット方法」

給紙ローラが汚れていませんか？

給紙ローラを拭いてください。

☞ 本書 82 ページ「給紙ローラのクリーニング」

用紙ガイドが正しい位置にセットされていますか？

手差しトレイや用紙カセットの用紙ガイドを、用紙サイズに合わせてセットしてください。

☞ 本書 50 ページ「用紙のセット方法」

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

用紙サイズ設定ダイヤルが正しく設定されていますか？

用紙カセットの用紙サイズ設定ダイヤルを、セットした用紙と同じサイズに設定してください。

☞ 本書 50 ページ「用紙のセット方法」

用紙が二重に送られる

用紙同士がくっついていませんか？
用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。特殊紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

本機に合った用紙を使用していますか？
印刷可能な用紙をお使いください。
☞ 本書 46 ページ「印刷できる用紙」

用紙がカールする

正しい印刷面に印刷していますか？
特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換することをお勧めします。

排紙サポートを起こしていますか？
排紙された用紙がカールするときは、排紙サポートを起こすとカールしなくなることがあります。
☞ 本書 53 ページ「排紙」

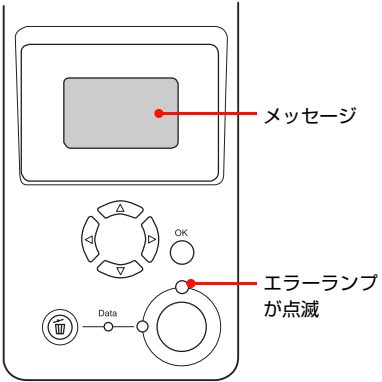
封筒にしわができる

封筒レバーを封筒位置にセットしていますか？
封筒に印刷するときは、封筒レバーを封筒位置にセットしてください。
☞『詳細編』（電子マニュアル）―「特殊紙（ハガキや封筒など）への印刷」―「封筒」

封筒が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい封筒と交換することをお勧めします。

プリンタ内部で用紙が詰まりやすい

定着ローラが汚れている可能性があります。
以下の手順で定着ローラをクリーニングします。
① 詰まった用紙があれば、詰まった用紙を取り除きます。
② ［ジョブキャンセル］ボタンを押して、印刷データをキャンセルします。
③ A4 サイズ 1 ページ分のデータを作成します。
用紙の下半分に数文字程度のテキストが入っているモノクロのデータを作成してください。
④ プリンタに A4 サイズの用紙を 5 枚以上セットします。
⑤ プリンタドライバの設定を以下のようにします。
用紙種類：［厚紙］を選択
用紙サイズ：セットした用紙サイズを選択
部単位印刷：［5］を指定
⑥ ③で作成したデータを印刷します。

上記の作業を行ってもまだ汚れが残る場合は、同じ作業を繰り返し行ってください。

紙詰まりエラーが解除されない

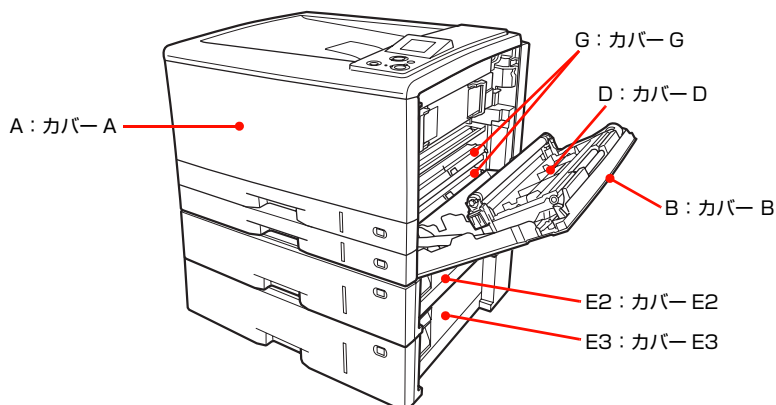
詰まった用紙をすべて取り除きましたか？
プリンタのカバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このようなときは無理に取り除こうとせずに、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
☞ 本書裏表紙

用紙が詰まった

紙詰まりが発生すると、操作パネルまたはコンピュータ（EPSON ステータスモニタがインストールされている場合）にエラーメッセージが表示されます。

操作パネルや EPSON ステータスモニタのメッセージに従って、用紙を取り除いてください。

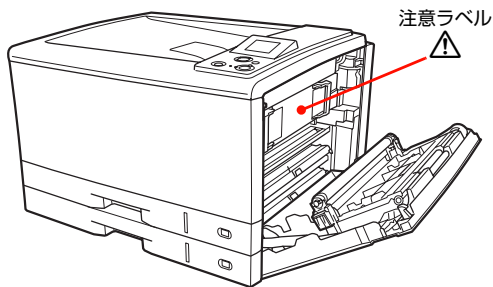
操作パネルの表示	EPSON ステータスモニタの表示	参照先
メッセージ エラーランプが点滅	簡易ステータス：EPSON LP-XXXX 用紙が詰まりました。 詳細(D) 閉じる(C) クリック 詳細ステータス：EPSON LP-S6000 ステータス 消耗品 ジョブ情報 用紙が詰まりました。 次のカバー付近の用紙を取り除いてください。 カバー B 操作パネルのヘルプで、対処方法を確認できます。 PDFで詳しく見る(P) 閉じる(C)	
メッセージ		
紙を取り除いてください B B G B G D B D B G E2	用紙が詰まりました。 次のカバーまたは給紙装置付近の用紙を取り除いてください。 カバー B カバー G カバー D カバー E2	98 ページ
紙を取り除いてください E2 A E3 A	用紙が詰まりました。 次のカバーまたは給紙装置付近の用紙を取り除いてください。 カバー E2 カバー E3	100 ページ
用紙サイズ設定エラー 紙を取り除いてください	指定とは違うサイズの用紙を給紙したため、用紙が詰まりました。	98 ページ

紙詰まりの場所

用紙を取り除く際のご注意

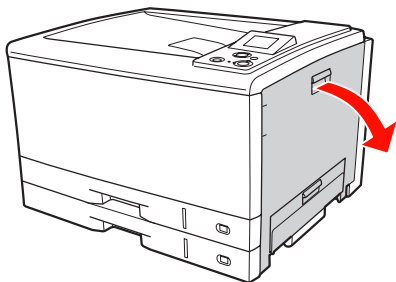
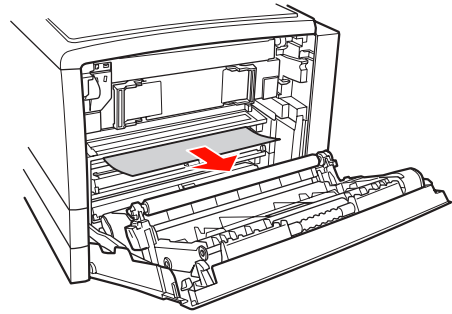
詰まった用紙を取り除く際は、以下の点に注意してください。

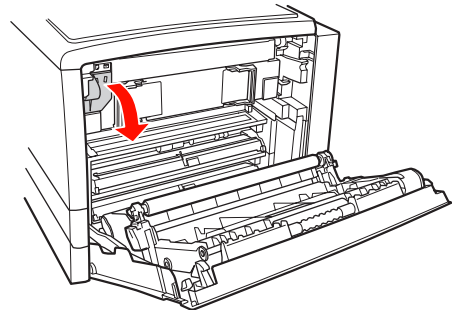
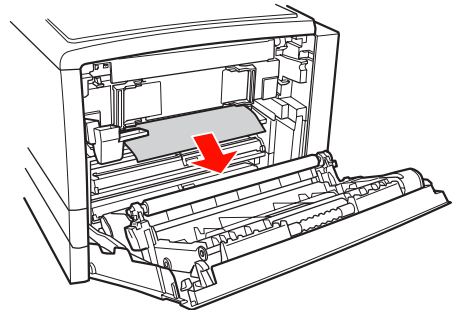
- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり引き抜いてください。無理に引き抜くと、用紙が破れて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 破れた用紙が取り除けない場合や、本書で説明している場所以外に用紙が詰まって取り除けない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

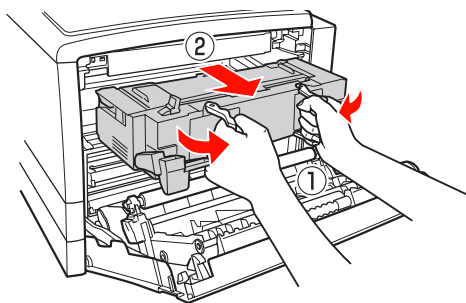
⚠注意

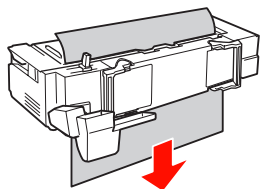
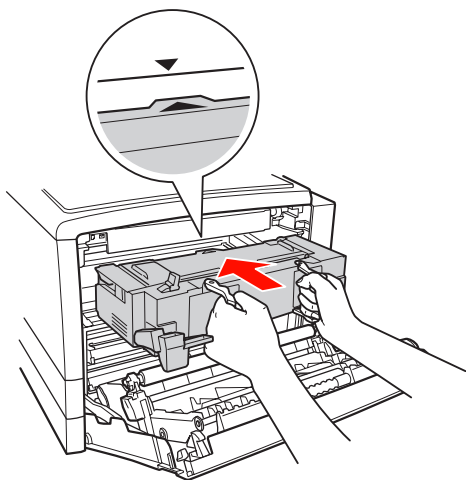
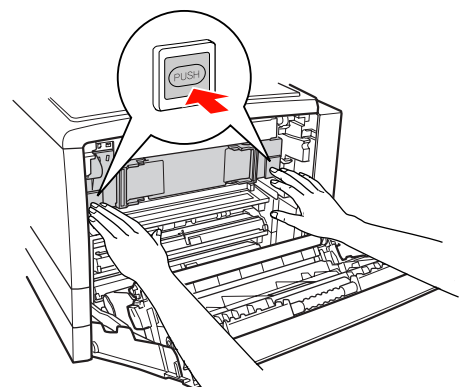
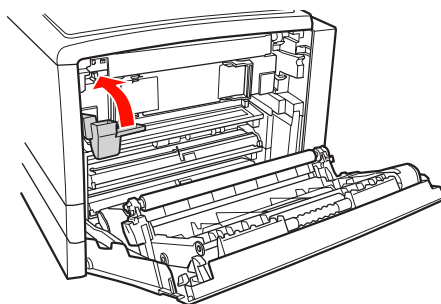
使用中にプリンタのカバー B を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、プリンタ使用中に定着ユニットを取り外すときは、カバー B を開けた状態で 15 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

カバーB/ カバーG/ カバーD

1 手差しトレイが開いているときは、閉じます。

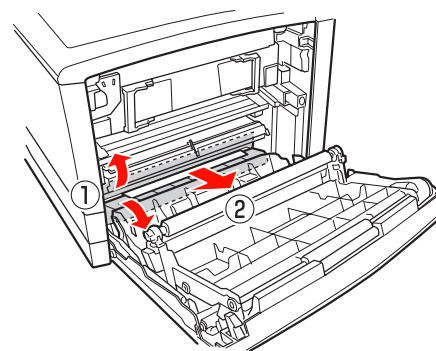
2 カバー B を開けます。

3 詰まった用紙を下方向に引き抜きます。

用紙が取り除けたら、15 に進みます。

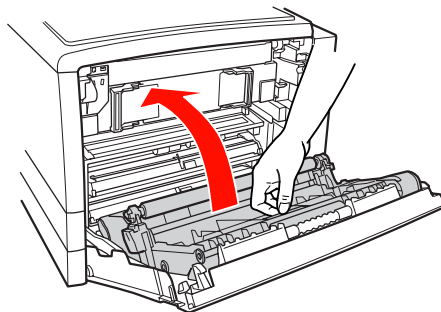
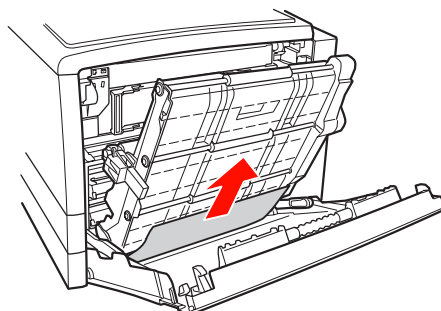
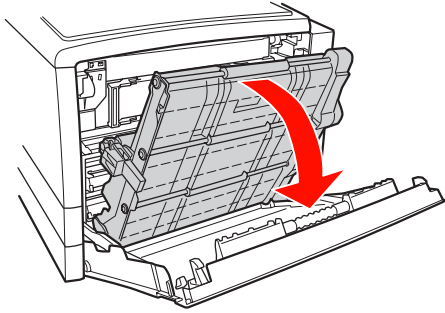
4 緑色のリリースレバーを下げます。
左側のラベルの「リリースレバー解除位置」まで下げ、用紙を抑えている力を解除します。

5 詰まった用紙を下方向に引き抜きます。

用紙が取り除けたら、15 に進みます。

6 緑色の取っ手を、カチッと音がするまで起こし、定着ユニットを引き抜きます。

!重要
定着ユニットは、着脱時に落とさないようにしてください。
プリンタ内部を破損するおそれがあります。

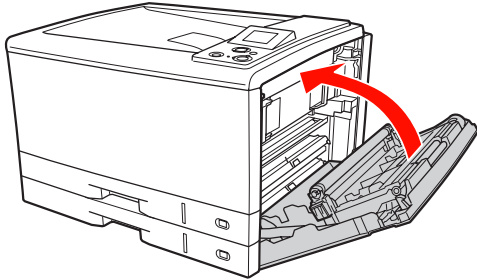
7 詰まった用紙を下方向に引き抜きます。

8 マークを合わせて定着ユニットを挿入します。

9 取っ手から手を離し、左右の「PUSH」部分を押して奥まで確実に挿入します。

10 緑色のリリースレバーを元に戻します。

⚠注意
リリースレバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。
指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

用紙が取り除けたら、15 に進みます。

11 カバー G（2 枚）を上下に開き、内部に詰まった用紙を引き抜きます。

用紙が取り除けたら、15 に進みます。

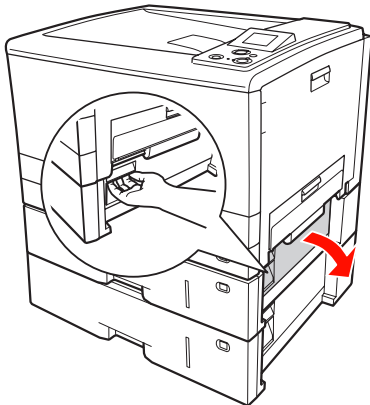
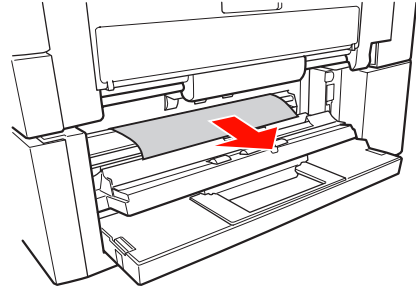
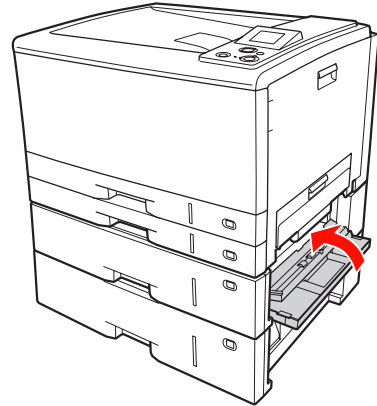
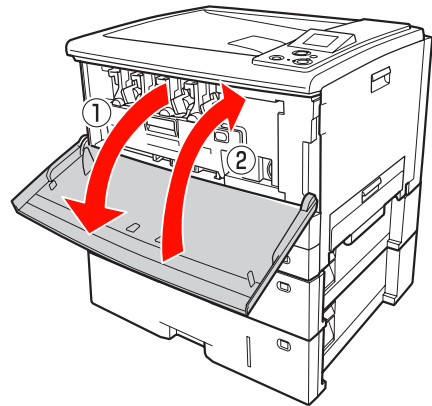
12 カバー D の取っ手を持って開けます。

13 詰まった用紙を上方向に引き抜きます。

14 カバー D を閉じます。

!重要

カバーD を開けたままカバーB を閉じると、転写ローラが定着ユニットに当たって傷付いたり、カバー D が不用意に閉まるおそれがあります。
カバー D を閉じてからカバー B を閉じてください。

15 カバー B を閉じます。

以上で終了です。

カバーE2/ カバーE3/ カバーA

ここではカバー E2 を例に説明します。カバー E3 も同様の手順で用紙が取り除けます。

1 カバー E2 を開けます。

2 詰まった用紙を引き抜きます。

3 カバー E2 を閉じます。

4 カバー A を開閉します。

以上で終了です。

紙詰まりの原因

紙詰まりが頻繁に発生する場合は、プリンタの設置や用紙のセット方法に問題がある可能性があります。

以下を参照して、原因を解消してください。

本書 95 ページ「正しく給排紙されない」

画面表示や設定と印刷結果が異なる

印刷した結果が画面の表示や設定内容と異なるときは、以下の内容を確認してください。

文字や画像が画面表示と異なる

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

再度印刷してみても同様の現象が発生する場合は、以下の点を確認してください。

- 推奨ケーブルが正しく接続されているか
  ☞ 本書 33 ページ「コンピュータの接続と設定」
- お使いのコンピュータは本機のシステム条件に合っているか
  ☞ 本書 118 ページ「動作環境」
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできるか
  ☞ 本書 75 ページ「プリンタの状態・設定（ステータス）の確認」

色合いが画面表示と異なる

画面表示とプリンタの発色方法の違いによって生じます

画面表示とプリンタでは、以下のように色の表現方法が異なります。

画面に表示する色の仕組み

テレビやコンピュータなどの画面では、赤（R）・緑（G）・青（B）の「光の三原色」を組み合わせて様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒（BK）で、3 色すべてが光っている状態が白（W）になります。

プリンタで印刷する色の仕組み

カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・イエロー（Y）・マゼンタ（M）の「色の三原色」を組み合わせて様々な色を表現します。まったく色を付けないのが白（W）で、3 色を均等に混ぜた状態が黒（K）になります。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）と発色方法が変更されるため、完全に色を一致させることはできません。

普通紙にカラー印刷していませんか？

カラー印刷は、使用する用紙によって印刷結果が大きく異なります。最良の印刷結果を得るには、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙の使用をお勧めします。

☞ 本書 122 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」

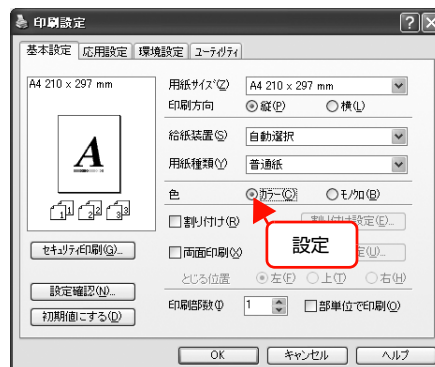
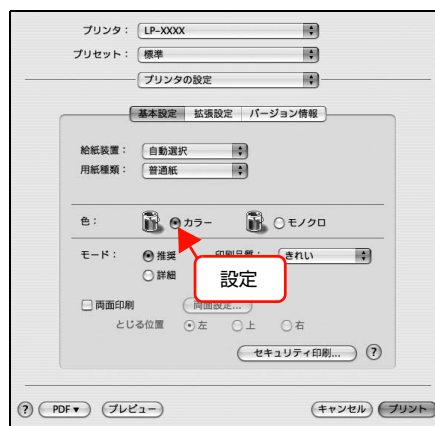
プリンタドライバで[オートフォトファイン!5]を有効にしていませんか？（Windows）

［オートフォトファイン !5］は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのため［オートフォトファイン !5］が有効になっていると、表示画面と色合いが異なることがあります。

カラー印刷ができない

プリンタドライバの［色］の設定が、［カラー］になっていますか？

［色］の設定が［モノクロ］になっているとカラー印刷ができません。

Windows：

Mac OS X：

アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていますか？

アプリケーションソフトの設定が、カラーデータになっているか確認してください。

ページの左右または片側が切れる

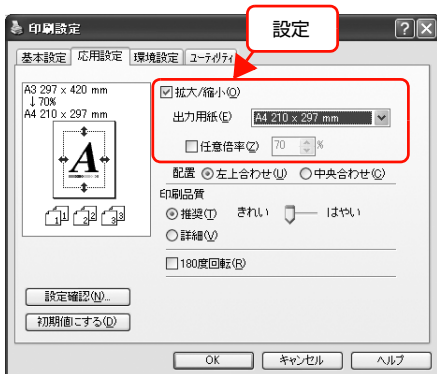
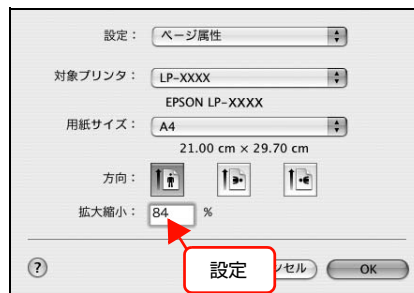
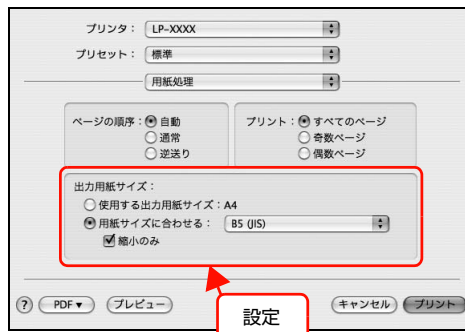
印刷データの横幅は、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

WEB ブラウザでインターネットの WEB サイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。より大きなサイズの用紙に印刷してください。

Windows：

Mac OS X：

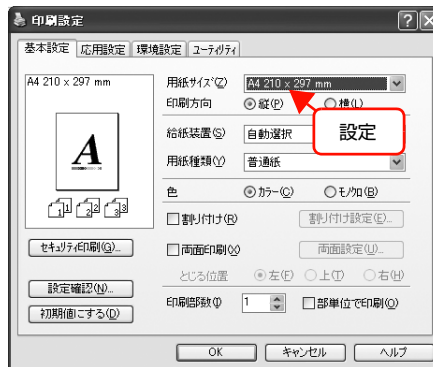
より大きなサイズの用紙が利用できないときは、プリンタドライバの［拡大 / 縮小］機能を使用すると、用紙サイズに合わせて印刷データを拡大/縮小して印刷できます。

Windows：

Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4：

Mac OS X v10.4：

アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できるものがあります。例えば、Microsoft Internet Explorer（WEB ブラウザ）では、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さくして印刷してみてください。なお、本機では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。

印刷位置が画面表示と異なる

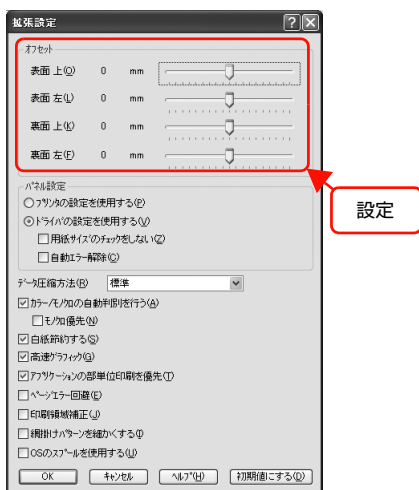
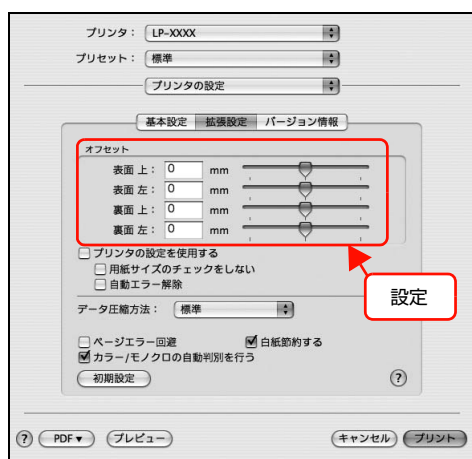
アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと、プリンタドライバで設定した［用紙サイズ］が異なっていませんか？

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを、プリンタドライバの［用紙サイズ］で設定してください。

Windows：

Mac OS X：

印刷開始位置を設定しましたか？

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要です。プリンタドライバの［拡張設定］画面で［オフセット］を調整してください。

Windows：

Mac OS X：

罫線が切れる

アプリケーションソフトで、本機を使用して印刷する設定になっていますか？

アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、本機を使用して印刷できるように設定してください。

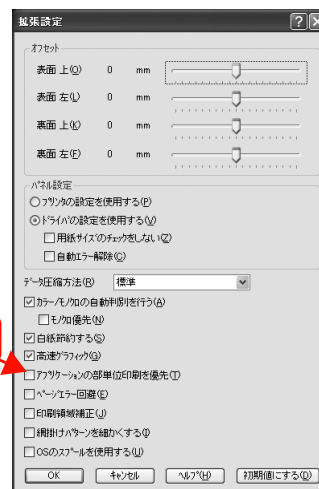
文字の位置がずれる

アプリケーションソフトで、本機を使用して印刷する設定になっていますか？

アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、本機を使用して印刷できるように設定してください。

部単位印刷ができない

アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定していませんか？（Windows）

アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定すると、一部の Windows アプリケーションソフトでは、正しく部単位印刷ができないことがあります。プリンタドライバの［拡張設定］画面で［アプリケーションの部単位印刷を優先］のチェックを外し、アプリケーションソフトではなくプリンタドライバで部単位印刷を設定してください。

設定と印刷結果が異なる

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致しているか確認してください。印刷条件の設定は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで行えますが、各設定の優先順位は、お使いの状況によって異なります。

印刷品質が悪い

画質が悪いなど、印刷品質に問題があるときは、以下の内容を確認してください。

きれいに印刷できない

エプソン製のトナーカートリッジおよび感光体ユニットをお使いですか？

本機はエプソン製のトナーカートリッジおよび感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。エプソン製以外のものをご使用になると、プリンタ本体の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、プリンタ本体の性能が発揮できないことがあります。エプソン製のトナーカートリッジおよび感光体ユニットのご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。

本書 122 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」

プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

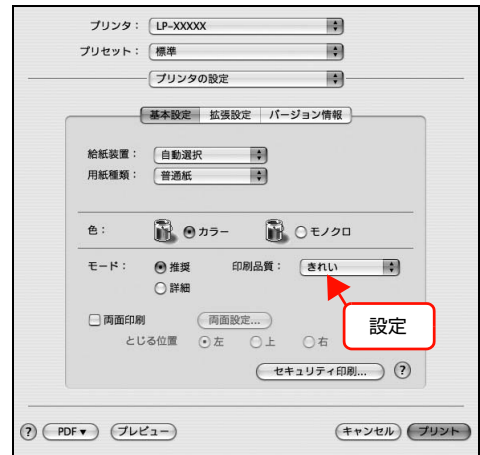
［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。

本書 72 ページ「トナーセーブ（トナーの節約）」

プリンタドライバで［印刷品質］を［きれい］（600dpi）に設定していますか？

きれいに印刷したいときは、［印刷品質］を［はやい］（300dpi）ではなく［きれい］（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データではメモリ不足で印刷できない場合があります。このようなときは、［印刷品質］を［はやい］（300dpi）に戻すか、メモリを増設してください。

Windows：

Mac OS X：

操作パネルに「解像度を落として印刷しました」というメッセージが表示されましたか？

印刷するのに十分なメモリをプリンタに増設してください。

必要なメモリ容量は、印刷データやアプリケーションソフトによって異なりますが、以下の表を目安にしてください。

印刷面	用紙サイズ	印刷品質 *	必要メモリ	推奨メモリ
片面	A4	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	64MB
	A3	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	96MB
	エプソン製長尺用紙	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	256MB
両面	A4	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	64MB
	A3	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	128MB

* プリンタドライバの［印刷品質］の設定値。［はやい］300dpi、［きれい］は 600dpi。

トナーカートリッジが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

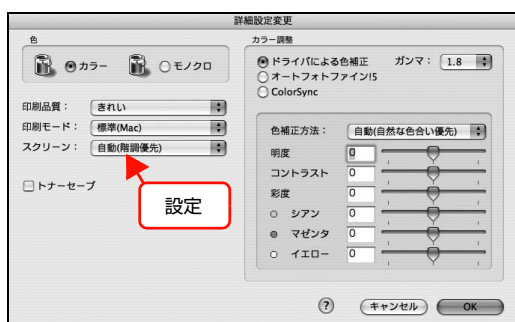
本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」

色むらがある

プリンタドライバで［スクリーン］の設定を確認してください。

カラー印刷時に微妙な色合いを再現するには、［スクリーン］の設定を［階調優先］または［自動（階調優先）］にしてください。

Windows：

Mac OS X：

薄すぎる、濃すぎる

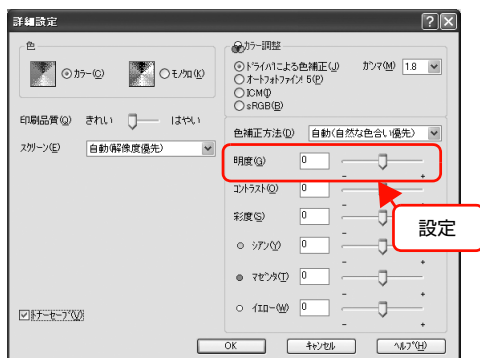
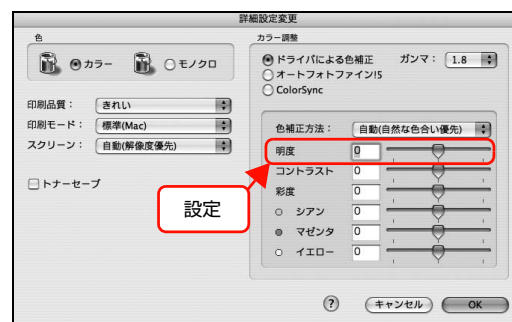
プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。

☞ 本書 72 ページ「トナーセーブ（トナーの節約）」

プリンタドライバの［明度］の設定を確認してください。

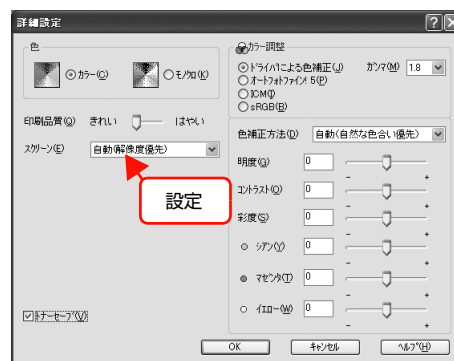
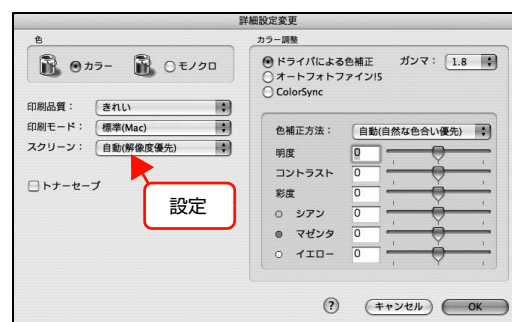
［詳細設定］画面で［明度］を調整してください。

Windows：

Mac OS X：

薄い、かすれる

プリンタドライバで［スクリーン］の設定を確認してください。

カラー印刷時に細い線や細かい模様などを再現するには、［スクリーン］の設定を［自動（解像度優先）］または［解像度優先］にしてください。［階調優先］または［自動（階調優先）］に設定すると、中間調の文字や細い線がかすれることがあります。

Windows：

Mac OS X：

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

トナーの残量は十分ですか？

ステータスシートまたは操作パネルで、トナー残量を確認してください。

☞ 本書 75 ページ「プリンタの状態・設定（ステータス）の確認」

トナーが残っていなければ、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体の寿命は残っていますか？

ステータスシートまたは操作パネルで、感光体ライフ（寿命）を確認してください。

☞ 本書 75 ページ「プリンタの状態・設定（ステータス）の確認」

感光体ライフ（寿命）が残っていなければ、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」

プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。

☞ 本書 72 ページ「トナーセーブ（トナーの節約）」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷するなど）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」

汚れ(点)が印刷される

適切な用紙を使用していますか？

本機で印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 46 ページ「印刷できる用紙」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」

転写ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい転写ユニットに交換してください。

用紙搬送部の透明フィルムに付着した紙粉（白い粉）が影響している可能性がありますので、交換時に必ずクリーニングしてください。

☞ 本書 65 ページ「転写ユニットの交換」

転写ユニットの劣化や損傷を防ぐため、1ヵ月に一度程度、用紙搬送部のクリーニングをしてください。

☞ 本書 82 ページ「用紙搬送部のクリーニング」

周期的に汚れる

プリンタ内の用紙経路が汚れている可能性があります。

数ページ印刷してください。

トナーカートリッジが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」

指でこすると汚れる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

適切な用紙を使用していますか？

本機で印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 46 ページ「印刷できる用紙」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？

セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷するなど）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。

☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」

白く抜ける(点または周期的に)

適切な用紙を使用していますか？

本機で印刷できる用紙を使用してください。

☞ 本書 46 ページ「印刷できる用紙」

トナーカートリッジが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」

用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しすぎている可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。

☞ 本書 72 ページ「トナーセーブ（トナーの節約）」

色抜けする､筋が出る

LED ヘッドが汚れている可能性があります。

LED ヘッドをクリーニングしてください。

☞ 本書 80 ページ「LED ヘッドのクリーニング」

用紙全体が塗りつぶされる

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」

縦線が印刷される

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」

転写ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい転写ユニットに交換してください。

用紙搬送部の透明フィルムに付着した紙粉（白い粉）が影響している可能性がありますので、交換時に必ずクリーニングしてください。

☞ 本書 65 ページ「転写ユニットの交換」

転写ユニットの劣化や損傷を防ぐため、1 ヵ月に一度程度、用紙搬送部のクリーニングをしてください。

☞ 本書 82 ページ「用紙搬送部のクリーニング」

何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。

用紙をよくさばいて、セットし直してください。

トナーの残量は十分ですか？

ステータスシートまたは操作パネルで、トナー残量を確認してください。

☞ 本書 75 ページ「プリンタの状態・設定（ステータス）の確認」

トナーが残っていなければ、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」

裏面が汚れる

プリンタ内の用紙経路が汚れている可能性があります。

数ページ印刷してください。

印刷に時間がかかる

印刷に時間がかかったり、一時停止してしまうときは、以下の内容を確認してください。

節電モードになっていませんか？

節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかることがあります。

☞ 本書 73 ページ「印刷待機時の節電」

操作パネル上に「プリンタ調整中」と表示されていませんか？

良好な印刷品質を保つために、印刷の途中でプリンタが動作を一時的に停止して内部機能の自動調整を行うことがあります。自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。

容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、プリンタ側でデータを処理できないことがあります。操作パネルで、使用していないインターフェイスを［使わない］に設定してみてください。

☞ 本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」

問題が解消されないときは、プリンタにメモリを増設することをお勧めします。

必要なメモリ容量は、印刷データやアプリケーションソフトによって異なりますが、以下の表を目安にしてください。

印刷面	用紙サイズ	印刷品質 *	必要メモリ	推奨メモリ
片面	A4	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	64MB
	A3	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	96MB
	エプソン製長尺用紙	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	256MB
両面	A4	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	64MB
	A3	はやい	64MB	64MB
		きれい	64MB	128MB

* プリンタドライバの［印刷品質］の設定値。［はやい］は 300dpi、［きれい］は 600dpi。

パネルメッセージとヘルプの見方

操作パネルに表示されるメッセージと、対処方法を記載したヘルプ機能の使い方を説明します。

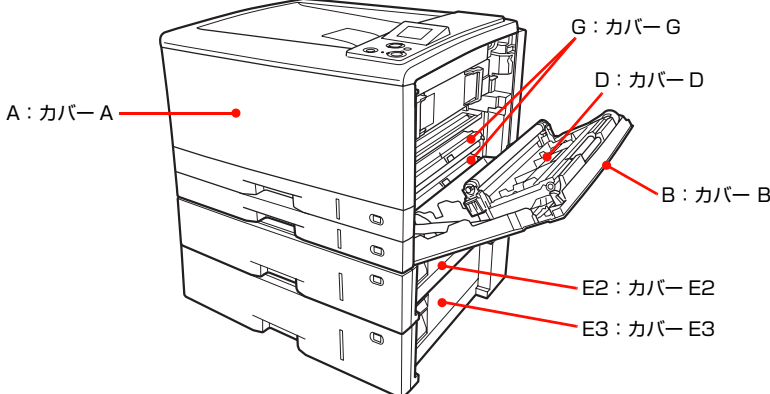
メッセージ一覧

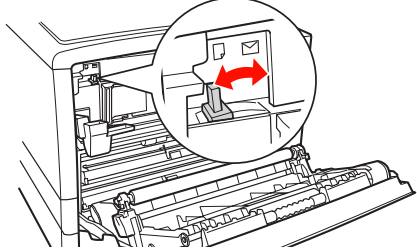
操作パネルには、ワーニング、エラー、ステータスの３種類のメッセージが表示されます。

ワーニングメッセージ

ワーニングメッセージは、何か問題が発生したときに注意を促すメッセージです。メッセージの内容と対処方法は以下の通りです。(五十音順)

操作パネルに表示されるワーニングメッセージは、操作パネルの［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］または［全ワーニングクリア］を実行して消すことができます。
［ワーニングクリア］は、消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。［全ワーニングクリア］は、すべてのワーニングメッセージを消します。
本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」

メッセージ	状況と対処方法
＊＊＊＊感光体の交換時期が近付きました	「＊＊＊＊」に表示されている色の感光体ユニットの寿命が近付きました。 • このままの状態でも印刷可能です。ただし、印刷汚れやかすれが発生することがあります。新しい感光体ユニットを用意してください。 • 「＊＊＊＊感光体ユニットを交換してください」とエラーメッセージが表示されたら、新しい感光体ユニットと交換してください。 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」
＊＊＊＊トナーの交換時期が近付きました	「＊＊＊＊」に表示されている色のトナーカートリッジのトナー残量が少なくなりました。 • このままの状態でも印刷可能です。ただし、用紙サイズや印刷面積によって途中でトナーがなくなり、印刷がかすれることがあります。新しいトナーカートリッジを用意してください。 • 「＊＊＊＊トナーを交換してください」とエラーメッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。 本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」
印刷できないデータを受信しました	印刷データに問題があるため、印刷できませんでした。 • 本機で使用できないプリンタドライバから印刷しました。使用したプリンタドライバを確認して、正しいプリンタドライバをインストールし直して、正しいプリンタドライバから印刷してください。 • メッセージを消すには、［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行します。 本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」
解像度を落として印刷しました	メモリ不足により、指定された解像度で印刷できず、何らかの省略を行って印刷しました。 • 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、［ジョブキャンセル］ボタンを押します。 • メッセージを消すには、［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行します。 本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 ·プリンタドライバで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 ·アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 ·操作パネルで、使用していないインターフェイスを使わないように設定する。 ·プリンタのメモリを増設する。
カラーマッチングで問題が発生しました	印刷データに対して行われたカラー調整が、プリンタ側に搭載されているスクリーンと整合性がとれていません。 プリンタドライバまたはファームウェアをバージョンアップし、整合性をとってください。

メッセージ	状況と対処方法
指定と違うタイプの用紙に印刷しました	印刷時に設定したサイズとタイプ（種類）の用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。 • ［プリンタリセット］メニューから［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 　本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」 • 各給紙装置にセットしている用紙のタイプと、操作パネルの［給紙装置設定］メニューで設定した用紙タイプを確認してください。 　本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」
定着ユニットの交換時期が近付きました	定着ユニットの寿命が近付きました。 • このままの状態でも印刷可能です。新しい定着ユニットを用意してください。 • 「定着ユニットを交換してください」とエラーメッセージが表示されたら、新しい定着ユニットと交換してください。 　本書 69 ページ「定着ユニットの交換」
定着ユニットを交換してください （エラーランプが消灯）	定着ユニットの寿命です。 速やかに定着ユニットを交換してください。交換後、カバー B を閉じるとエラーが解除されます。 本書 69 ページ「定着ユニットの交換」
転写ユニットの交換時期が近付きました	転写ユニットの寿命が近付きました。 • このままの状態でも印刷可能です。新しい転写ユニットを用意してください。 • 「転写ユニットを交換してください」とエラーメッセージが表示されたら、新しい転写ユニットと交換してください。 　本書 65 ページ「転写ユニットの交換」
転写ユニットを交換してください （エラーランプが消灯）	転写ユニットの寿命です。 速やかに転写ユニットを交換してください。交換後、カバーA、カバーB を閉じるとエラーが解除されます。 本書 65 ページ「転写ユニットの交換」
廃トナーボックスの交換時期が近付きました	廃トナーボックスの空き容量が少なくなりました。 • このままの状態でも印刷可能です。新しい廃トナーボックスを用意してください。 • 「廃トナーボックスを交換してください」とエラーメッセージが表示されたら、新しい廃トナーボックスと交換してください。 　本書 63 ページ「廃トナーボックスの交換」
パスワード印刷の登録に失敗しました	パスワード印刷ジョブを登録できませんでした。 • 印刷していないパスワード印刷ジョブがすでに64ファイルある状態で、さらにパスワード印刷ジョブを登録しようとしました。印刷していないパスワード印刷ジョブを印刷するか消去してから、再度登録してください。 • RAM ディスク容量が不足しているか、設定されていません。［プリンタ設定］メニューの［RAM ディスク］を［標準］か［最大］に設定してください。すでに設定されているときは、メモリを増設してください。
非純正品トナーカートリッジ	エプソン製以外のトナーカートリッジが取り付けられています。 このまま使用すると、印刷品質などが、エプソン製のトナーカートリッジを使用したときと異なることがあります。また、エプソンが提供する保証期間、保守サービスが適用されないことがあります。エプソン製のトナーカートリッジとの交換をお勧めします。 本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」
メンテナンスユニットの交換時期が近付きました	メンテナンスユニットの寿命が近付きました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 本書 122 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」
メンテナンスユニットを交換してください （エラーランプが消灯）	メンテナンスユニットの寿命です。 販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 本書 122 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」

エラーメッセージ

エラーメッセージは、速やかに対処が必要な問題が発生したときに表示されるメッセージです。メッセージの内容と対処方法は以下の通りです。（五十音順）

メッセージ	状況と対処方法
Optional RAM Error	本機で使用できないメモリが取り付けられているため認識できません。一旦電源を切り、本機で使用可能なメモリを取り付けてください。 本書 122 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」 本書 18 ページ「メモリ」
ROM モジュール P 書き込みエラー	標準 ROM への書き込みが正常に終了しませんでした。または、標準 ROM が装着されていません。
Service Req ＊＊＊＊＊	サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。 一旦電源を切り、数分後に入れ直します。再度発生したときは、操作パネルの表示を書き写してから、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
＊＊＊＊カバーを閉じてください	「＊＊＊＊」に表示されているカバーが開いているか、確実に閉じていません。「＊＊＊＊」には開いているカバー A、B、E2、E3 が表示されます。 A：カバー A（本体前面） B：カバー B（本体右側） E2：カバー E2（カセット 2 右側） E3：カバー E3（カセット 3 右側） 表示されているカバーを閉じると、エラーが解除されます。
＊＊＊＊感光体ユニットを交換してください	「＊＊＊＊」に表示されている色の感光体ユニットの寿命です。 表示されている色の感光体ユニットの交換をを交換してください。交換後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」
＊＊＊＊感光体ユニットが故障です	「＊＊＊＊」に表示されている色の感光体ユニットが故障しています。 表示されている色の感光体ユニットを、使用可能なものに交換してください。交換後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」
＊＊＊＊感光体ユニットが正しくありません	「＊＊＊＊」に表示されている色の感光体ユニットは、本機で使用できない感光体ユニットであるか、挿入口が間違っています。 表示されている色の感光体ユニットを、本機で使用可能なものに交換するか、挿入口の色を確認して正しい挿入口にセットし直してください。交換後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 61 ページ「感光体ユニットの交換」
＊＊＊＊トナーカートリッジが故障です	「＊＊＊＊」に表示されているトナーカートリッジが故障しています。 表示されている色のトナーカートリッジを、使用可能なものに交換してください。交換後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」
＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください	「＊＊＊＊」に表示されている色のトナーがなくなりました。 表示されている色のトナーカートリッジを交換してください。交換後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」 トナーカートリッジを取り出して軽くたたくと、印刷を継続できることがあります。 ①トナーカートリッジと感光体ユニットを一緒に取り出し、分離せずに紙を敷いた上に置きます。 ②トナーカートリッジの上から軽くたたきます。 トナーカートリッジと感光体ユニットを分離した状態でトナーカートリッジをたたかないでください。 ③トナーカートリッジと感光体ユニットを元に戻します。

メッセージ	状況と対処方法
＊＊＊＊トナーカートリッジを取り付けてください	「＊＊＊＊」に表示されている色のトナーカートリッジがセットされていません。 表示されている色のトナーカートリッジを取り付けてください。取り付け後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」
＊＊＊＊トナーが正しくありません	「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジは、本機では使用できません。 表示されている色のトナーカートリッジを、本機で使用可能なものに交換してください。交換後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」
＊＊＊＊非純正品トナー	「＊＊＊＊」に表示されている色のトナーカートリッジはエプソン製ではありません。 このまま使用すると、印刷品質などが、エプソン製のトナーカートリッジを使用したときと異なることがあります。また、エプソンが提供する保証期間、保守サービスが適用されないことがあります。エプソン製のトナーカートリッジとの交換をお勧めします。 本書 59 ページ「トナーカートリッジの交換」
オーバーランエラー	印刷の途中でプリンタドライバのスプールファイルを削除して、次に別の印刷を実行しました。または、通信エラーで受信したデータに異常があります。 プリンタドライバからスプールファイルを削除してから、プリンタの［ジョブキャンセル］ボタンを押してプリンタに残っているデータを削除してください。
カセット内の用紙を減らしてください＊＊＊＊	「＊＊＊＊」に表示されている用紙カセット内の用紙が、最大セット容量を超えています。 最大セット容量表示を超えないよう、用紙を減らしてください。 本書 50 ページ「用紙のセット方法」
紙をセットしてください xxxxx yyyy	以下の場合に表示されます。 ①印刷のために給紙しようとした給紙装置「xxxxx」に、用紙がセットされていません。 給紙装置「xxxxx」にサイズ「yyyy」の用紙をセットすると、エラーが解除されて印刷されます。 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」 本書 50 ページ「用紙のセット方法」 ②すべての給紙装置に用紙がセットされていません。 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラーが解除されて印刷されます。
紙を取り除いてください ＊＊＊＊	「＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、「＊＊＊＊＊」の部分には操作パネルに表示可能な範囲まで表示されます。 以下のページを参照して、「＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラーが解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。 本書 97 ページ「用紙が詰まった」
サービスへ連絡ください ＊＊＊＊	サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。 一旦電源を切り、数分後に入れ直します。再度発生したときは、操作パネルの表示を書き写してから、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

メッセージ	状況と対処方法
指定された用紙は両面印刷できません	両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可能なため、両面印刷の実行を中止します。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期値）に設定されている場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。 ①［印刷可］ボタンを押すと、セットされている用紙に片面印刷します。 ②印刷を中止する場合は、［ジョブキャンセル］ボタンを押します。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、セットされている用紙に片面印刷します。
定着ユニットがありません	定着ユニットがセットされていません。または正しくセットされていません。 定着ユニットを正しく取り付けてください。取り付け後、カバー B を閉じるとエラーが解除されます。 本書 69 ページ「定着ユニットの交換」
定着ユニットを交換してください （エラーランプが点滅）	定着ユニットの寿命です。 • 定着ユニットを交換してください。交換後、カバーB を閉じるとエラーが解除されます。 本書 69 ページ「定着ユニットの交換」 • 操作パネルの【印刷可】ボタンを押すとエラーが解除され、印刷が続行できます。エラー解除後は、ワーニングメッセージ「定着ユニットを交換してください」が表示されます。
データに異常があるため印刷できません	印刷データの異常です。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期値）に設定されている場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。 ①［印刷可］ボタンを押すと、エラーが発生したページを印刷しないで次の印刷を行います。 ②印刷を中止する場合は、［ジョブキャンセル］ボタンを押します。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、エラーが発生したページを印刷しないで次の印刷を行います。
転写ユニットがありません	転写ユニットがセットされていません。または正しくセットされていません。 転写ユニットを正しく取り付けてください。取り付け後、カバー A、カバー B を閉じるとエラーが解除されます。 本書 65 ページ「転写ユニットの交換」
転写ユニットを交換してください （エラーランプが点滅）	転写ユニットの寿命です。 • 転写ユニットを交換してください。交換後、カバー A、カバー B を閉じるとエラーが解除されます。 本書 65 ページ「転写ユニットの交換」 • 操作パネルの【印刷可】ボタンを押すとエラーが解除され、印刷が続行できます。エラー解除後は、ワーニングメッセージ「転写ユニットを交換してください」が表示されます。
廃トナーボックスを交換してください	廃トナーボックスの空き容量がなくなりました。 廃トナーボックスを交換してください。交換後、カバーAを閉じるとエラーが解除されます。 本書 63 ページ「廃トナーボックスの交換」 操作パネル表示が消えない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
廃トナーボックスを取り付けてください	廃トナーボックスがセットされていません。または正しくセットされていません。 廃トナーボックスを正しく取り付けてください。取り付け後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 63 ページ「廃トナーボックスの交換」 操作パネル表示が消えない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

メッセージ	状況と対処方法
封筒レバーを＊＊＊＊位置にしてください	以下の場合に表示されます。 • 購入後、初めて印刷するとき • 印刷設定を、封筒以外の用紙から封筒に、または封筒から封筒以外の用紙に変更したとき 封筒レバーを「＊＊＊＊」に表示された位置に合わせてください。 封筒（右）：封筒に印刷するとき 通常（左）：封筒以外の用紙に印刷するとき カバーB の開閉でもエラーは解除されますが、必ず封筒レバーを正しい位置にセットして使用してください。
メモリ不足で印刷できません	処理中にメモリ不足、メモリに対する不正な処理が発生し、動作が続行できなくなりました。 • ［ジョブキャンセル］ボタンを押すと、印刷が中止されます。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期値）に設定されている場合は、［印刷可］ボタンを押すと印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは不完全な印刷結果になります。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、印刷を継続します。ただし、エラーが発生したページは不完全な印刷結果になります。 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 ②アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 ③プリンタのメモリを増設する。 ④使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メモリ不足で両面印刷できませんでした	両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため、裏面が印刷できません。この場合、表面のみ印刷して排紙します。 • 以下のいずれかの操作を行ってください。 ①表面側のみ印刷された用紙を裏返してもう一度セットし、［印刷可］ボタンを押すと片面印刷で印刷を再開します。 ②［ジョブキャンセル］ボタンを押して、印刷を中止します。 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 ①プリンタドライバで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 ②アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 ③プリンタのメモリを増設する。 ④使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メンテナンスユニットを交換してください （エラーランプが点滅）	メンテナンスユニットの寿命です。 販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ☞ 本書 122 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」
用紙サイズ設定エラー紙を取り除いてください	設定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされたため、用詰まりが発生しました。 以下のページを参照して、詰まった用紙を取り除いてください。正しいサイズの用紙をセットし、カバーを閉じるとエラーが解除され、印刷を再開します。 ☞ 本書 97 ページ「用紙が詰まった」
用紙を交換してください **xxxxx yyyy**	給紙をしようとした給紙装置「xxxxx」にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ「yyyy」が異なっています。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期値）に設定されている場合は、以下のいずれかの操作を行ってください。 ①給紙装置「xxxxx」にサイズ「yyyy」の用紙をセットし、用紙サイズダイヤルを設定後、［印刷可］ボタンを押して印刷します。 ☞ 本書 48 ページ「用紙一覧と設定早見表」 ☞ 本書 50 ページ「用紙のセット方法」 ②用紙を交換しないで［印刷可］ボタンを押します。セットされている用紙に印刷します。 ③印刷を中止する場合は、［ジョブキャンセル］ボタンを押します。 • ［プリンタ設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラーが解除され、セットされている用紙に印刷します。

ステータスメッセージ

ステータスメッセージは、プリンタの状態を示すメッセージです。プリンタは正常に動作しています。メッセージの内容は以下の通りです。（五十音順）

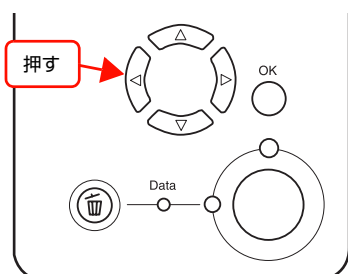
メッセージ	状況と対処方法
RAM CHECK	プリンタの RAM を確認中です。
ROM CHECK	プリンタの ROM を確認中です。
ROM P 書き込み中 電源オフ禁止 nn/mm	標準 ROM にデータを書き込み中です。電源を切らないでください。nn/mm は書き込みの進行状況を示しています。
SELF TEST	自己診断と、初期化を行っています。
印刷できます	印刷可状態で、プリンタに送られているデータがない状態です。
ウォーミングアップ しばらくお待ちください	ウォーミングアップ中です。
エラーの原因が解消されていません	エラーを解除できません。
オフライン 印刷を停止します	印刷データの作成やデータ受信は行いますが、印刷動作を開始しない状態です。［印刷可］ボタンを押すと、現在の状態を表示します。
ジョブキャンセル中 お待ちください	• 何らかの警告が表示されたときに、リセットなどの操作によって印刷中の処理を中止しました。 • コンピュータ側のプリンタドライバによって印刷中の処理を中止しました。
ステータスシート印刷中	ステータスシート印刷中です。
節電中	操作パネルで指定した時間が経過し、節電状態になっています。データの受信、またはリセットで解除されます。
全ジョブキャンセル中 お待ちください	何らかの警告が表示されたときに、リセットなどの操作によって印刷処理をすべて中止しました。
プリンタ調整中 しばらくお待ちください	良好な印刷品質を保つために、プリンタが印刷機能の自動調整を行っています。しばらくお待ちください。なお、印刷実行中にこのメッセージが表示されると、印刷処理を一時中断します。自動調整が完了すると操作パネル表示が消え、自動的に印刷を再開します。
プリンタ冷却中 しばらくお待ちください ＊＊分	定着ユニットの温度を下げるために、印刷を中止している状態です。定着ユニットが既定温度まで下がると印刷を再開します。
用紙排紙中	プリンタ内に残っている印刷データを、［印刷可］ボタンによって印刷・排紙中です。
リセット	現在使用中のインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄し、エラーを解除中です。
リセットオール	印刷を中止後、プリンタの電源を入れた直後の状態まで初期化し、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄しています。しばらくお待ちください。
リセットしてください	印刷実行中にパネル設定を変更しました。以下のいずれかの操作を行ってください。 ①操作パネルの［プリンタリセット］メニューから［リセット］または［リセットオール］を実行します。直後に変更が反映されますが、印刷データはすべて削除されます。 本書 126 ページ「操作パネル設定項目一覧」 ②［印刷可］ボタンを押します。印刷実行後に変更が反映されます。

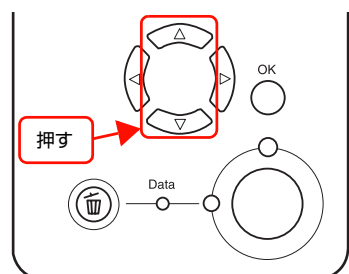
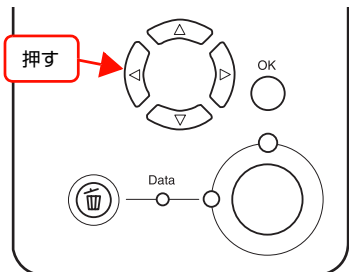
ヘルプの見方

操作パネルに、エラーメッセージとともに［ヘルプを見る］と表示されたときは、対処方法を参照することができます。

この表示があるときは、ヘルプを参照できます。

ヘルプの見方は以下の通りです。

1 **【◀】ボタンを押します。**

2 **【▼】ボタンを押して、次の手順に進みます。**
【▲】ボタンを押すと、前の手順に戻ります。

押す
OK
Data

3 **【◀】ボタンを押して終了します。**

以上でヘルプの閲覧は終了です。

電子マニュアルの見方

本機に同梱されているソフトウェア CD-ROM には、PDF 形式の取扱説明書（電子マニュアル）が収録されています。この取扱説明書を見るには、Adobe® Reader® やプレビュー（Mac OS X）などの PDF 閲覧用ソフトウェアが必要です。Adobe® Reader® は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe® Reader® のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

取扱説明書はソフトウェアとともにコンピュータにインストールされます。インストールされた取扱説明書の見方は以下の通りです。

スタートメニューから見る

Windows の場合

1 Windows の［スタート］－［プログラム］－［EPSON］をクリックします。

2 ご覧になりたい取扱説明書の名称をクリックします。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

1 デスクトップ上の取扱説明書のエイリアスを見つけます。

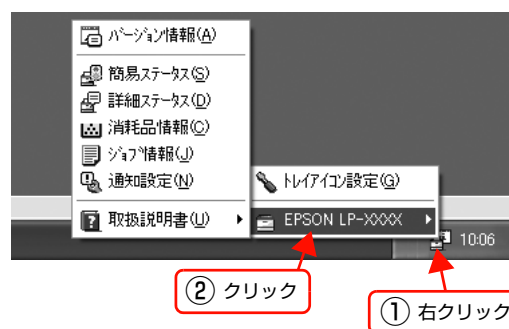
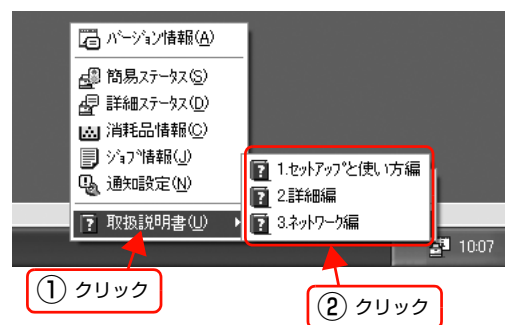
ハードディスクから参照する場合は、以下の順にクリックしてフォルダを開いてください。
[アプリケーション] － [EPSON] － [TPMANUAL] － [LP-S6000] － [JPN] － [GUIDE]

2 ご覧になりたい取扱説明書の名称をクリックします。

以上で終了です。

EPSON ステータスモニタから見る

Windows のみ

1 タスクトレイの EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、[EPSON LP-S6000] をクリックします。

2 [取扱説明書] から、参照したい取扱説明書を選択します。

以上で終了です。

6 付録

本機の仕様と、操作パネルの設定項目一覧を記載しています。

仕様

以下は 2007 年 3 月現在の情報です。

動作環境

ソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は以下の通りです。できるだけ早く最新情報をお知らせするために、インターネットによる情報提供も行っております。

アドレス：http://www.epson.jp/

Windows

項目		内容
OS*1		Windows 2000/XP/Server 2003/Vista
CPU*2		Pentium® 233MHz 以上（Celeron® 633MHz 以上を推奨）
メモリ *2		128MB（256MB 以上を推奨）
ハードディスク		500MB 以上の空き容量
接続方法	USB 接続 *3	USB2.0 対応 下記オプションケーブルまたは USB 外部機器（プリントアダプタなど）をプリンタに取り付けて使用します。 • EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2） • 無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G2）
	ネットワーク接続	市販の LAN インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

*1 最新のサポート OS 情報はエプソンのホームページで確認してください。
アドレス：http://www.epson.jp/

*2 各 OS の必要システム条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

*3 本機を USB 接続で使用する場合は、以下の条件をすべて満たしている必要があります。
- USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ
- Windows 2000/XP/Server 2003/Vista がプレインストールされているコンピュータ、または Windows 98/Me がプレインストールされていて Windows 2000/XP にアップグレードしたコンピュータ
- 動作確認済みの USB2.0 用インターフェイスボードまたは PC カードの情報は、エプソンのホームページでご確認いただくか、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。また、USB2.0 用インターフェイスボードまたは PC カードによって増設したときは、マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバが必要になります。マイクロソフト社製 USB2.0 ドライバの入手方法はマイクロソフト株式会社のホームページでご確認ください。

Windows XP のリモートデスクトップ機能* を利用している状態で、移動先のコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションソフトやファイルへアクセスし、操作することができる機能

Mac OS

OS		Mac OS X v10.2.8 ～ v10.4
メモリ *1		64MB 以上（128MB 以上推奨）
ハードディスク		100MB 以上の空き容量（200MB 以上を推奨）
接続方法	USB 接続 *2	USB2.0 対応 以下のオプションケーブルまたは USB 外部機器（プリントアダプタなど）をプリンタに取り付けて使用します。 • EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2） • 無線プリントアダプタ（型番：PA-W11G2）
	ネットワーク接続	市販の LAN インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリ 5 以上）を使用してください。10Base-T、100Base-TX のどちらでも使えます。

*1 各 OS の必要システム条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

*2 USB に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータを使用してください。

プリンタの仕様

基本仕様

プリント方式	LED ヘッド＋乾式一成分電子写真方式
解像度	600dpi*1
プリント速度	30 ページ / 分（A4、モノクロ片面印刷時）*2 24 ページ / 分（A4、カラー片面印刷時）*2
ウォームアップ時間	電源オン時　：70 秒以内（温度 23 ℃、湿度 55%、定格電圧にて）*3 スリープからの復帰時　：30 秒以内（温度 23 ℃、湿度 55%、定格電圧にて）
ファーストプリント	モノクロ片面印刷　：8.0 秒（A4）/10.0 秒（A3） モノクロ両面印刷　：15.0 秒（A4）/17.0 秒（A3） カラー片面印刷　：12.0 秒（A4）/14.0 秒（A3） カラー両面印刷　：23.0 秒（A4）/25.0 秒（A3）
稼働音 （本体、標準条件）*4	レディ時　：約 35dB（A） 稼働時　：約 58dB（A）
耐久性（製品寿命）	600,000 ページ（A4 連続時、カラー / モノクロの印刷比率は問わず） または 5 年のいずれか短い方

*1 25.4mm ｛1 インチ｝あたりのドット数（Dots Per Inch）

*2 印刷中に、良好な画質を得るための画像調整を自動的に行うことがあり、上記の印刷速度が出ない場合があります。また、用紙サイズによっては、定着ユニットの安定性保持のために、印刷を一時停止することがあります。

*3 ご使用の環境によって最大 110 秒かかることがあります。

*4 標準条件：手差しトレイを閉めて、用紙カセットから普通紙を給紙したとき

プリンタ外形寸法 / 質量

外形寸法	幅 590mm ×奥行き 539mm ×高さ 388mm（小数点以下四捨五入）
質量	約 45kg（消耗品を含まない）

オプション外形寸法 / 質量

外形寸法 （小数点以下四捨五入）	増設カセットユニット（型番 LPA3CZ1CU6） 幅 590mm ×奥行き 522mm ×高さ 135mm
	プリンタ台（型番 CSCBN10B） 幅 590mm ×奥行き 522mm ×高さ 130mm
	キャビネット（型番 LPCBN7） 幅 590mm ×奥行き 522mm ×高さ 400mm
質量	増設カセットユニット（型番 LPA3CZ1CU6） 約 14kg
	プリンタ台（型番 CSCBN10B） 約 9.3kg
	キャビネット（型番 LPCBN7） 約 19kg

電気関係 *

定格電圧	AC100V ± 10%	
定格電流	12.4A	
周波数	50/60Hz ± 3Hz	
消費電力	最大	： 1200W 以下
	カラー印刷時	： 平均 508W
	モノクロ印刷時	： 平均 502W
	レディ時	： 平均 72W
	スリープモード時	： 平均 9W 以下
	電源オフ時	： 0W

* オプション含まず

環境基本仕様

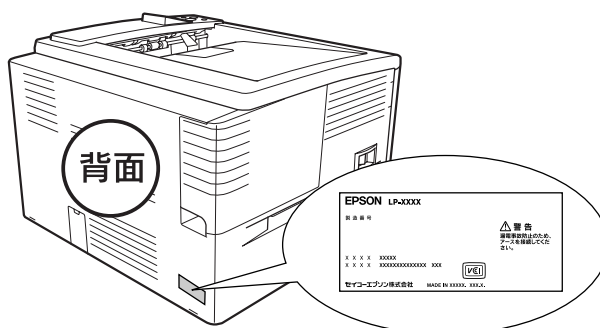
省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約することができます。
回収リサイクル体制	使用済みトナーカートリッジおよび感光体ユニットの回収 資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みのトナーカートリッジおよび感光体ユニットの回収にご協力ください。回収方法の詳細は、新しいトナーカートリッジまたは感光体ユニットに同梱されておりますご案内シートを参照してください。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細は以下をご覧ください。 本書 124 ページ「保守サービスのご案内」
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年
消耗品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年

環境条件

動作時	温度	:	10 ～ 33 ℃
	湿度	:	20 ～ 80%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	:	767Hpa 以上（2300m 以下）
	水平度	:	傾き 1 度以下
	照度	:	3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）
	周囲スペース	:	上方 300mm、左側方 100mm、右側方 300mm、 前方 780mm、後方 200mm
保存・輸送時	温度	:	-5 ～ 40 ℃
	湿度	:	20 ～ 80%（ただし結露しないこと）

コントローラ基本仕様

制御コード体系	モード	:	ESC/PageS Printing System
RAM	標準	:	64MB
	オプション増設時	:	最大 320MB（1 ソケット）
インターフェイス	標準	:	USB（Rev. 1.1 および 2.0 対応） 10Base-T/100Base-TX

製造番号の表示位置

保守サービスなどのお問い合わせの際に製造番号が必要になる場合があります。上図のラベル内容を確認してください。

消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧

本機で使用できる消耗品、オプション、定期交換部品は以下の通りです。

2007 年 3 月現在

商品名		型番	備考
消耗品	ET カートリッジ(ブラック)	LPC3T10K	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	ET カートリッジ(ブラック)2本セット	LPC3T10KP	LPCA3T10K の2本セット
	ET カートリッジ(シアン)	LPC3T10C	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	ET カートリッジ(シアン)2本セット	LPC3T10CP	LPCA3T10C の2本セット
	ET カートリッジ(マゼンタ)	LPC3T10M	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	ET カートリッジ(マゼンタ)2本セット	LPC3T10MP	LPCA3T10M の2本セット
	ET カートリッジ(イエロー)	LPC3T10Y	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	ET カートリッジ(イエロー)2本セット	LPC3T10YP	LPCA3T10Y の2本セット
	感光体ユニット(ブラック)	LPC3K10K	感光体ユニットと ET カートリッジのセット 感光体ユニット印刷寿命 *：約 30,000 ページ ET カートリッジ印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	感光体ユニット(シアン)	LPC3K10C	
	感光体ユニット(マゼンタ)	LPC3K10M	
	感光体ユニット(イエロー)	LPC3K10Y	
	廃トナーボックス	LPCA3H6	印刷寿命 *：約 40,000 ページ
用紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙	LPCPPA3(A3)	普通紙への印刷において最良の印刷品質を得ることができる用紙
		LPCPPA4(A4)	
		LPCPPB4(B4)	
	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	LPCOHPS1(A4)	EPSON カラーレーザープリンタ専用の OHP シート
	長尺用紙	LPCCJY1	幅 297mm ×長さ 1200mm の長尺サイズの用紙
ケーブル/アダプタ	USB ケーブル	USBCB2	USB2.0/1.1 対応
	LAN ケーブル	―	以下の条件を満たす市販のLANケーブルを使用してください。 • シールドツイストペア • カテゴリ 5 以上 • ストレート
	802.11g 対応無線プリントアダプタ	PA-W11G2	IEEE802.11b および IEEE802.11g 準拠 対応暗号化技術：WEP および WPA-PSK(TKIP/AES)
給紙装置	増設 1 段カセットユニット	LPA3CZ1CU6	対応用紙サイズ：A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、Ledger 容量：550 枚
台	専用プリンタ台(キャスター付)	CSCBN10B	プリンタ本体または増設 1 段カセットユニットの最下段に取り付けできます。
	専用キャビネット(キャスター付)	LPCBN7	プリンタ本体または増設 1 段カセットユニットの最下段に取り付けできます。

商品名		型番	備考
記憶媒体	メモリ	ー	容量の大きなデータを印刷するときなどに増設してください。 エプソンのホームページから本機のオプション情報をご覧ください。 http://www.epson.jp/ プリンタの内部メモリを最大 320MB まで増設できます。購入時のメモリ容量は 64MB です。
定期交換部品	転写ユニット	LPCA3TSU1	転写ユニット、転写ローラ、廃トナーボックスのセット ユーザー交換可能な定期交換部品 印刷寿命 *：約 100,000 ページ
	定着ユニット	LPCA3TCU1	ユーザー交換可能な定期交換部品 印刷寿命 *：約 100,000 ページ
	メンテナンスユニット	ー	給紙、搬送ローラ類のセット 印刷寿命 *：約 300,000 ページ 本品の交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施します。交換時期を知らせるメッセージが表示されたときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。定期交換に伴う出張基本料、技術料、部品料は保証期間内外を問わず有償となります。

＊ A4 サイズの用紙に面積比で約５%の印刷を連続して行った場合。ただし、電源を入れたり切ったりする回数、紙詰まり処理の回数などの使用状況により変わります。また、大量のページを連続して印刷、または１ページずつ時間をおいて何度も印刷するなどの印刷状況によっても変わります。最良の印刷品質を確保するため、A4 サイズの用紙に面積比で５%未満の印刷を行った場合でも、標準的な印刷寿命より短くなったり、半分以下になることもあります。

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートの一覧

弊社が行っている各種サービス・サポートは以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先／アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON*	エプソンの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます（東京・大阪）。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライの通信販売をご利用ください。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップを行うことがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書の PDF データをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。	
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	本書 124 ページ「保守サービスのご案内」

* 「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『プリンタソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをよくお読みください。
本書 85 ページ「困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の最低保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター
  本書裏表紙

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代 * は無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 * 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料＋技術料＋部品代 修理完了後そのつどお支払いください。

* 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。

* 本機は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

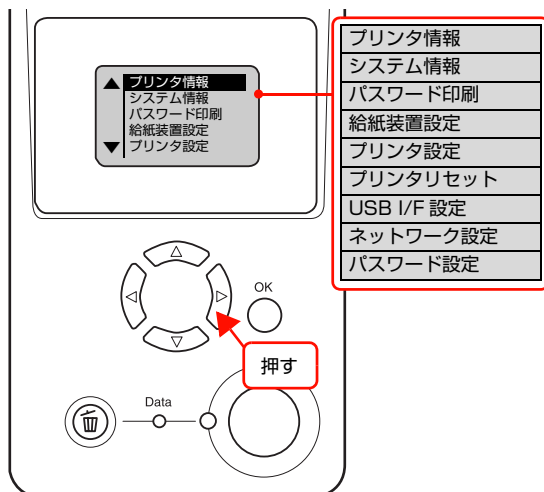
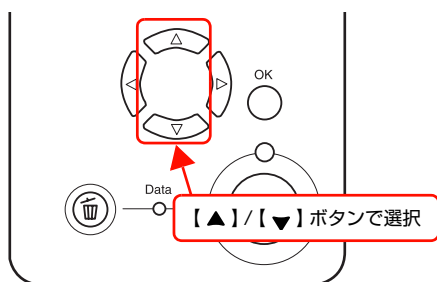
エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書を FAX するだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

操作パネル設定項目一覧

設定手順

1 【▶】ボタンを押して、メニューを表示します。

2 【▲】/【▼】ボタンを押して項目を選択します。

3 【OK】ボタンを押して決定、または実行します。

さらに選択項目があるときは 2 ～ 3 を繰り返します。

4 終了します。

設定項目一覧

プリンタの使用状況（オプションの装着状況）などにより、常に表示されない項目もあります。
設定項目や使い方の詳細は、詳細は『詳細編』（電子マニュアル）を参照してください。

索引

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

オゾンについて

ページプリンタの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（0.1ppm、0.2mg/m^3）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンタの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境条件外での使用
- 狭い部屋での複数ページプリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

長時間使用時や大量印刷時には、換気をするようにしてください。

プリンタの廃棄

一般家庭でお使いの場合は、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

EPSON

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600【受付時間】9:00～17:30　月～金曜日（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊修理について詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070　・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話　050-3155-7150　【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/ でご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8055【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土日祝日10:00～17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8580へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100【受付時間】月～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221-7911　東京(042)585-8500　名古屋(052)202-9532　大阪(06)6397-4359　福岡(092)452-3305

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス
各種ドライバを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2007年9月現在）

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス（LP）　2007. 9

411145000

Printed in XXXXX xx.xx-xx　XXX